

★2022年4月、人間発達改編し「教育学部
子ども学科7コース」スタート！(P.50-51)

★2022年4月、音楽領域に「プロフェッショナル
アーティストコース」新設スタート！(P.61)

★ Challenge to the future BORDERLESS

Vol.71 2021.9.30



新型コロナ禍での緊急学生支援

【特集1】 生理用品無償配布の緊急支援報告書

(荻須レポート with アンケート集計結果)

【特集2】 [対談] コロナに負けるな！「生理の貧困」

後援会《チア・プロジェクト》に込められた思いとは

【特集3】 頑張れ就活生！キャリアセンターから労働法の権威

中川直毅センター長がメッセージ



NAGOYA UNIVERSITY
OF THE ARTS

名古屋芸術大学後援会報

CONTENTS

1	目次 後援会理事募集のお知らせ	29	親の想い
2	会長退任ご挨拶・会長就任ご挨拶 学長ご挨拶・理事長ご挨拶	30	子の想い
4	2021年度後援会定期総会 / 新役員・理事一覧	31	名古屋芸術大学近況報告
5	2020年度事業報告・2021年度事業計画	51	学務部報告
6	2020年度 後援会決算報告	53	2021年度 学生数 大学へのお問合せ先一覧
8	2021年度 後援会予算書	54	2021年度年間行事予定表
10	学校法人名古屋自由学院決算報告	57	2021年度 演奏会案内
11	後援会だよ！全員集合	58	アート&デザインセンター展覧会スケジュール
13	後援会入門 ― ミニ事典 ―	59	クラブ・同好会紹介 (西23部会・東17部会)
14	名芸大入門 ― 保護者編 ―	61	トピックス ピックアップ
15	【特集1】生理用品無償配布支援報告書	63	【監事講評】 新型コロナと人権 パートナーシップ包括連携協定を締結へ
17	【特集2】《チア・プロジェクト》に込められた思い	64	名古屋芸術大学後援会会則・規程・内規
21	【特集3】キャリアセンターからのメッセージ	65	大学運営の組織図 (2021年度)
23	先輩の活躍	66	せせらぎ合唱団・壁の華 会員募集
25	2020年度 進路状況	67	編集後記
26	2021年度就職対策・キャリア支援行事予定表		

後援会で一緒に活動しませんか

日頃より名古屋芸術大学後援会へのご理解ご協力を賜りありがとうございます。
後援会は名古屋芸術大学の目的と教育方針に基づき、学生の福利厚生と大学の教育研究活動への各種支援活動を行っている在学生の保護者団体です。
後援会員のお子様方に充実した学生生活をお送りいただくとともに、保護者と大学教職員との親睦交流を図る研修旅行や広報誌の発行、会員のための絵画とコーラスのサークルなど、みんなで楽しく活動しています。
後援会では現在、私たちと一緒に活動していただける新しい仲間を募集しております。どうぞお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

電話:0568-26-3355

FAX:0568-26-2101

E-mail:kouenkai@nua.ac.jp

名古屋芸術大学後援会

副会長(総務委員長)

荻須 紀子



【表紙説明】本年度、名古屋芸術大学後援会に女性会長が誕生しました。これを記念して表紙には、あの世界的超有名女性を起用しました。題して「Mona Lisa with a original Amabie mask (あまびえマスクをしたモナリザ) by Masaemon.」。表紙も毎号進化し続けます。

会長退任ご挨拶



学校法人名古屋自由学院評議員
名古屋芸術大学後援会 監事
(2019年度・2020年度会長)

菊井 政右衛門

謹啓 薫風の候、益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素は特段のご芳情を賜り深謝申し上げます。

さて、私儀、このたびの定期総会をもちまして名古屋芸術大学後援会会長を退任し、監事に就任いたしました。

在任中大過なくその任を全うできましたのも、皆様方のご薫陶並びにご厚誼の賜物と存じ、謹んで深謝申し上げます。

なお後任には、副会長でありました矢野章子が就任することとなりました。

何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

名古屋芸術大学後援会は新型コロナウイルスの脅威に些（いささ）かも屈することなく、試練の教訓から学び、これを更なる改革の推進と組織建設の契機と捉え、未来に向かって前進を続けます。

後援会は名古屋芸術大学を「学生満足度ナンバーワン」、「全国芸大（美大・音大）のトップ校」に飛躍させるため、総力を挙げて活動に邁進してまいります。

本来であれば総会の席でご挨拶申し上げるところでございますが、新型コロナウイルス感染症蔓延（まんえん）による「書面総会」実施のため叶わず、末筆ながら一段のご健勝をお祈りいたし、甚だ略儀ではございますが、まずは書中をもちまして退任のご挨拶申し上げます。

謹白

令和三年（2021年）六月三十日

会長就任ご挨拶



名古屋芸術大学後援会
会長 矢野 章子

名古屋芸術大学後援会会員の皆様におかれましては、平素より後援会の運営にご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2021年度後援会会長に選任されました矢野章子と申します。1年間会員の皆様とともに学生および大学への支援のお手伝いをさせていただきます。51年目を迎える歴史と伝統のある後援会の会長として運営に携わることとなり、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。理事会一同、心を込めて後援会活動に邁進いたす所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

名古屋芸術大学で学ぶことの最大の魅力は、学部・領域を越えた「横断的」な学び BORDERLESS EDUCATION（ボーダレス エデュケーション）にあります。学生が専門性を磨きながら、学部・領域を越えて幅広く学ぶことができる環境にあります。学生が自らの人生をデザインしていく力を養う一方で、後援会の役割は、大学の教育方針に基づき、大学の正常な運営に寄与し、学生の福利厚生ならびに大学諸活動を後援することにあります。

なお、今年度もコロナ禍の中で活動を継続していくことになり、7月には緊急学生支援活動をおこないました。さまざまな場面で事業計画が変更になることが予測されます。しかしながら、いまだからできること、やらなければならないことは何かを、会員の皆様や学生、大学関係者の方々とともに考え、学生に寄り添った事業を実行してまいります。

何卒、皆様方のより一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学 長 ご 挨拶



名古屋芸術大学学長
竹本 義明

今年度は4月1日に入学式を挙行了しました。保護者や学内関係者の出席を見合わせ、感染対策を行った上で短時間で終了しました。5月になり新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言が5月31日まで延長になったことで、授業の継続を可能にするため、大学は5月12日から1週間休校措置を取り、オンライン授業の準備を行い19日から授業を再開しています。

現在まで特に大きな感染や混乱はなく、対面授業を主体とした授業運営が行われています。ワクチン接種について、医療従事者や基礎疾患を有する人を優先して接種を行ない高齢者にも接種が始まりました。

本学では6月になり愛知県から県営名古屋空港での集団接種でワクチンに余剰が出た場合に県から枠をいただけるという提案があり、早急に接種希望調査を実施し接種を希望する学生、教職員を対象に6月21日から25日にワクチン接種を進めました。

その後、地域の医療法人ようてい会の協力を得て、教職員及び家族に職域接種を実施しました。これにより、7月中旬には学生及び教職員の半数が2回目のワクチン接種を終了し、ウイルス感染への影響が少しでも減少したことになります。

しかし、8月になり感染の中心が20歳代～50歳代に移行しているという報道があり、未接種の学生に感染が広がることも考えられ、学外授業、課外活動等については当分の間、許可制を維持する事となりました。

オープンキャンパスもオンラインで実施し、7月には予約を受け付け人数を制限した上で、対面での受験相談を行っています。今後も同様にオンライン中心の取り組みが続くと考えています。

後援会の皆様には、コロナ禍での大学の取り組みをご理解いただき、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

理 事 長 ご 挨拶



学校法人 名古屋自由学院 理事長
川村 大介

名古屋芸術大学後援会の皆様には、日頃より本学の諸活動に対し、ご理解及びご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け1年半が過ぎ、今なお厳しい状況が続く中、本学では、コロナ禍で培った手法を活かし、適切な感染対策を講じたうえで対面授業を行いつつ、オンラインによる授業も実施しております。しかし、大学生活にとって重要な学問外における学生相互の活動、クラブ活動等が制限されており心苦しく感じております。学生及び教職員には、継続して感染防止策の徹底をお願いし、一日でも早くコロナ禍以前の大学生活を取り戻していけるよう模索しております。

本学は、平成29(2017)年度に従前の芸術系学部の壁を取り払う大胆な改革をスタートさせました。「音楽」、「美術」、「デザイン」、「芸術教養」の各領域を設置し、「総合芸術」としての学びの場が完成しました。改革のキャッチフレーズであった“BORDERLESS(ボーダレス)”は、本学のテレビCMや大学案内等で使われたことで広く認知され、学生・教職員の既成概念を変えていきました。そのためでしょうか、以前にもまして、学生や卒業生の活躍ぶりがマスコミ等で紹介される機会が増えています。

昨年、本学は開学50周年を迎え、同時に名古屋芸術大学後援会も創立50周年を迎えました。この4月から芸術学部芸術学科に「舞台芸術領域」が新たに設置され、来年度には「人間発達学部 子ども発達学科」の名称を「教育学部 子ども学科」に変更し、時代の変化に合わせ教育内容の充実を図ります。また、建学の精神である「至誠奉仕」を踏まえ、企業、地方公共団体、各種団体との産学連携体制を強化することにより、教育研究の質の向上に資すると考えております。その際には「名古屋芸術大学後援会」のお力添えを是非賜りたいと存じます。

後援会の皆様方には、引き続き、本学に対する益々のご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

2021年度 後援会定期総会（書面総会）審議結果のご報告

2021年度名古屋芸術大学後援会定期総会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、昨年度に引き続き「書面表決による総会」として実施されました。

書面審議期間の最終期限である6月30日で返信葉書の受け付けを締め切り、回答を集計した結果、下記の通り、第1号議案乃至第5号議案の全てについてご承認（全議案成立）をいただくことができました。

7月1日付をもって矢野章子氏（芸術学部音楽領域ミュージカルコース4年生保護者）を会長とする、2021年度新執行部がスタートしたことをご報告いたします。

- 1 書面審議期間 2021年6月14日～6月30日
- 2 会 員 数 2,256人
- 3 回 答 数 563人
- 4 審 議 結 果

各議案の表決は名古屋芸術大学後援会会則第11条を準用し、「総会は回答会員で成立し、議事は回答会員の過半数をもって議決する」ことを原則としました。



総会資料の発送準備作業

第1号議案 2020年度事業報告について

2020年度事業報告について回答を集計した結果、承認過半数により、原案通り可決されました。

・承認 561人 ・反対 0人 ・未記入 2人

第2号議案 2020年度決算報告及び監査報告について

2020年度決算報告及び監査報告について回答を集計した結果、承認過半数により、原案通り可決されました。

・承認 561人 ・反対 0人 ・未記入 2人

第3号議案 2021年度役員改選(案)について

2021年度役員改選(案)について回答を集計した結果、承認過半数により、原案通り可決されました。

・承認 561人 ・反対 0人 ・未記入 2人

第4号議案 2021年度事業計画(案)について

2021年度事業計画(案)について回答を集計した結果、承認過半数により原案通り可決されました。

・承認 499人 ・反対 2人 ・未記入 62人

第5号議案 2021年度予算(案)について

2021年度予算(案)について回答を集計した結果、承認過半数により、原案通り可決されました。

・承認 498人 ・反対 3人 ・未記入 62人

以上の通り、第1号議案乃至第5号議案の全てについてご承認いただきましたことをご報告申し上げます。ご協力ありがとうございました。

2021年度 名古屋芸術大学後援会 役員・理事

役 員	氏 名	所 属
会 長	矢野 章子	(音4)
副会長 (総務委員長)	荻須 紀子	(美3)
副会長 (事業委員長)	小池 真紀子	(音3)
副会長 (広報委員長)	江上 友加里	(デ3)
副 会 長 (会 計)	石黒 和広	(デ4)
監 事	菊井 政右衛門	(デ卒)
会 計 監 査	佐藤 昭子	(院2)
会 計 監 査	森 愛子	(音4)
書 記	民田 靖典	(デ3)
会 計	増山 勝之	(デ4)

理 事	氏 名	所 属
副 委 員 長 (総 務)	池田 和由	(デ3)
副 委 員 長 (事 業)	浦野 直行	(音2)
副 委 員 長 (広 報)	柳沼 章子	(美2)
理 事 (総 務)	加藤 聖子	(音2)
理 事 (総 務)	恒川 和久	(音1)
理 事 (事 業)	稲垣 幸	(音2)
理 事 (広 報)	橋本 博文	(美4)
理 事 (広 報)	渡邊 綱夫	(美3)

〔顧問就任〕

今回新たに、2018年度～2020年度の後援会会長・副会長経験者6名が顧問を委嘱されましたので、ご報告します。(顧問の委嘱に関しては、本誌64ページ「顧問の委嘱に関する内規」をご参照ください。)

池野美鈴(19副/デ卒)、柏木司(19副/美卒)、小嶋史子(19副/デ卒)、酒井伊紀(20副/音卒)、佐藤実奈子(20副/人卒)、山内正春(18会長・19～20監事/美卒)

〔理事退任〕

小林幹尚(20理事/音卒)

(美=美術領域、デ=デザイン領域、音=音楽領域、人=人間発達学部、院=大学院。文中敬称略。)

2020年度 名古屋芸術大学後援会事業報告

月日	事業内容	開催場所
5月17日(日)	後援会創立50周年記念式典・祝賀会	中止
6月上旬	法人より委託徴収金(後援会費)振替 前期分	
6月22日(月)～ 7月5日(日)	2020年度後援会定期総会(書面表決による総会)	
7月下旬	後援会より補助金一括交付	
7月18日(土)	第1回理事会	東キャンパス
9月30日(水)	「後援会報」第69号発行(後援会創立50周年記念前期特別号)	
10月上旬	後援会・教職員合同研修旅行	中止
10月下旬	芸大祭(顧問含む理事会参加)	中止
10月31日(土)	第2回理事会/東キャンパス交流テラス オープニングセレモニー 渡り初め式典参加 感謝状拝受	東キャンパス
12月中旬	法人より委託徴収金(後援会費)振替 後期分	
2月20日(土)	第3回理事会	西キャンパス
2月26日(金)	第1回後援会賞・卒展優秀賞・ブライトン大学賞表彰式(会長及び役員出席)	西キャンパス
3月18日(木)	卒業式・記念パーティー(会長・副会長参列中止、卒業記念パーティー中止)	西キャンパス
3月31日(水)	「後援会報」第70号発行(後援会創立50周年記念後期特別号)	
4月1日(木)	入学式(会長・副会長参列中止)	西キャンパス
4月17日(土)	2020年度会計監査	東キャンパス
4月17日(土)	第4回理事会	東キャンパス
5月12日(水)～ 6月12日(土)	2021年度定期総会中止葉書準備・発送作業(5月12日) 書面総会議案等資料作成・印刷・発送作業(5月28日～6月12日) (会長以下役員・理事参加)	東キャンパス
備考	以上の他にも、公開講座補助事業、就職活動補助事業、国際交流補助事業を実施しました。	

2021年度 名古屋芸術大学後援会事業計画

月日	事業内容	開催場所
5月23日(日)	2021年度後援会定期総会(書面表決に変更)	西キャンパス(中止)
6月上旬	法人より委託徴収金(後援会費)振替 前期分	
6月下旬	後援会より補助金一括交付	
6月30日(水)	定期総会書面表決締切期限	
7月17日(土)	第1回理事会	東キャンパス
9月30日(木)	後援会報第71号発行	
10月上旬	後援会・教職員合同研修旅行	
10月31日(日)	第2回理事会(顧問含む)/芸大祭参加	西キャンパス
12月中旬	法人より委託徴収金(後援会費)振替 後期分	
1月15日(土)	第3回理事会	
2月19日(土)	第4回理事会	東キャンパス
2月中旬 卒展開催期間中	第2回後援会賞・卒展優秀賞・ブライトン大学賞表彰式 (会長及び役員参列)	西キャンパス
3月18日(金)	卒業式参列(会長・副会長)	西キャンパス
3月18日(金)	卒業記念パーティ(会長・副会長)	
3月31日(木)	後援会報第72号発行	
4月1日(金)	入学式参列(会長・副会長)	西キャンパス
4月16日(土)	2021年度会計監査(会長・会計担当副会長・会計監査)	東キャンパス
4月16日(土)	第5回理事会	東キャンパス
備考	以上の他にも、公開講座補助事業、就職活動補助事業、国際交流補助事業、学生緊急支援事業等を行う予定です。	

■ 2020年度 名古屋芸術大学後援会 決算書

1. 一般会計

収入の部

単位：円

科 目	2020年度予算	2020年度決算	差 異	備 考
前年度繰越金	2,047,381	2,047,381	0	
会 費 収 入	24,268,000	24,082,000	186,000	
特別会計より組入	4,500,000	4,500,000	0	
受 取 利 息	100	120	- 20	
手 数 料 他 収 入	15,500	30,000	- 14,500	クリアーレ協賛金
合 計	30,830,981	30,659,501	171,480	

支出の部

単位：円

科 目	2020年度予算	2020年度決算	差 異	備 考
通 信 費	100,000	41,045	58,955	
旅 費 ・ 交 通 費	300,000	292,000	8,000	
会 議 費	350,000	45,197	304,803	
弔 慰 費	100,000	70,000	30,000	
渉 外 費	150,000	41,262	108,738	役員手当等
事 務 運 営 費	850,000	63,604	786,396	
(総務関係合計)	1,850,000	553,108	1,296,892	
芸 大 祭 補 助	3,000,000	0	3,000,000	
ク ラ ブ 補 助	7,000,000	3,175,362	3,824,638	
就 職 活 動 補 助	5,500,000	5,369,504	130,496	
卒業生を送る会補助	400,000	400,000	0	
学生自治会補助	600,000	488,699	111,301	
国 際 交 流 補 助	800,000	158,870	641,130	
公 開 講 座 補 助	3,600,000	3,165,439	434,561	
役員研修費補助	600,000	0	600,000	
開学50周年記念事業寄付	4,000,000	4,000,000	0	
後援会賞・功労者表彰	300,000	86,013	213,987	
(事業関係合計)	25,800,000	16,843,887	8,956,113	
広 報 活 動	1,700,000	986,920	713,080	広報誌
広 報 誌 郵 送 料	600,000	487,271	112,729	
(広報関係合計)	2,300,000	1,474,191	825,809	
定期総会運営費	500,000	491,902	8,098	
予 備 費	380,981	660,000	- 279,019	クリアーレ業務委託費
次 年 度 繰 越	0	10,636,413		
合 計	30,830,981	30,659,501	171,480	

2. 特別会計決算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

科目	2020年度予算	2020年度決算	差異	備考
前年度繰越金	1,501,632	1,501,632	0	
雑収入	130	129	1	
合計	1,501,762	1,501,761	1	

支出の部

単位：円

科目	2020年度予算	2020年度決算	差異	備考
特別積立金事業計画	0	0	0	
次年度繰越金	1,501,762	1,501,761	1	
合計	1,501,762	1,501,761	1	

(2) 学資貸付金会計

収入の部

単位：円

科目	2020年度予算	2020年度決算	差異	備考
前年度繰越金	19,166,585	19,166,585	0	
学生貸付金返済金	1,000,000	472,029	527,971	
雑収入	160	10,154	- 9,994	利息、寄付金
合計	20,166,745	19,648,768	517,977	

支出の部

単位：円

科目	2020年度予算	2020年度決算	差異	備考
学生貸付金	0	0	0	
一般会計へ資金繰入	4,500,000	4,500,000	0	
次年度繰越金	15,666,745	15,148,768		
合計	20,166,745	19,648,768	517,977	

(3) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

科目	2020年度予算	2020年度決算	差異	備考
前年度繰越金	2,134,255	2,134,255	0	
利息	20	19	1	
合計	2,134,275	2,134,274	1	

支出の部

単位：円

科目	2020年度予算	2020年度決算	差異	備考
記念事業等	0	0	0	
次年度繰越金	2,134,275	2,134,274	1	
合計	2,134,275	2,134,274	1	

■ 2021 年度 名古屋芸術大学後援会 予算書

1. 一般会計

収入の部

単位：円

科 目	2021 年度予算	2020 年度予算	差 異	備 考
前年度繰越金	10,636,413	2,047,381	8,589,032	
会費収入①	25,562,000	24,268,000	1,294,000	4月1日現在 新入生 582人 在学生 1550人 大学院生 75人
会費収入②	30,000	0	30,000	企業賛助会員より入金
特別会計より組入	0	4,500,000	- 4,500,000	学費貸付金会計
利 息	120	100	20	普通預金
手数料他収入	30,000	15,500	14,500	クリアーレ協賛金
合 計	36,258,533	30,830,981	5,427,552	

支出の部

単位：円

科 目	2021 年度予算	2020 年度予算	差 異	備 考
通 信 費	100,000	100,000	0	
旅 費 ・ 交 通 費	300,000	300,000	0	
会 議 費	300,000	350,000	- 50,000	
弔 慰 費	100,000	100,000	0	
渉 外 費	150,000	150,000	0	役員出張手当等
事 務 運 営 費	150,000	850,000	- 700,000	事務用品・機器等
業 務 委 託 費	1,650,000	0	1,650,000	クリアーレ業務委託費
(総務関係合計)	2,750,000	1,850,000	900,000	
芸大祭補助	3,000,000	3,000,000	0	
クラブ補助	7,000,000	7,000,000	0	
就職活動補助	5,500,000	5,500,000	0	
卒業生を送る会補助	400,000	400,000	0	各学部・領域10万円とする
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国際交流補助	1,000,000	800,000	200,000	
公開講座補助	3,600,000	3,600,000	0	
役員研修費補助	600,000	600,000	0	
開学50周年記念事業寄付	0	4,000,000	- 4,000,000	来年度は削除
後援会賞・功労者表彰	300,000	300,000	0	
緊急学生支援対策	8,000,000	0	8,000,000	
(事業関係合計)	30,000,000	25,800,000	4,200,000	
広報活動	1,700,000	1,700,000	0	広報誌、封筒補充
広報誌郵送料	600,000	600,000	0	
(広報関係合計)	2,300,000	2,300,000	0	
定期総会運営費	500,000	500,000	0	総会案内、返信用ハガキ、イベント費用
予 備 費	708,533	380,981	327,552	
合 計	36,258,533	30,830,981	5,427,552	

(注) 上記予算については各科目間での流用を可能とする。

2. 特別会計予算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

科目	2021年度 予算	2020年度 予算	差異	備考
前年度繰越金	1,501,761	1,501,632	129	
利息	130	130	0	
合計	1,501,891	1,501,762	129	

支出の部

単位：円

科目	2021年度 予算	2020年度 予算	差異	備考
特別積立金事業計画	0	0	0	
次年度繰越金	1,501,891	1,501,762	129	
合計	1,501,891	1,501,762	129	

(2) 学資貸付金会計

収入の部

単位：円

科目	2021年度 予算	2020年度 予算	差異	備考
前年度繰越金	15,148,768	19,166,585	- 4,017,817	
学生貸付金返済金	500,000	1,000,000	- 500,000	
利息	160	160	0	
合計	15,648,928	20,166,745	- 4,517,817	

支出の部

単位：円

科目	2021年度 予算	2020年度 予算	差異	備考
学生貸付金	0	0	0	
一般会計へ資金繰入	0	4,500,000	- 4,500,000	
次年度繰越金	15,648,928	15,666,745	- 17,817	
合計	15,648,928	20,166,745	- 4,517,817	

(3) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

科目	2021年度 予算	2020年度 予算	差異	備考
前年度繰越金	2,134,274	2,134,255	19	
利息	20	20	0	
合計	2,134,294	2,134,275	19	

支出の部

単位：円

科目	2021年度 予算	2020年度 予算	差異	備考
記念事業等	0	0	0	
次年度繰越金	2,134,294	2,134,275	19	
合計	2,134,294	2,134,275	19	

学校法人名古屋自由学院 決算報告

令和2年度 事業活動収支計算書

(単位：千円)

科目	31年度	2年度	前年度比較
【事業活動収入】			
学生生徒等納付金	3,003,443	3,182,476	179,033
補助金	245,934	329,499	83,565
その他	652,415	580,902	△ 71,513
事業活動収入 合計 (A)	3,901,792	4,092,877	191,085
【事業活動支出】			
人件費	2,631,469	2,387,039	△ 244,430
教育研究経費	1,124,521	1,266,015	141,494
管理経費	484,268	426,589	△ 57,679
その他	43,103	60,944	17,841
事業活動支出 合計 (B)	4,283,361	4,140,586	△ 142,775
基本金組入前当年度収支差額(C=A-B)	△ 381,568	△ 47,708	333,860
基本金組入額合計 (D)	0	△ 470,170	△ 470,170
当年度収支差額 (E = C - D)	△ 381,568	△ 517,878	△ 136,310
基本金取崩額	105,501	109,206	3,705

事業活動収入の部は、学納金収入及び補助金収入等が増加し、事業活動収入計は40億9,287万円(前年度比1億9,108万円増加)となりました。基本金組入額は、4億7,017万円になりました。
 事業活動支出の部は、人件費23億8,703万円、教育研究経費12億6,601万円、管理経費4億2,658万円、事業活動支出計は41億4,058万円(前年度比1億4,277万円減少)となりました。
 当年度収支差額は5億1,787万円の支出超過となりました。
 基本金取崩額は、1億920万円でした。

令和2年度 貸借対照表

(単位：千円)

科目	令和2年3月31日現在	令和3年3月31日現在	前年度比較
【資産の部】			
固定資産	15,252,980	14,354,394	△ 898,586
流動資産	1,458,866	2,140,880	682,014
資産の部合計	16,711,846	16,495,274	△ 216,572
【負債・基本金・繰越収支差額の部】			
固定負債	1,178,699	1,193,692	14,993
流動負債	1,275,329	1,091,473	△ 183,856
負債の部合計	2,454,028	2,285,164	△ 168,864
基本金	18,857,083	19,218,047	360,964
翌年度繰越収支差額	△ 4,599,265	△ 5,007,937	△ 408,672
純資産の部 合計	14,257,818	14,210,110	△ 47,708

資産の部合計は164億9,527万円(前年度比2億1,657万円減少)、負債の部合計は22億8,516万円(前年度比1億6,886万円減少)、基本金の合計は192億1,804万円(前年度比3億6,096万円増加)、翌年度繰越収支差額は50億793万円の支出超過となりました。

注1. 千円未満は、四捨五入。
 詳細は、名古屋芸術大学ホームページをご覧ください。

後援会だよ!

会長 矢野 章子 〔音楽領域 4 年生保護者〕

会長は会務を統括し、後援会の舵取り役を務めます。2020 年度副会長の経験を活かし、菊井前会長が実行した改革路線の理念を継承し、コロナ禍に於いて、出来ることを工夫しながら学生の学びと生活の応援を致します。



副会長（総務委員長）荻須 紀子 〔美術領域 3 年生保護者〕

日常的に会長を補佐し、必要な場合は職務を代行します。後援会改革を推進し、後援会の民主的運営と組織の強化拡大をはかります。新型コロナウイルス感染拡大で混乱した大学の早期正常化と緊急学生支援活動に全力で取り組みます。



副会長（会計）石黒 和広 〔デザイン領域 4 年生保護者〕

会計担当副会長は、予算案の編成及び提議を行うとともに、本会の全ての収支を正確に記録保管し、必要に応じて収支を報告するほか、定期総会に監査を経た前年度の決算を報告します。



監事 菊井 政右衛門 〔デザイン領域卒業生保護者、2019 年度 -2020 年度会長〕

監事は、総会で決定された後援会の業務執行及び会計実務が適正に行われているかについて、執行部とは別の独立した観点から監督し、意見を述べます。前年度会長の経験を生かし、「監事講評」を創刊して腹藏のない意見を発信していきます。後援会改革の更なる推進と活動の前進を支援します。



会計監査 佐藤 昭子・森 愛子 〔大学院音楽研究科 2 年生保護者、音楽領域 4 年生保護者〕

後援会の会計を監査し、定期総会において監査結果を報告します。会員の皆様からお預かりした大切な会費の使途について、1円1銭に到るまで、間違いないか、適正か、徹底的にチェックする会計部門の“お目付け役”です。



後援会事務局 〔株）クリアレ 山下 和子

後援会の事業は多岐にわたり、多忙をきわめる会長はじめ理事会の皆様をサポート役として、一生懸命頑張っています。至らぬことばかりで何かとご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。



サークル共同委員長 〔絵画〕石黒 和広（会計担当副会長兼任） 〔デザイン領域 4 年生保護者〕 〔合唱〕矢野 章子（会長兼任） 〔音楽領域 4 年生保護者〕

後援会とサークル（『絵画グループ壁の華』、『せせらぎ合唱団』）の連携強化と活動の活性化をはかります。現在新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、両サークルとも活動自粛中です。早期再開を目ざして頑張ります。

〔総務委員会〕



恒川和久・荻須紀子・池田和由・加藤聖子

〔事業委員会〕



稲垣幸・小池真紀子・浦野直行

全員集合

副会長（事業委員長）小池 真紀子
〔音楽領域3年生保護者〕

後援会改革の重点課題である理事会メンバーの意識改革と資質向上を目的とする研修会や緊急学生支援を含む各種イベントの企画運営に取り組みます。新型コロナの影響で中止になった大学教職員と合同の研修旅行の再開を目指します。



副会長（広報委員長）江上 友加里
〔デザイン領域3年生保護者〕

〔後援会報〕の編集発行を担当します。創刊は1986年（昭和61年）。今では後援会の“顔”といわれるまでに立派に成長しました。昨年の50周年記念号から内容も一新。フルカラーで読みやすく、大学とご家庭を結ぶ、愛される〔会報〕作りを新スタッフで目指します。



（注）写真撮影時のみマスクを外しています。

書記 民田 靖典
〔デザイン領域3年生保護者〕

書記は、総会・理事会の開催を通知し、議事を正確に記録保管するとともに、事務一切の処理を行います。また〔後援会報〕のバックナンバーや後援会活動の記録を整理・保存し、次の世代に引き継いでいくのも重要な仕事です。



会計 増山 勝之
〔デザイン領域4年生保護者〕

後援会改革の重点課題のひとつに、資金調達能力の強化があります。今回の会則改正で、企業賛助会員の募集が始まりました。企業会員による後援会への財政支援は、アーティスト育成、大学の教育・研究活動支援に大きく貢献します。



就活支援特別委員長 増山 勝之（会計担当役員兼任）
〔デザイン領域4年生保護者〕

新型コロナ感染症拡大の緊急事態下で、就職活動は困難を窮めています。大学の学生支援グループと連携し、就活支援に取り組みます。元リクルート社勤務で、キャリアコンサルタントの国家資格を持つ人材教育、就職・採用のプロです。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員長 菊井 政右衛門
〔デザイン領域卒業生保護者 / 前年度会長〕（監事兼任）

新型コロナ感染症拡大の緊急事態を受け、学生も保護者も先が見えない不安な毎日を送っています。全国の大学動向や最新情報をアトランダムに収集・提供し、直面する危機的状況の打開に向けた提言をおこないます。

2021年度後援会役員・理事 全員集合!



〔広報委員会〕



（橋本博文）・渡邊綱夫・江上友加里・柳沼章子

〔会長・監事・監査・会計・書記〕



佐藤昭子・民田靖典・菊井政右衛門・矢野章子・石黒和弘・森愛子・（増山勝之）

後援会入門 — ミニ事典 —



■後援会の成り立ち

名古屋芸術大学後援会は、1970年（昭和45年）、大学開学と同時に設立された「父母の会」を始まりとします。10年後、「父母の会」を「名古屋芸術大学学生生活後援会」（1980年）に改組し、その後「名古屋芸術大学学生後援会」（1996年）、「名古屋芸術大学後援会」（1998年）、「名古屋芸術大学・大学院後援会」（2013年）と4度の名称変更を経て、2020年度定期総会で再び「名古屋芸術大学後援会」と改称して現在に至ります。

■後援会の目的

後援会の「目的」は会則第2条に定められています。ちなみに後援会の設立当初は、「学生生活後援会」という名称からわかる通り、学生たちの生活支援と大学との連絡を主たる目的としていました。しかし時代の変遷と大学の発展に伴って事業内容も見直され、現在では機関誌「後援会報」の発行（1986年、タブロイド版の新聞形式で創刊）、学生の福利厚生、研修活動、教育・研究活動助成、国際交流、教育懇談会の充実、奨学金援助、課外活動援助、就活支援等、多岐にわたる事業展開を行っています。後援会の「大学とご家庭をつなぐ懸け橋」としての役割は、ますます重要なものとなっています。

■後援会の基本的立場

後援会は常に不偏不党・公平中正を旨とします。後援会はいかなる政治的イデオロギー、宗教思想、特定の団体や個人の主義主張にも与（くみ）せず、支配されることもありません。立場は常にニュートラル（中庸）です（2019年6月13日付『後援会ニュース』No.3）。

■後援会の組織と運営

本会の会員は正会員（学部と大学院在学生の保護者）、OB・OG会員（顧問）、賛助会員（協賛企業など）から構成されています。（会則第4条）

総会・理事会は会長が招集し（会則第9条）、会長、副会長、監事の他20名前後の役員と理事から構成されます（会則第5条）。決算・監査、及び年度予算案・事業計画等の重要事項を企画立案し、総会での審議を経て事業を実施します（会則第10条）。

事業を実施するため、総務委員会・事業委員会・広報委員会の3つの常置委員会があります（会則第13条第1項～第3項）。

また2020年度から会則が改正され、サークル委員会、就活支援特別委員会、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の三つの特別委員会が新しく発足しました（会則第13条後段）。

各役員・委員会の職務分掌については「後援会だヨ！全員集合」（本誌11～12頁）をご参照ください。

■後援会の主な事業

後援会の主な事業は次のとおりです（会則第3条）。

1. 支援事業

教育・研究支援、課外活動援助、学内の環境整備や福利厚生の充実を目的とした学生福利厚生援助、国際交流支援、就職活動など、学生生活を多方面からバックアップしています。また現在は一時停止している後援会独自の奨学金制度も、条件が整えば運用を再開する方向で検討を進めています。

2. 研修事業

後援会改革の重点課題である理事会メンバーの意識改革と資質向上を目的とする研修会や各種イベントの企画運営に取り組んでいます。芸術探究と親睦を兼ねて実施される後援会と大学教職員の合同研修（旅行）も毎年1回、実施しています。

3. 広報事業

「後援会報」の創刊は1986年。今では後援会の“顔”といわれるまでに立派に成長しました。「後援会報」は年2回発行、前期号（9月）と後期号（3月）の2回に分けて、学生と保護者に必要なお役立ち情報満載でお届けしています。後援会創立50周年を機に、編集方針も体裁も一新。フルカラーで生まれ変わりました。これからは大学とご家庭を結び、読み易く愛される「会報」作りを目指します。

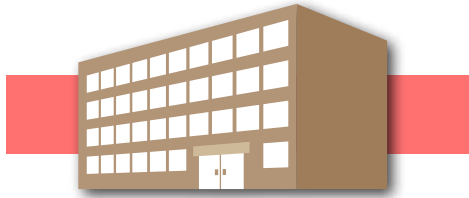
■後援会事務局

後援会事務局は東キャンパス12号館に置かれ、専従職員が事務処理に当たっています。（平日9:00～17:00、土日祝休み。）連絡先は本誌うら表紙をご覧ください。



歴代の「後援会報」左端が創刊号

名芸大入門 — 保護者編 —



■開学50周年迎えた芸術系総合大学

名古屋芸術大学は学校法人名古屋自由学院を経営母体とし、昭和45年（1970年）に創立され、令和2年（2020年）開学50周年を迎えた全国唯一の芸術系総合大学です。附属校として名古屋芸大保育専門学校、附属クリエ幼稚園、滝子幼稚園があり、関連校・附属施設等としては、認定こども園森のくまっこ、愛知保育園、たきこ幼児園、名古屋音楽学校、シテ・デザール(仏パリ)があり、直営企業として㈱クレーアールがあります。

■名古屋芸大をもっと知ろう

近年、大学全入時代と言われる中で、みんなが行くからといった理由にもならないような理由で、目的意識が希薄なまま進学する大学生が全国で問題になっています。そのオトナ版が、教育に無関心な保護者の存在です。今日から芸大生、ではなくて、「今日から名芸大生の保護者」となった後援会員の皆様、こんにちは。私たち名古屋芸大生の保護者（学年に関係なく）にとっていま一番必要なこと、それは名古屋芸大を知ることです。名古屋芸大がめざす目標や教育方針をしっかりと理解し、見識を深め、自らも一緒に学んで行こうとする姿勢を持つことが大切です。

■『大学案内』は最高の入門書

それでは何から始めるべきでしょうか。まず真っ先に、『大学案内』をお読みください。『大学案内』は文字通り名古屋芸大の総合案内です。名古屋芸大の入門書として、これ以上のものはありません。

■「名古屋芸大グループ通信」・「後援会報」を読む

次に「名古屋芸大グループ通信」や「後援会報」を読むことです。これらは保護者である私たちが定期的に入手できる第1次資料であり、学生と保護者にとって必要な大学情報が毎号掲載されています。

■名芸大ボーダレス改革のマニフェスト

中でも特筆すべきは、「名古屋芸大グループ通信」Vol.35（2016年4月28日発行）です。

- (1)そこには、竹本義明学長の巻頭インタビュー「大学改革の狙い、名古屋芸術大学学長に聞く」と、それに続いて、津田佳紀副学長と萩原周学長補佐・改革準備室長（現芸術学部長）による対談記事「改革準備室、担当教授2人に聞く」が掲載されています。
- (2)この2つの記事は、名古屋芸大 BORDERLESS（ボーダレス）改革の理念と目的、改革の基本戦略など、名古屋芸大が目指す新しい教育と大学像を対外的にまとめた形で明示した、いわば改革のマニフェストともいえるべき文献であり、全名古屋芸大生と保護者、受験生、全教職員必読の最重要資料です。
- (3)発行から既に5年半以上が経過し在庫も底をついて

いるようですが、幸いインターネットで全文を読むことができます。「名古屋芸大グループ通信」または「名古屋芸術大学後援会報」と入力してください。バックナンバーがPDFで読めます。

■YouTubeには名芸大の動画がいっぱい

YouTubeには名古屋芸大の入試案内から授業風景、キャンパスライフに至るまで新旧多数の動画がアップされています。これらの動画は、名古屋芸大および学生たちの広範囲にわたる活動を手取り早く知る上で大変役立ちます。取捨選択しつつ、楽しみながらご覧いただけます。

■コンサート・展覧会・イベントに行こう

さらに名古屋芸大芸術学部各領域、および人間発達学部が実施するコンサート、展覧会、各種イベントに保護者が積極的に参加することで、大学と芸術が一層身近な存在となります（イベントスケジュールは本号57頁～58頁参照。）ちなみに名古屋芸大は「地域社会との連携」、「地域に開かれた大学」を目指し、2008年（平成20年）10月、地元である「北名古屋市との連携に関する協定」を締結しています。また北名古屋市内には「名古屋芸術大学地域交流 LABO」（名鉄犬山線「徳重・名古屋芸大前駅」から徒歩2分）や、「名古屋芸術大学アーツスクエア（文化勤労会館）」（西キャンパスから徒歩5分）などの関連施設もあります。

■名古屋芸大公式ホームページ

イベント情報は、「後援会報」（年2回9月と3月に発行）や、大学のホームページで公表されています。（名古屋芸大ホームページ）

<http://www.nua.ac.jp/index.html>

■ラインで「お友だち登録」しよう

名古屋芸大のラインサービスに「お友だち登録」することで、大学の最新情報や各種イベント情報が送られてきたり、各種 SNS サービスが利用できます。

■チラシやパンフレットは両キャンパスの事務室で

規模の大きなイベントになるとチラシ等が配布される場合があります。コンサートや展覧会など、チラシやパンフレットは東西両キャンパスの事務室に沢山置いてあります。お子様の下校時や保護者様でもどなたでも、ご自由にお持ち帰りいただけます。

■大学の組織・各種お問い合わせ先は

名古屋芸大の学部・学科・領域・コースの組織図は本誌65頁に掲載されています。また学費、奨学金、成績、免許・資格、留学、進学（大学院）、就職、その他に関するお問い合わせ先一覧は、本誌53頁をご覧ください。

【特集 1】

荻須レポート

生理用品無償配布の緊急支援報告書

新型コロナウイルス感染症は感染拡大の波を繰り返し、今なお厳しい状況が続いており、私たちの暮らしを含め社会経済活動に大きな影響を及ぼしています。

名古屋芸術大学後援会では、アルバイト収入の減少や、家庭の経済状況が悪化した学生を支援するため、緊急支援の一環として「生理用品の無償配布」を実行しました。



後援会副会長（総務委員長）
荻須 紀子

7月30日午前10時30分より午後1時30分までの予定で、東キャンパス学生食堂前付近（交流テラス下）、西キャンパスも同じくB棟1階学生食堂前ホール（画材店付近）で配布を始めました。



無償配布に先立ち、あらかじめ後援会で用意した文面をユニバーサルパスポート（通称ユニパ）に流していただき、周知をはかりました。また、今後の学生支援活動の参考とするために、アンケートへの協力をお願いしました。アンケートは学生が回答しやすいよう、QRコードを読み取ってもらうwebアンケートにしました。

配布開始より、「ユニパを見てきました」といった学生が受け取りに来たり、受け取った友人から友人へさらに情報が拡散され、「友達から聞いて来ました」と女子学生が次々と訪れ、昼休憩の終了時間を待つことなく、大好評のうちに予定数を配布し終わりました。

また、東西両キャンパスのトイレに後援会スタッフ自作の生理用品を入れたカゴを設置し、配布当日に受け取りに来られなかった学生や、さらに必要とする学生に利用してもらえようにしました。webアンケートも引き続きお願いして参ります。

今回は女性役員・理事が配布を担当し、学生と直接



れ合う機会を持つことができました。学生たちからは「どうして配っているのですか」といった質問から、後援会の存在や活動について知って

もらう良い機会になりました。

アンケートに対しても皆さま大変協力的で、回答率は驚異の98.5%でした。学生の皆様の高さを改めて知らされ、大きな手応えを感じました。生理用品無償配布の今回の企画に対し、「よい」、「どちらかと言えばよい」、「とてもありがたい」、「助かります」、「大事に使います」というお言葉や、「トイレットペーパー」、「日用品」、「食料品・飲料」などの支援の要望が寄せられました。



今回の生理用品の無償配布は、後援会の2021年度執行部がスタートしたばかりでしたが、緊急学生支援の必要性が高いとの判断に基づき、短い準備期間だけで実行に踏み切りました。後援会では、アンケートにお寄せいただいた学生の皆様のご意見を参考にしながら「チア・プロジェクト」として支援を必要とするすべての学生を対象に、食料品支給を含むさまざまな支援策を考え、実行していきたいと思っています。



最後になりましたが、西キャンパスでは配布活動中の後援会スタッフに、学生支援チームの伊藤元房チームリーダーからあたたかい激励のお声がけをいただきました。また東キャンパスでは名芸大グループの企業である(株)クレーレの女性社員の皆様が休憩時間を利用してお手伝いに駆けつけてくれました。心よりお礼申し上げます。



後援会へのご連絡は、アンケートのQRコード、または下記までeメールで、いつでもお寄せください。たくさんのご意見をお待ちしております。

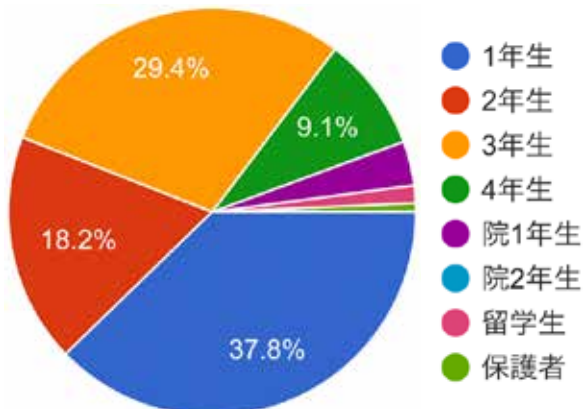
【後援会事務局】

e-mail : kouenkai@nua.ac.jp

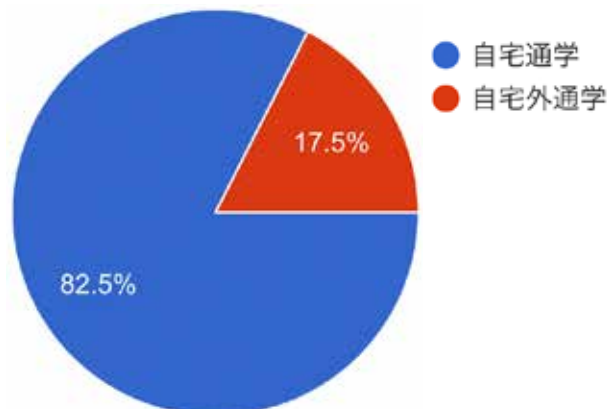
(担当者=山下)

アンケート結果

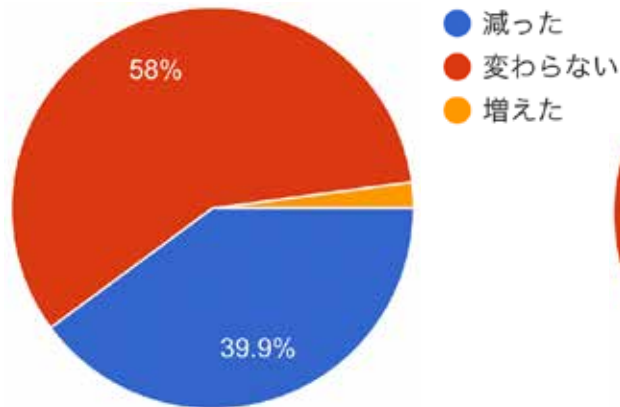
Q1: 学年を教えてください



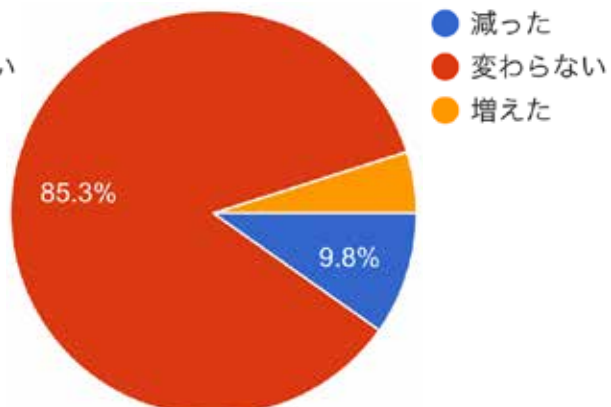
Q2: 自宅通学ですか、自宅外通学ですか？



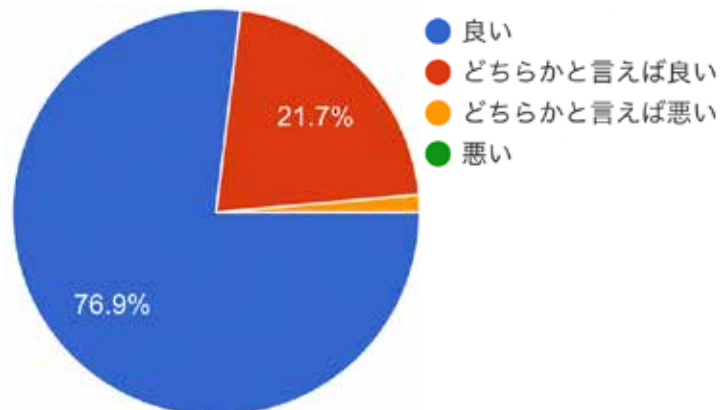
Q3: コロナ禍の影響でアルバイト収入に変化はありましたか？



Q4: コロナ禍の影響で保護者からの支援に変化はありましたか？



Q5: 今回の支援はどうですか？



Q6: 製品について求めるもの

・安心感1.4%
・食べ物1.4%
・トイレトペーパー0.7%
・価格を下げて欲しい0.7%
・服みたいに夏用とか冬用があるといい0.7%
・一人暮らしなので絶対に使う日用品 がありがたいです0.7%
・夜用の減りが早いので、出来れば多 い時用の夜用があると助かります0.7%
・夜用もください0.7%
・スリムガード0.7%
・月経カップ0.7%
・記入なし	... 91.6%

Q7: 後援会からの支援についてご意見、ご要望

・すごくありがたいです。大事に使います0.7%
・とてもありがたいです0.7%
・ありがたいです0.7%
・ナプキンのサイズが大きいものを支援していただくと とても助かります0.7%
・とても助かります。ありがとうございます0.7%
・助かりますありがとうございます!!0.7%
・生理用品の支給はすごく助かります！ありがとうございます。0.7%
・食料、飲料0.7%
・食料品0.7%
・記入なし	... 93.7%

【アンケート結果】 回収率は約 100%。その内 99% が今回の支援を歓迎するもので、「助かります」、「ありがたいです」、「大切に使います」と感謝の言葉が並んだ。下宿生の全体に占める割合は 18%。アルバイト収入減は 40%、10% が保護者からの援助の減少を訴えた。欲しい品目の中には「飲・食料品」や「トイレトペーパー」等の日用品も見られ、学生達の厳しい生活の一端が垣間見られた。寄せられた意見を参考に、次の支援につなごう。 (矢野草子)

【特集 2】

対談

コロナに負けるな！「生理の貧困」
後援会《チア・プロジェクト》に込められた思いとは



2021 年度名古屋芸術大学後援会
会長 **矢野 章子**

2021 年度名古屋芸術大学後援会
監事 **菊井 政右衛門**
(2019 年度・2020 年度会長)

名古屋芸術大学後援会では7月30日、緊急学生支援事業「チア・プロジェクト」をスタート。東西両キャンパスで生理用品の無償配布を行いました。これは新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、アルバイト収入の激減や家計状況の悪化などにより、生理用品の購入が困難となった「生理の貧困」を救済するための後援会独自の取り組みです。2021年度後援会矢野章子会長と菊井政右衛門監事(前年度会長)のお二人にお話ししていただきました。



(記録・写真/後援会理事 広報委員会委員 渡邊綱夫)

■「チア・プロジェクト」は応援団

2021 年度
名古屋芸術大学後援会
菊井政右衛門監事
(2019年度・2020年度会長)



菊井政右衛門監事：それでは緊急学生支援事業「チア・プロジェクト」の名称の由来からお話してください。

矢野章子会長：「チア (cheer)」には「励まし、歓呼、応援する、元気づける」といった意味があります。スポーツの観覧席で応援を指揮する「チアリーダー」をご存じだと思いますが、あの「チア」です。英語でチアリーダーは単数ではなく、複数人から構成されるチームを意

(注) 写真撮影時のみマスクを外しています。

味します。

菊井監事：翻訳すると「応援プロジェクト」、「元気を出そうプロジェクト」みたいな感じですね。

矢野会長：はい、そのとおりです。



「生理の貧困」をなくしたい！

2021 年度
名古屋芸術大学後援会
矢野章子会長

菊井監事：取り組みを始めた背景やプロジェクトの仕組みなどについてお話しください。

矢野会長：時間的な経過から言えば、菊井監事が会長に就任され、2019年度・20年度と2年間にわたる後援会の大改革に取り組みられました。私は先輩である川野佳代現後援会顧問の後任として、20年度筆頭副会長兼総務委員長に就任しました。菊井会長の補佐役として、お仕事を間近に拝見しながら沢山の勉強をさせていただきました。

菊井監事：私が会長だった2020年5月、新型コロナウイルスの世界的パンデミックのさ中に、全学生一律5万円の「名古屋自由学院奨学金」給付のご英断を川村理事・竹本学長に仰いだ後、さまざまな学生支援の可能性について検討しました。しかし新型コロナウイルス感染症の爆発的まん延によって大学は封鎖され、授業はオンライン。長引く混乱の中で行事は軒並み中止に追い込まれ、後援会の組織活動も身動きが取れなくなりました。

やむを得ず次年度事業化に向けて必要な予算だけは確保して、実施は2021年度の新執行部に委ねることを決断しました。

矢野会長：今年も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で後援会の通常総会が開けず、書面総会となったため、私が会長に就任してからまだ2ヶ月目ですが、今回の生理用品の緊急サポート事業は女性ならではの視点から、一日も早くやりたかったテーマです。準備期間もそこそこに、平日動ける女性スタッフに集まってもらって、一気にやりました。男性では受け取る側の女子学生も、ちょっと抵抗感があるかなと思ひました。



菊井監事：うちは娘から買い物ついでにお父さん生理用品買ってきてって言われるようなオープンな家庭ですから、生理と聞いても私は全然平気です。生理や性をことさらタブー視する必要はないし、やみくもに押さえつけるのは良くないというのが私の考えです。打ち合わせの時にその話をしたら、女性役員にドン引きされました。よそのお家では男親はその手の話題にはノータッチなんだって、へえそうなんだと。それに生理用品の手渡し配布を提案したら、ご婦人方からは「恥ずかしいからもらいに行けない」なんて反対されました。(苦笑)

矢野会長：今回男性の役員や理事さんには、準備段階で活躍していただきました。北名古屋市内のドラッグストアやスーパーマーケットから見積りを取ったり、段ボール箱単位でどっさり購入した生理用品を運搬したり、小分けして袋詰めする作業では、皆さん女性陣の指示に従って一生懸命働いてくださいました。(笑) ご協力ありがとうございました。



■生理用品は女性の生活必需品ではない?! その仰天理由

菊井監事：娘の買い物ついでに言いますと、「生理の貧困」問題で今回私も初めて気づいたのですが、生理用品は軽減税率の適用対象外。消費増税される際に生活必需品は税率8%になったはずですが、ティッシュやトイレットペーパーなどと一緒对生活必需品とは認められずに、税率10%です。国民が毎日大量に消費する生活必需品の方に2%上乗せされて徴税されている。国の財源確保が目当てなのでしょうが、新型コロナ禍で英国では生理用品の税金は廃止され、フランスでは国が大学生に無償配布を始めたというのに、「生理の貧困」で呻吟している日本の女性にとっては不公平で酷な話です。

矢野会長：私なども消費税にはすっかり慣れてしまっ、何も考えずに払い続けてきましたが、言われてみれば生理用品は女性にとっては何十年ものお付き合いになる生

活必需品ですから、税金安いに越したことはありませんね。

菊井監事：今回私は配布当日は参加できなかったのですが、ユニバーサルパスポート(注1)に配信する案内文の原稿作りで協力してもらいましたが、次回からは女性陣も恥ずかしいと言わないで、男性でも配布現場に参加できるようにしていただけたらと思います。

矢野会長：ご提案ありがとうございます。様々なかたちでご参加いただけたらと思います。



菊井監事：それと後援会の学生支援活動として、しっかりと学生のニーズに寄り添うためには、生理用品を1回無償配布したから終わりではなくて、その背景にある学生たちの経済格差やジェンダーギャップといったテーマにもきちんと対応していくことが必要です。生理用品の無償配布からさらに幅広い学生支援へとつなげていくこと、これが今後の大切な課題になってきます。

(注1)「ユニバーサルパスポート」：それまでのポータルサイトに代わって、2021年4月1日より新しく名古屋芸術大学に導入された、大学と学生をつなぐインターネットシステム(略称ユニパ)。学生はこのシステムを利用して多岐にわたる学内情報にアクセスすることが可能となり、利便性・機能性が飛躍的に向上した。

■無償配布の原点は「至誠奉仕」、建学の精神

菊井監事：今回この生理用品サポート事業の直接的な契機となる出来事はあったのでしょうか。

矢野会長：菊井監事が会長時代から理事会メンバー向けの内部学習資料として配信されてきた「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会通信」の中で、2021年の年明けごろから、引用される新聞・雑誌の記事やテレビ報道で、「生理の貧困」に関するニュースが急増しました。自分自身女性でありながら、それまで女子学生たちの「生理の貧困」にあまり気づかなかったことを反省し、すぐに副会長に連絡を取り相談しました。

菊井監事：相談した結果、どうなりましたか。

矢野会長：「学生たちの生の声を聴こう」という意見が出て、自分たちの子どもやその友人たちからヒアリングしたり、独自に情報収集をしました。

菊井監事：情報分析の結果どのような判断をされましたか。

矢野会長：大学の東西両キャンパスにはそれぞれ保健室があり、看護師資格を持った専門職員が常駐しています。保健室には生理用品は常備してありますが、使用後は新品を返すのが一般的なルールだそうです。しかし、新型コロナウイルスのまん延で、バイト収入の激減や家庭の

経済状態の悪化などから「お金がない」とか、「親に言いにくい」など、生理用品を購入することが困難な学生が何人もいることがわかりました。そこでこれは一刻の猶予もできないと判断し、緊急学生支援活動の第一弾として、生理用品の無償配布プロジェクトを実行に移すことを決めました。



菊井監事：会長に就任されてすぐの、非常にスピード感あふれる対応でした。生理用品のニーズに対しては後援会の女性役員と認識を共有し、緊急支援対策の必要性で一致したということですね。

矢野会長：そうです。後援会は誰のために仕事をするのか。私は菊井執行部の筆頭副会長時代から、いつもそのことを行動の中心に置いて考えてきました。

菊井監事：私はこの2年間、会長として後援会改革と組織建設を進めてくる過程で、常に「至誠奉仕」の建学の精神を堅持し「学生ファースト」で、学生が求めていることなら、どんな難しい問題であっても体当たりで突き進む、そういう信念を持って行動してきました。でもさすがに生理は自分では直接経験のない領域の話だったので、男性としての限界も感じました。

■男性優位社会の日本では女性は二の次 背景にはジェンダーギャップが

矢野会長：限界ということとは、突き詰めて言えば、ジェンダーギャップ（男女間の性的格差）の問題ですか。

菊井監事：はい。国の政治もそうですが、日本はまだまだ男性優位社会で女性は少数派です。最近では東京五輪組織委員会の森会長の女性蔑視発言が大きな問題になりました。数年前には大相撲の地方巡業で、土俵上で挨拶に立った男性市長が倒れ、救助のために土俵に駆け上がった女性看護師に対し、相撲協会側が土俵から下りるよう場内放送をくり返し、大量の清めの塩までまくという出来事がありました。「女性＝生理＝穢れ（ケガレ）」という、迷信と時代錯誤に基づく茶番劇でした。OLが法律で認められた生理休暇（労働基準法第68条）さえなかなか取りづらいつつ、こうした男性社会の根底に潜む人権感覚の麻痺した偏見と差別意識、すなわちジェンダーギャップこそが、生理用品サポート事業のような女性のための政策が日本で遅々として進んでこなかった根本原因だと、改めて感じさせられました。

■女子学生の当事者目線で考えたこと

菊井監事：女子学生の当事者目線に対応するために、今回どのような工夫をされたのでしょうか。

矢野会長：ひとつは学生からのアンケートです。生理用品の無償配布をした日から、この間、135通くらい学生からの要望や意見が届いています。私たち後援会役員は皆さん仕事を持った普通の主婦ですが、事務局からア

ンケートの転送を受けると、すぐに目を通し、情報共有し、電話やメールで対応しています。キャンパス内にWi-Fiが使える場所が少ないとか、生活や恋愛相談に至るまで、何でも話せるお母さん代わりです。

菊井監事：何かあった時、後援会に言えば相談にのってくれる、生活から恋愛相談に至るまで、親身になってアドバイスしてくれる。大学に相談が必要な時は臨機応変に学生支援グループなどにつないでくれる。生理用品の無償配布をきっかけに、学生たちが後援会の存在を知ったことで、かなり状況が変わってきたという感じがしますね。

矢野会長：手応えを実感しています。今後は大きな方向性は執行部で相談して決めますが、その後の進め方は基本的に現場重視で、理事会メンバーやお手伝いに来てくださる仲間たちに任せたいと考えています。学生のために役立つことなら、仮に失敗したり、反響が少なくても、何にでもチャレンジしていきたいと思っています。

菊井監事：素晴らしいことですね。失敗を恐れて何もし



ないより、一生懸命努力して失敗した方が大きな学び、成長につながると思います。

■アンケートから見た「生理の貧困」の実態 食料品や生活用品の支援求める切実な声も

矢野会長：そのお言葉、肝に命じます。それと荻須副会長（総務委員長）が「緊急学生支援報告書」（注2）に書いていますが、アンケート回答率は驚異の98.5%で、とても大きな反響がありました。生理用品無償配布の今回の企画に対し、「よい」、「どちらかと言えばよい」が98.6%越えて圧倒的多数派です。そして感想としては「とてもありがたい」、「助かります」、「大事に使います」という感謝の言葉や、「トイレトペーパー」、「日用品」、「食料品・飲料」が欲しいといった支援品目の具体的な要望まで寄せられています。（注3）

（注2） 荻須総務委員長「緊急学生支援報告書」本誌15ページ参照。

（注3） アンケート集計結果グラフ、本誌16ページ参照。

菊井監事：「食料品」、「日用品」、「トイレトペーパー」。具体的で切実な要望です。間違いなく助けを必要としている学生がいます。早く次の手を打たないと。

矢野会長：同感です。早くやらないと意味がありません。生理用品については、菊井監事のご発言中にもありましたように、1回配って終わりではなく、東西両キャンパスの女子トイレ数ヶ所に設置場所を設けました。配布していない時でも、生理の時にトイレに行けば気がねなく生理用品を使っていたいただけます。今後も段階的に設置ト



イレの数を増やしていきます。設置トイレでは予想より多くの学生が利用しているようで、その後も追加でアンケートの回答が入ってきています。

■最終目的はアンフェアな状況下にある全女性の救済

菊井監事：後援会の「チア・プロジェクト」は、振り返りますと、昨年5月の大学当局に対する「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急学生支援を求める申し入れ書」の提出（全学生一律5万円の緊急奨学金を実現）を嚆矢（こうし）とするわけですが、7月の生理用品の無償配布を経て、今回の総括と次回以降の具体的支援活動についてお話しください。

矢野会長：はい。今回の生理用品サポート事業はほとんど準備期間なしで名古屋芸大後援会の独自の取り組みとして実施しましたが、名古屋市などでは、学校や大人を含めたすべての女性を対象にした取り組みが始まっています。私たち後援会としては、いずれは困窮学生を含むすべての女子学生を対象に無償提供していけたらと考えています。

菊井監事：男の私にはなかなかわからないことですが、生理のときは生理用品が必要になるだけでなく、例えば体調に影響が出る女性も多いようですね。

矢野会長：生理のナプキンは20枚入りで1個大体数百円で買えますが、コロナ禍でアルバイトが激減し、収入が少なくなり、食費まで切り詰めて生活している学生には、その数百円がとても重い負担になります。生理用品といっても生理用ナプキンだけではなくて、生理用ショーツ、タンポン、鎮痛剤その他、人によっては必要になります。重い症状でクリニックに行く人もいますから、生理に使う金額もまちまちです。生理の貧困で悩まされている人は気軽にナプキンを買えないし、替えられませんが、昼も夜も1枚で長時間使う人もいます。不衛生だし体に良いとは言えません。聞こえてくるのは悲痛な声ばかりです。男性とは違い、女性にとってはアンフェアな状況が続いているのだから、せめて経済的な負担だけでも軽くしてあげたいというのが偽らざる気持ちです。

菊井監事：大学内でこのような取り組みを行ったことで、変化や何か目に見えるような効果はありましたか。

矢野会長：今回の活動を通して、学生支援に加え、後援会の会員である保護者同士が繋がり学び合うことの大切さと、今できること、何ができるだろうかを考え、着実に実行していかなければと思いました。それにはまず、役員・理事の意識を整えるところからスタートしなければなりません。理事研修の必要性を痛感しました。

菊井監事：理事会メンバーの「意識改革と資質向上」は、後援会改革の一貫した重要テーマです。理事会メンバーは毎年卒業と入学で入れ替わります。研修は継続的にしっかりと行っていく必要があります。

矢野会長：これを機会に研修会の実施を企画しますので、是非菊井監事に講師をお願いしたいと思います。

菊井監事：ご指名いただきありがとうございます。承りました。

矢野会長：それと今回の支援活動中のエピソードですが、西キャンパスで配布中に、学生支援チームの伊藤元房チームリーダーが私たちを見つけて、ねぎらいのお言葉をかけてくださいました。嬉しかったですね。元気が出ました。それと東西両キャンパスで職員の方々から配布場所の提供や机の設置などご協力いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



■後援会「チア・プロジェクト」は全力で学生支援活動を継続します

菊井監事：新型コロナ禍では、女子だけでなく、もちろん男子学生も困窮しています。「チア・プロジェクト」、今後どのような取り組みを考えていますか。

矢野会長：一人の女性として「生理の貧困」がもっと多くの人たちに認知され、生理用品の無償配布をする大学や自治体が増えることを希望します。小中高大、すべての学校のトイレに生理用品が常備され、生理で悲しい思いをする女子が一人でも減ってほしいと願っています。引き続き生理用品のサポート事業を行うほか、格安定食、食料品無償配布、後援会奨学金制度の再開など、さまざまな緊急支援を企画して学生の皆さんに寄り添う活動を行っていきたくと考えております。次にお会いする時まで、学生の皆さん、一緒に頑張っていきましょう！

菊井監事：本年度後援会は女性会長をトップに迎え、役員人事も一新し、一意専心、決意も新たに活動に邁進しています。皆さんの力を結集し、「学生満足度ナンバーワン」、「全国芸大（美大・音大）トップ校」の名古屋芸大を必ず実現させましょう。おカネがなくても辛いことがあっても、新型コロナなんかには負けないで、ピンチをチャンスに変えて頑張りましょう。この貴重な経験は必ず人生の次の飛躍へつながるものと確信します。後援会「チア・プロジェクト（Cheer project）」は皆さんを全力で応援します。最後に学生の皆さんへ Cheer projectからのエールを送ります。

Let's cheer up and do our best !

(元気出して頑張ろうぜ！)

矢野会長、菊井監事、長時間の対談お疲れさまでした。本日は有意義なお話をありがとうございました。

(2021年8月13日 渡邊綱夫)

【特集3】

頑張れ就活生!

キャリアセンターからのメッセージ



キャリアセンター長 中川 直毅 人間発達学部教授

出来ることは何でも行っていくとの思いの下で、数々の緊急施策を実施しました。その結果、体感的にはリーマンショック並みに厳しい就職環境ではありましたが、学生諸君の奮闘もあり、昨年度の就職率は、例年の9割をやや下回る4ポイント減に留まりました。

キャリアセンターの中核事業としては、キャリア相談及び教員等試験対策は勿論のことですが、3年前に始めた、キャリアセンター主催の「ハイパワー講座」(高度就業力養成講座)が、学生の間では、すっかり馴染みなものになっていると思っています。これは、名芸大生が、芸術や教育保育の専門的知識を専らとして学びながら、併せて、経営学基礎、法学基礎、ビジネススキル、年金知識などの社会経済的素養やライフワークに必要な知識を身に付けてもらう講座のことを指しています。専門領域の他にもキャリアのウイングを拡げられるような機会を提供しています。これらを私どもは「キャリア二刀流」と意識付けし易いネーミングで受講の周知を図っています。キャリア二刀流とは、名芸大生が、ライフワークのリスクに打ち克てる力を養成することを意図したものであります。

更に本年度から、次のような新しい施策も三つ加わりました。

①キャリアゼミの新設

キャリアセンターの新しい企画。公務員行政職を目指す学生や、経営学の基礎を学びたい学生向けにゼミ形式で開講。ひとつのゼミに、弁護士、社会保険労務士やキャリアコンサルタントの専門家が三人就くという密度の濃い体制で、学びながら、就職支援や相談も同時に行っていくものです。

後援会の皆様におかれましては、本学の教育に日々ご支援賜わり誠にありがとうございます。

さて、2019年にキャリアセンター長を拝命して以来、キャリアセンターの活動主軸を、就職支援に留まるだけでなく、「ブラック企業に近寄せない」「キャリアの複線路線の機会提供」(キャリア二刀流)を標榜して、従来からの就職に強い芸大のイメージを質量共に高めていくべく、教職員一体となり、様々な諸施策を急速展開してまいりました。このような中で、昨年度は、百年に一度的な世界的パンデミックを誘発する新型コロナ禍に見舞われ、まさしく人生における「上り坂下り坂 まさか」のマサカが起こった次第です。

もっとも、キャリアセンターでは、この事態に対処すべく、昨年4月早々の時期に弁護士、社会保険労務士などの専門家の協力を得て、他大学に先駆けて「キャリア防護支援措置」の運用を開始しました。就職トラブルなどのリスクへの備えと、求人検索サイトの充実などによる情報発信力の強化で、在学生は勿論のこと、卒業生に対しても適用することで、安全安心をお届けしてきました。併せて、求人企業の開拓、適用業界の拡大にも尽力し、「青空就職相談会」(三密を避けて屋外で実施)や「手作り求人紹介ボード」(刻々増える開拓求人情報をタイムリーに提供)の設置など、

就活で「悩ませない」をモットーに隔週の通年開講となっています。

②正規科目のビジネス系授業の新設

学務部の新発想により、民法、労務論（労働法）、行政法、経済学、簿記論や起業演習などを単位修得可能な正規科目として新設。また、キャリア系の基礎科目も必修科目となりました。これらはキャリアセンターと連携しながら、担当講師も私をはじめ全て実務専門家が担い、ビジネスの基礎知識を学んでいくものです。芸術や初等教育系の大学では極めて稀な設置科目群です。

③キャリアコンサルタントによる定時定点相談会

毎週水曜日にキャリアセンター内の同じ場所で、複数のキャリアコンサルタント有資格者の職員による相談会を常時開催。気軽に立ち寄れる、そして継続的に、同じ相談員によるキャリア開発&就活支援を受けられます。

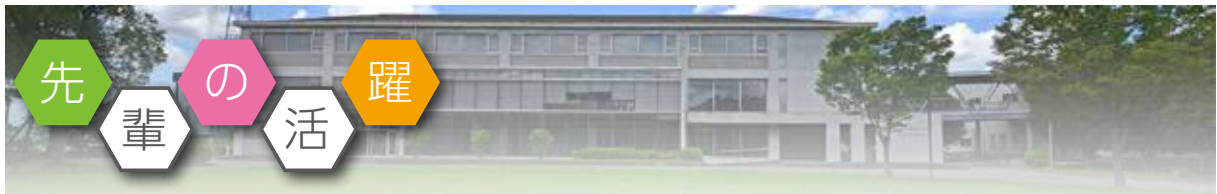
しかしながら、今もって新型コロナ禍は進行中で、異常事態の波は断続的に襲って来ています。この波に打ち勝ってもらうために、キャリア二刀流の考え方への認識を促しながら、正規系科目と

キャリアセンター企画を連携させた、統合的な新施策の「キャリア開発123（ひふみ）教育体系」も導入し、今春からスタートしています。これには、ハイパワー講座などの平時の定番メニューの活動の他、キャリア防護支援措置などの緊急支援策も継続加入させ、情報発信体制及びキャリア相談体制を維持しながら、先述の三つの新施策も加わって構成されています。いわばキャリア開発とキャリア支援の総合的な体制であり、学生諸君をリスクから護り、そしてキャリア形成の一助としていくものです。ご期待頂ければと思います。

学生諸君が、ひとりで悩むようなこともなく、明るく・楽しく・元気に、学生生活を送り、社会に向かっていけるように支援させていただきます。一般大学に引けを取らない就職支援体制を持つ、就職に強い芸術大学として、一層の飛躍を期してまいります。そして、キャリアセンターの教職員一丸となって、保護者の皆様には、ご子弟の進路を安心して見守って頂けるように、努力してまいり所存です。引き続きご支援ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

名古屋芸術大学 キャリア開発123教育体系 (教務正規科目12+キャリアセンター講座3)





「道徳教育が全ての授業・学級経営につながる」

2018年度 人間発達学部卒業

若原 正伍

私は、名古屋芸術大学を卒業し、愛知教育大学の教職大学院に進学しました。そして、現在、愛知県で小学校の教員として、毎日楽しく働いています。

大学院では、道徳の研究に励みました。しっかりとした道徳教育を行えば、子どもが変わり、クラスが変わります。そして、教員の授業力が上がります。「道徳教育は全ての授業・学級経営につながっている。」これは、大学院の恩師の言葉です。道徳の授業で一番大切になってくるのは、発問です。多くの先生は、「当たり前の発問」をよくやってしまいます。例えば、「Aさんはいじめをされて、どんな気持ちになりましたか？」という発問は、考えなくてもわかる当たり前の発問です。「いやな気持ち・悲しい気持ち」だと、誰でも思うからです。そこで、「思考を刺激する発問」をします。子どもが考えることが楽しくなるような発問を考えるのです。思考を刺激する発問を考えることで教員の授業力も上がります。実際に算数や国語、社会などで生かされたのを実感しました。これらは、私が大学院で学んだ、ごく一部です。

現在、その全てが生かされています。ぐちゃぐちゃに入れてある、本棚を写真で撮り、それを使った道徳授業をすれば、その日から、とってもきれいな本棚になっています。子どもが変わり、クラスが変わった瞬間です。道徳教育は学級経営なのです。

教育は、大学で学んだことが全てではありません。もっともっと深く、考えれば考えるほど、たのしいものでもありません。未来のための子どもたちを、思いやりのある、人として当たり前のことが当たり前のできる立派な大人に育てていくために、私はこれからも道徳教育に励んでいきます。

(愛知県小学校教諭)



「夢だった建築士になって」

2020年度 芸術学科 デザイン領域

スペースデザインコース卒業 長谷川 彩

私は現在ハウスメーカーの商品開発部で技術職として働いております。建築士になることは子供の頃からの夢であり、ニーズの先を見据えた住まいづくりをしたいと考えております。

貴学ではデザイン専攻スペースデザインコースに在学しておりました。受験生の時は意匠設計よりも構造設計に興味がありましたが、貴学に入学したおかげで先生方や他の学生から刺激を受け、現実的な思考ばかりで固まらず「こんな暮らしいいな」「こんな事をしたら面白いかな」と柔軟な創造力を養うことができました。そして、常にアンテナを張り普段から発見や疑問を持つことの重要性を今改めて痛感しております。

就職活動ではハウスメーカーや建築事務所など多くの選択肢があり悩みました。そこで皆さんにアドバイスできることは、「就職の悩みを解消する近道は、よく知りよく分析する事」です。なぜこれは興味がありこれは嫌なのか考え、それでも結論が出ないのであればなるべく沢山のインターンシップやオープンデスクに参加し、自

己分析が難しければ他己分析をお願いしてもいいと思います。コロナ禍で苦労も多いかと思いますが納得のいく道をととことん探してみてください。

最後に、私は業界屈指のデザイン力と多様なポートフォリオに惹かれて弊社に入社し、現在もより高い知識と経験の取得を目指して業務に取り組んでいます。学生の皆さんも是非諦めることなく夢に向かって突き進んでいただければ幸いです。

(ハウスメーカー)





これからの車を創る

2020年度 芸術学部 デザイン領域
カーデザインコース卒業

藤澤 知成

デザイン領域カーデザインコースを卒業後、現在は自動車のインテリアデザイナーとして勤務しています。主な仕事内容は、新型車やコンセプトカーの内装を先行開発・共同開発をメインに行っています。



私は幼いころから乗り物と絵を描くことが好きで、それを両立できる仕事を目指し高校・大学ともにデザインが学べる学校を選択しました。

大学2年生

からはカーデザインコースに進み、プロダクトデザインやカーデザインについて学びました。当初は外装デザインを中心として課題に取り組んでいました。

企業のインターンシップに参加したり色々な車を運転しているうちに内装デザインの面白さと重要性に気づき、それからは内装デザインを主として勉強し就職活動を経て今に至ります。

入社して5カ月経って感じたことは、大学生の頃はある意味、一人のアーティストや芸術家だったのだと。自分でストーリーを組み、自由な発想で個性ある作品を創る。一方でデザイナーは企業として利益の出るものをデザインする。コストや製法、設計要件など様々な課題を考えながらベストなものを。そのギャップが入社して感じた一番大きなことです。ですが仕事自体は楽しく、まだまだ勉強する事がたくさんありますが一歩一歩レベルアップしていこうと思います。

働き出すと大学生の頃のような時間はありません。その時間を無駄にせず色々な体験をしてインプットするといいと思います。コロナ禍なので体調には気を付けて、学生生活楽しんでください。

(自動車内装デザイナー)

テキスタイルの魅力を伝えたい

2020年度 芸術学科 デザイン領域
テキスタイルデザインコース卒業 **畠 絵美里**

現在私は大垣市の毛織物を製造する会社で、デザイナーとして働いています。

大学ではテキスタイルデザインコースで学びました。

織りや染めなど、テキスタイルについて学んでいく中で、特に織物や毛織物の産地として有名である尾州産地に興味を持ちました。

また在学中に、「一宮地場産業ファッションデザインセンター」が企画する「翔工房」や、「インパナ塾」、「ものづくりリレー」などにも参加し、素晴らしい生地や技術に触れ、また多くの素晴らしい職人さんとの出会いもあり、自分も人に素晴らしいと思ってもらえるような生地を作りたい、という気持ちがさらに強くなり、生地のデザインや製造に関わる仕事がしたいと思うようになりました。

デザイナーとして入社し、4ヶ月経ちますが、現在は、デザインをする上で必要な、生地についての知識を深めるため、生地の分析や規格の立て方などを中心に学び

ながら仕事をしていきます。

学生の時は、機能性などは考慮せず、見た目のデザインをしていましたが、製品としての生地を設計する際

は、実用性、機能性を考慮して糸を選び、組織を考えた上でデザインをしなくてははいけません。このように、入社してからも毎日が勉強の日々で大変ですが、少しずつ生地についての知識が増えていくのはとても楽しいです。

これからも沢山のことを学びながら、テキスタイルデザイナーとして織物の魅力を一人でも多くのひとに伝えていけるように頑張っていきたいです。

(毛織物製造)



2020年度進路状況

東キャンパス（芸術学部）

令和3年5月1日現在

		音楽領域		芸術教養領域		合計		総計
		男	女	男	女	男	女	
教育関係	公立学校教員	1	6			1	6	7
	私立学校教員					0	0	0
	その他教育機関(海外等)					0	0	0
小計		1	6	0	0	1	6	7
福祉関係	福祉施設等(音楽療法士含む)		3			0	3	3
	小計	0	3	0	0	0	3	3
就音楽講師	ヤマハ・カワイ講師					0	0	0
	楽器店講師	1				0	1	1
	自宅教室(ピアノ)					0	0	0
	自宅教室(他)					0	0	0
	幼稚園・保育所					0	0	0
小計		0	1	0	0	0	1	1
職音楽家	奏者(フリー)	7	3			7	3	10
	ミュージカル・アーティスト等					0	0	0
	小計	7	3	0	0	7	3	10
	一般企業	8	30		1	8	31	39
	各種団体等					0	0	0
小計		8	30	0	1	8	31	39
公務員	行政職					0	0	0
	その他					0	0	0
小計		0	0	0	0	0	0	0
合計		16	43	0	1	16	44	60
進学	大学院	3	4		1	3	5	8
	研究生	2				0	2	2
	海外(留学)					0	0	0
	その他(大学・専門等)					0	0	0
合計		3	6	0	1	3	7	10
就職・進学希望なし	結婚・家事等					0	0	0
	その他	6	2			6	2	8
合計		6	2	0	0	6	2	8
就職活動継続中	講師登録・その他	2	2		1	2	3	5
	合計	2	2	0	1	2	3	5
総合計		27	53	0	3	27	56	83

卒業生数(9月卒業含む)	27	53	0	3	27	56	83
就職・進学希望者数	21	51	0	3	21	54	75
就職・進学者数	19	49	0	2	19	51	70
就職・進学率	90.5%	96.1%	-	66.7%	90.5%	94.4%	93.3%
	94.4%	66.7%		93.3%			

西キャンパス（芸術学部）

令和3年5月1日現在

		美術領域			デザイン領域			合計		総計
		男	女	計	男	女	計	男	女	
教育関係	公立学校教員(常勤・非常勤講師含む)	2	2	4	2	2	4	6	6	
	私立学校教員(常勤・非常勤講師含む)			0	0	0	0	0	0	
	小計	2	2	4	2	2	4	6	6	
フリーランス・作家活動	合計	2	5	7	7	6	13	9	11	20
	小計	2	5	7	7	6	13	9	11	20
就一般企業等(職種別)	クリエイティブ職(デザイナー職等)	2	2	13	31	44	13	33	46	
	専門技術職(機械設計職等)	4	4	7	10	17	7	14	21	
	総合職	2	2	1	2	3	1	4	5	
	販売職	2	12	14	2	12	14	4	24	28
	営業職			0	0	0	0	0	0	
事務職	事務職	1	9	10	1	7	8	2	16	18
	その他			0	0	0	0	0	0	
	小計	3	29	32	24	62	86	27	91	118
公務員	行政職			0	0	0	0	0	0	
	その他			0	0	0	0	0	0	
小計		0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		7	36	43	31	70	101	38	106	144
進学	大学院	1	10	11	5	2	7	6	12	18
	研究生	1	1		1	1	0	2	2	
	海外(留学)			0		0	0	0	0	
	その他(大学・専門等)	1	1	3	1	4	4	1	5	
合計		2	11	13	8	4	12	10	15	25
就職・進学希望なし	結婚・家事等			0		0	0	0	0	
	その他	1	4	5	2	5	7	3	9	12
合計		1	4	5	2	5	7	3	9	12
活動中(調査中)	講師登録・その他	2	8	10	8	29	37	10	37	47
	合計	2	8	10	8	29	37	10	37	47
総合計		12	59	71	49	108	157	61	167	228

卒業生数(9月卒業含む)	12	59	71	49	108	157	61	167	228
就職・進学希望者数	11	55	66	47	103	150	58	158	216
就職・進学者数	9	47	56	39	74	113	48	121	169
就職・進学率	81.8%	85.5%	84.8%	83.0%	71.8%	75.3%	82.8%	76.6%	78.2%

東キャンパス(人間発達学部)

令和3年5月1日現在

		子ども発達学科		総計
		男	女	
教育関係	公立学校教員	2	3	5
	公立幼稚園教員			0
	私立幼稚園教員	3	3	6
	その他の教育機関			0
小計		2	6	8
認定(1)も園	幼保連携型・幼稚園型	6	6	12
	幼保連携型・保育園型	5	5	10
	小計	0	11	11
福祉関係	公立保育所	5	5	10
	私立保育所	1	17	18
	福祉施設等(保育士等)	2	6	8
	学童保育所(クラブ)			0
小計		3	28	31
一般企業	一般企業	6	9	15
	各種団体等	1	1	2
	小計	7	9	16
公務員	その他			0
	小計	0	0	0
合計		12	54	66
進学	大学院			0
	研究生			0
	海外(留学)			0
	その他(大学・専門等)	1	1	2
合計		0	1	1
就職・進学希望なし	結婚・家事等			0
	その他	0	2	2
合計		0	2	2
就職活動継続中	講師登録・その他			0
	合計	0	0	0
総合計		12	57	69

卒業生数	12	57	69
就職・進学希望者数	12	55	67
就職・進学者数	12	55	67
就職・進学率(%)	100.0%	100.0%	100.0%

2021年度 就職対策・キャリア支援行事予定表

《音楽領域・芸術教養領域》

日程	主たる学年	ガイダンス・キャリア支援講座等
4月	全学年	就職、キャリアに関するオリエンテーション
6月	3年	介護等体験事前指導及び介護等体験オリエンテーション(全体・社福)
8月	3年・一部4年	介護等体験特別講座(外部講師) 介護等体験オリエンテーション(特支)
9月	4年	教員免許状一括申請第1回説明会
5月～9月	2・3年生 大学院生	キャリア開発サポートゼミ塾 前期 「ビジネス・起業&就活支援」コース 「ビジネス・公務員&就活支援」コース
9月	全学年	集中講義 キャリア開発サポートゼミ塾 「起業を意識したマーケティングA」 「社会政策講義～社会を知り、就職試験にも役立つお得な講座」
8月～10月	全学年	ハイパワー講座 I期 ①国際ビジネス講座 ～これからの国際社会とデザイン思考 ②ビジネススキル講座 ～ビジネスに役立つ和のマナー ③ハイパワー起業講座 ～マネジメントゲームを通じた経営体験 ④SPI特訓講座 ～理系思考とキャリア形成 ⑤就活準備応援講座 ～就活スキル向上の極意を1日で学ぶ
11月～12月	学部4年・ 院2年	教員免許状一括申請第2回説明会および講師登録説明会
10月～1月	2・3年生 大学院生	キャリア開発サポートゼミ塾 後期 「ビジネス・起業&就活支援」コース 「ビジネス・公務員&就活支援」コース
11月～12月	3年生	就活対策ガイダンス
1月	全学年	集中講義 キャリア開発サポートゼミ塾 「起業を意識したマーケティングB」
2月	全学年	集中講義 キャリア開発サポートゼミ塾 「憲法講義～統治論を中心に」
3月	3年生	就活直前 ハイパワーキャリア決起講座

※6月～2月 全学年対象 就職支援・資格取得講座を実施。

※不定期 学内企業説明会を実施。

《美術領域・デザイン領域》

日 程	主たる学年	ガイダンス ・ キャリア支援講座等
4月	全学年	就職、キャリアに関するオリエンテーション
5月	2～4年生	ポートフォリオ対策講座
6月	3年	介護等体験事前指導及び介護等体験オリエンテーション（全体・社福）
8月	3年・一部4年	介護等体験特別講座〈外部講師〉 介護等体験オリエンテーション（特支）
9月	4年	教員免許状一括申請第1回説明会
5月～9月	2・3年生 大学院生	キャリア開発サポートゼミ塾 前期 「ビジネス・起業&就活支援」コース 「ビジネス・公務員&就活支援」コース
9月	全学年	集中講義 キャリア開発サポートゼミ塾 「起業を意識したマーケティングA」 「社会政策講義～社会を知り、就職試験にも役立つお得な講座」
8月～10月	全学年	ハイパワー講座 I期 ①国際ビジネス講座 ～これからの国際社会とデザイン思考 ②ビジネススキル講座 ～ビジネスに役立つ和のマナー ③ハイパワー起業講座 ～マネジメントゲームを通じた経営体験 ④SPI特訓講座 ～理系思考とキャリア形成 ⑤就活準備応援講座 ～就活スキル向上の極意を1日で学ぶ
11月	学部4年・ 院2年	教員免許状一括申請第2回説明会および講師登録説明会
11月	2～4年生	ポートフォリオ対策講座
10月～1月	2・3年生 大学院生	キャリア開発サポートゼミ塾 後期 「ビジネス・起業&就活支援」コース 「ビジネス・公務員&就活支援」コース
11月～12月	3年生	就活対策ガイダンス
1月	全学年	集中講義 キャリア開発サポートゼミ塾 「起業を意識したマーケティングB」
2月	全学年	集中講義 キャリア開発サポートゼミ塾「 憲法講義～統治論を中心に」
3月	3年生	就活直前 ハイパワーキャリア決起講座

※6月～2月 全学年対象 就職支援・資格取得講座を実施。

※不定期 学内企業説明会を実施。

《人間発達学部》

日 程	主たる学年	ガイダンス ・ キャリア支援講座等
4月	全学年	就職、キャリアに関するオリエンテーション
4月	2年	幼稚園実習申込オリエンテーション
5月	2年	小学校実習申込オリエンテーション
6月	3・4年	小学校実習直前オリエンテーション(教育実習指導(小学校)授業内)
6月	1年	保育士資格取得申込オリエンテーション
6月	3年	介護等体験事前指導及び介護等体験オリエンテーション(全体・社福) (介護等体験授業内)
7月	3年	幼稚園実習直前オリエンテーション(教育実習指導(幼稚園)授業内)
8月	3年・一部4年	介護等体験特別講座(外部講師) (介護等体験授業内) 介護等体験オリエンテーション(特支)
9月	4年	教員免許状一括申請第1回説明会
5月～9月	2・3年生 大学院生	キャリア開発サポートゼミ塾 前期 「ビジネス・起業&就活支援」コース 「ビジネス・公務員&就活支援」コース
9月	全学年	集中講義 キャリア開発サポートゼミ塾 「起業を意識したマーケティングA」 「社会政策講義～社会を知り、就職試験にも役立つお得な講座」
8月～10月	全学年	ハイパワー講座 I期 ①国際ビジネス講座 ～これからの国際社会とデザイン思考 ②ビジネススキル講座 ～ビジネスに役立つ和のマナー ③ハイパワー起業講座 ～マネジメントゲームを通じた経営体験 ④SPI特訓講座 ～理系思考とキャリア形成 ⑤就活準備応援講座 ～就活スキル向上の極意を1日で学ぶ
10月	4年	保育士登録説明会
11月	学部4年・ 院2年	教員免許状一括申請第2回説明会および講師登録説明会
10月～1月	2・3年生 大学院生	キャリア開発サポートゼミ塾 後期 「ビジネス・起業&就活支援」コース 「ビジネス・公務員&就活支援」コース
11月～12月	3年生	就活対策ガイダンス
12月	2・3年	保育所実習IⅡ直前オリエンテーション (保育実習指導(保育所)全体会)2学年合同
1月	3年	施設実習直前オリエンテーション
1月	全学年	集中講義 キャリア開発サポートゼミ塾 「起業を意識したマーケティングB」
2月	全学年	集中講義 キャリア開発サポートゼミ塾 「憲法講義～統治論を中心に」
3月	3年生	就活直前 ハイパワーキャリア決起講座

※6月～2月 全学年対象 就職支援・資格取得講座を実施。

※不定期 学内企業説明会を実施。

親の想い

親の想い

芸術学部 芸術学科 美術領域
アートクリエイターコース 3年 父 渡邊綱夫

絵を描く事が得意なだけでは、世の中渡ってはいけなないと、娘が中学時代に言い聞かせた思い出を、私は今でも覚えています。

そんな彼女が、高校も自ら美術専門校を探し入って、何度も地域で賞などをいただき、名古屋芸術大学に推薦で入ってしまいました。

専門的な分野において、自らが知らなかった知識を持てる素晴らしさに日々喜びを感じているのも事実であるでしょうが、自らの作品や主張を他の者に評価や共感される事により、自分のスキルを向上出来る事が、修学する事の何よりな利点と彼女も感じていると思います。

学ぶ事の喜びと、自分の技量を学友と切磋琢磨し合いながら突き詰めていく事を、この大学生活で学び自分の将来が漠然と、ただ好きで絵を描いていた高校時代に比べ、専門的及び実践的な教育により、自分がどの様な才能を持ち、どの様に生かし、そして何者であるのかを、日々の生活で探求し、これから社会と向き合い、就職活動に向けて突き進み、どの様な夢かは知りませんが、人生の大作を描いていってほしいと親は願うばかりです。



「ゼロ」スタートから夢に向かって

芸術学部 芸術学科
音楽領域 音楽総合コース 2年 母 稲垣幸

入学前、履修するコースの選択を迫られていた娘。8年間続けたオーボエや趣味で始めたジャズギターを極めたい。でも裏方の仕事もやってみたい。やりたいことが沢山あった中から彼女が選んだのはミュージカルコース。意外でした。大きな衝撃を受けたことを覚えています。小学生の頃に観たミュージカル映画『Les Misérables』や、高校時代にクラスで制作したミュージカルが忘れられず、更に追求したくなったのでしよう。体も固くダンスも歌のレッスンさえも全く受けたことがない「ゼロ」からのスタートなのに出来るのかと心配していましたが、彼女はこの1年で柔軟な体とリズム感、力強い歌声を獲得しました。日々の鍛錬の成果だと感心しています。そしてその努力が実ったのでしよう。12月に上演されるミュージカルコース卒業公演のメインキャストに選んで頂きました。何事にも本気で挑戦する彼女が誇らしいです。自分の夢に向かって着実に進んでいく娘にエールを贈り、これからも一番近くで見守っていこうと思います。



「コロナ禍」と学生たち

芸術学部 芸術学科 デザイン領域
ビジュアルデザインコース 3年 父 池田和由



新型コロナウイルスの感染拡大によって、それまでの普通の生活が失われてから、はや1年半ほどが過ぎた。

その間にリモートと対面を使い分けた講義が定着し、昨年度末のレビュー展等での展示作品や、今年度に入ってからの娘や学友の課題への取り組みの様子から、私は学生たちが「コロナ禍」と言う状況に上手く適応しているなと感じている。

その背景に大学側の尽力があることは言うまでもないが、学生たちの困難な状況にあってもしっかりと学び、成果を得ようと勤しんできた積み重ねがそう感じさせるのではないだろうか。

多くの社会人がその影響の厳しさに弱音を吐きがちな「コロナ禍」において、このような適応力を持つ学生たちを頼もしく思う。

娘の大学生活も順調に行けば残り1年半。新型コロナウイルスの感染状況は楽観視できない状況であり、今後も学業や就職活動が妨げられる事態がしばしば起きるであろうが、その適応力を発揮し続けて困難を乗り越えて欲しいと願うばかりである。

親の思い

芸術学部 芸術学科 デザイン領域
先端メディア表現コース 4年生 父 石黒和広



親の思いか…

自分の中で描いているのは一点、「大学での得た知識、経験、技術、使えない環境では働くな」これ以外は特に無い。

自分の未来に思い描いて大学を選び学んだ結果を趣味の世界で過ごすのだけは、さすがに許せないね。君には未来に対して十分な時間と資金を提供した。次は見せてもらいたいね。

今のこの世界を上手く使い、自分の世界を見つけ得ること。この大学は特殊な存在であることは理解している、つもりだ。必要としている社会があること、今はネットで世界中の様々な仕事ができる。

自分も今は某芸術大学でデザインを学んでいる、そこで学ぶ環境は全てネット上に置かれている。そう一度も大学に登校していない、入学も全て。まだその県にも行っていない。

全ては自分の努力と実力の世界。ここ数ヶ月、君たちの世界は甘く無いことを実感している。少しでも今の学生を理解している。自分も芸術大学生だし。

しかし今の時代、さまざまなツールを使いこなさず、世界中の人々とコミュニケーションを取り作業を進めていくこの環境は30年前では考えられなかった事だ。今の若者は環境に順応するスピードが素晴らしいと感じている。

自分の息子だけでなく、大学に通う未来の芸術家達に心から託したい、世界で活躍する唯一無二の存在になることを。

子の想い

一年半のリモート授業を経験して。

芸術学部 芸術学科 音楽領域

アートマネジメントコース 2年生 浦野凌



大学入学と同時にこれまでの当たり前だったことが一変し、授業の大半はリモートで行われるようになりました。大学生になりたての頃は戸惑いしかありませんでした。一年半のリモート授業を経験して感じたこととしてはネットの環境は、ほぼ良好でした。授業を受ける環境も徐々に整え、より快適になりつつあります。今後もより快適に授業を受けられるよう工夫していきたいです。

夫していきたいです。

一方、苦勞した点は、リモートと対面のバランスをうまく取らないといけないところです。僕の場合、午前がリモート、午後から学校で対面。という組み合わせが何度かありました。通学時間の事なども考えてスケジュールを作ることも考えなければいけません。

新型コロナが収束しても、ネットを利用した授業・生活が求められる世の中になると思いますが、しっかりと対応できるようにしたいです。

名古屋芸術大学の魅力

大学院音楽研究科(音楽専攻) 2年生 佐藤安莉

名古屋芸術大学の学生は皆、青春真っ只中。専攻するものに日々没頭しています。そんな名古屋芸術大学には芸大ならではの魅力があると感じます。それは「人との繋がり」や「学びに対する恵まれた環境」です。

例えば声楽コースのオペラ公演では、弦管打コースやミュージックエンターテインメント・ディレクションコース、ミュージカルコースなど様々なコースの方と協力し舞台を完成させました。これは多様なコースを有する芸大だからこそ作れた舞台であり、お互いの学びを深め合う良い機会であったと感じます。

また、私が師事する馬場浩子教授からは歌の技術だけではなく、御人柄や音楽に対する情熱など多くの事を学ばせて頂いています。先生との出会いが私の人生を大きく変えてくれました。本当に感謝しています。

ここで得た人との繋がりは一生の宝物になると確信しています。

私にとって名古屋芸術大学はそんな掛け替えの無い充実した時間を過ごせる素敵な場です。



助けられていたこと

芸術学部 芸術学科

文芸・ライティングコース 3年生 山本梨恵

自宅と大学だけを往復する生活を送る中、自分には時間と精神的余裕がないと感じる。

毎日出される出席確認の課題、プロジェクトや講義時間変更の確認メール、最終課題作品の締め切り、レポート課題、試験。対面授業とオンライン授業の切り替わりと、移動時間を考慮したスケジュールング。何をすることもギリギリなのだ。

コロナ禍になってやるが増えたからというものもある。けれど、単純に私は予定を立てて行動するのが苦手なのだと思う。

でも、コロナ禍前は今よりもしっかりと計画を立てて、精神的な余裕もあった気がする。

思い返してみると、コース部屋全体が「課題制作を頑張るぞ」という雰囲気にも包まれていた。そこにいっただけで「自分もやらなくては」という気持ちになった。同じ空間にいただけでこんなに違うらしい。自分の気付いていない精神的なところで、友人や先生方に助けてもらっていたのだと知ることができた。



友人と書く

芸術学部 芸術学科

文芸・ライティングコース 3年生 佐橋瑠夏

未だに、毎日大学に行くことが出来ない。課題に追われる日々を過ごしている。それでも私はなんとか合間を縫って文字を書き続けていた。

基礎を学んで、将来の為に本格的に作品作りを始めようとした私を待っていたのはこんな生活。同じ教室で感想を言い合うことも出来ない状況に歯痒さを感じていた。しかし慣れてしまえばこちらのもので、離れた場所から届く感想をありがたく読んで作品をブラッシュアップしていく。

文芸コースの友人は、良い所も悪い所も含め素直な感想をくれる。自分が知らない知識と解釈を聞いて、作品をより良いものにしていく。普段読まない作品と出会えるのも友人のおかげだ。私よりも私のことを知っている友人に勧められた本は、必ず私の糧になる。

文芸コースの作品を集めた冊子には、友人や私が書いた様々な物語が詰め込まれている。これからも様々な企画を考えているので、機会があれば是非読んでほしい。



名古屋芸術大学近況報告

芸術学部芸術学科音楽領域

■ 声楽コース

後援会の皆様には、日頃より多大なご理解とご協力をいただき深く感謝しております。今年度も昨年から引き続き新型コロナウイルス感染症が先の見えない状況の下にスタートしました。

それでも前期は、感染対策に充分配慮し、学生の健康や安全を最優先しながら対面で授業を実施できたことは、この上ない喜びでした。音楽を生で感じ学ぶことができ、改めて笑顔で元気に歌えることの素晴らしさを噛み締めています。

未だ事態の収束を見いだせない現状下において、対面授業を実施するためには、安全で安心できる授業環境の整備が重要と考えており、引き続き様々な対策を継続的に講じることが不可欠だと思います。

そうした中5月21日には、名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団第8回定期演奏会のソリストオーディションが行われ、大学院音楽研究科1年の天野彰子さんが合格し、8月9日(月)しらかわホールにてモーツァルト作曲「モテット[踊れ、喜べ、汝幸なる魂よ]」を演奏しました。

音楽を学ぶ学生にとっては憧れであるオーケストラとの共演を実現でき、素晴らしいホールでのオーケストラとの繊細なハーモニーは、会場を大きな感動で包み込みました。

また8月10日 西文化小劇場との連携コンサート「花の木フェスティバル」のオーディションが行われました。地域の音楽文化の発展のために連携して、オペラを身近に体験して、オペラの楽しさや面白さを知ってもらおうと言う趣旨のもと、今年度は10月16日(土)第一部でオペラ「あまんじゃくとうりこひめ」、第二部でオペラアリアと重唱&合唱を披露します。

声楽コースでは今後もこのような発表の場やオーディションの機会を増やし、学生たちがお互いに切磋琢磨し、また共に学ぶ意義を感じることができる環境を増やしたいと思っています。

秋以降には昨年に引き続き、特別客員教授として日本を代表する演出家の岩田達宗先生と、コレペティトゥアの浅野菜生子先生をお迎えして公開レッスンを行ないます。声楽コース恒例の「歌曲の夕べ」は2022年1月29日(土)に、オペラ公演メノッティ作曲オペラ「泥棒とオールドミス」は2022年2月27日(日)に実施します。

声楽は多くの聴衆の前で歌う喜びと、声の人々の心に響

き魅了することができたときの感動が魅力ですので、学生たちには日頃の成果を発揮し、意欲溢れる舞台を披露してくれることを望み、皆様には情熱溢れるステージをぜひご覧いただきたいと思います。今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

声楽コース 松波千津子

■ 鍵盤楽器コース ピアノ

今年度も引き続きコロナ感染対策に気を配りながらのスタートとなりました。世界中でこれまでに以上にオンラインというツールが利用されるようになり、演奏会や国際コンクール、又国内のコンクールであっても「音源・映像審査」という方法が目立って参りました。そんな中6月~7月に行われたシドニー国際ピアノコンクール2021で、ピアノコース大学院2年太田糸音さんが日本人でただ一人、見事6位入賞を果たしました。今回世界中から285名もの応募があった権威あるコンクールでの素晴らしい快挙に、教員一同大変嬉しく思っております。

シドニー国際ピアノコンクールは本来昨年にオーストラリア・シドニーで開催予定でしたが、コロナの影響により1年の延期、さらにオンラインによる審査へと変更になりました。太田さんは本学サウンドメディア・コンポジションコースによるサポートを受け、3月と5月に現地シドニーと回線を繋ぎ、リアルタイムで音声・映像収録を行いました。このように昨今ではコンクールに挑戦する際、その規模に関わらず、音声・映像収録が欠かせないものになってきました。太田さん以外にもピアノコースの学生がサウンドメディア・コンポジションコースの学生に収録を依頼し、それを大学のホールで行い、活動の幅を広げている様子が多く見受けられます。本学ならではの恵まれた環境で、学生達の今後更なる飛躍を期待しています。

また本学が日本で唯一の姉妹校となっているパリエコールノルマル音楽院におけるディプロマ試験が6月に行われ、こちらも昨年同様映像審査となりましたが、本学より受験した2名、三年生黒木結紀さん、一年生小柳さらさんが優秀な成績で合格しました。

例年通り、横山幸雄、上原彩子両特別客員教授による公開講座、個人レッスンも引き続き定期的に行われており、学生達にとってとても貴重な経験の場となっています。この学びをそれぞれの実技試験やコンクール、演奏会に遺憾なく発揮してほしいと願います。

さらに本学では来年度より、将来演奏家を目指す学生の育成に特化したコースとして「プロフェッショナルアーティストコース(PA)」が新設されます。本学の益々の発展に今後ともご支援のほど、どうぞよろしく願い申し上げます。

鍵盤楽器コース(ピアノ) 戸田 恵



■ 鍵盤楽器コース(電子オルガン)

音楽領域/鍵盤楽器コース電子オルガン専攻を担当しております鷹野雅史です。皆様におかれましては平素より本学への多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝しております。

まだまだ続きますコロナ禍の難しい状況の中、今年度は専科の優秀な1年生4人(内2人は静岡/広島から…)を新たに迎えることができ、喜んでおります。ご存知の通り、昨年度は(敢えて申し上げれば)憎きコロナのために入学式も4月からの新年度開講もままなりませんでした。今年は簡略化はされたものの、入学式実施も4月開講もかないまして、先ずは何よりと思っております。ただし、去年の新入生(現2年生)は入学式もしてあげられておりませんでした。大学によっては昨年度新入生も含めた入学式をしたところも有るとは伺いましたが、本学はそのスタイルは取りませんでした。そこで、電子オルガン専攻は新年度オリエンテーションとして昨年度分の入学式も兼ね、東キャンパス「大アンサンブル室」を借り、全学年22人を集めて独自のセレモニーを開催。始めと終わりの歓迎演奏は不肖・私の電子オルガンでまかない、取りづらかった学年を超えたコミュニケーションの貴重な機会とさせていただきます。以下のように申し上げますと「親バカ」ならぬ「生徒バカ」のようですが、我が専攻生達は伝統的に「素直で良い」学生に恵まれ、今年も例に違わず、よってこの機会は、諸々の意味におきまして最高の形におさまったように思います。この機会に起因したわけではなく学生達の本来の性質?!によるものと思っております、その後もお陰様で、学生達はキャンパスライフを楽しんでくれているように見受けられます。

途中の愛知県・緊急事態宣言の対応で多少の学期の遅れは出たものの、学生達の学習状況は概ね良好と言えます。あとは各々が無事に前期末試験に臨んで日頃の実力を示してくれば幸いです。後援会の皆様におかれましては、コロナ禍はもとより、今年も厳しい暑さの続く夏を迎えそうですが、どうかご自愛頂けますように。

鍵盤楽器コース(電子オルガン) 鷹野雅史

■ 弦管打コース

今年度は昨年度に続きコロナ禍の影響はあるものの、授業形態も平常時に戻りつつあります。特に室内楽や合奏もほぼ通常通り行える様になった事は、学生の皆さんにとっても私たち教員にとってもホッと胸をなでおろしているところでもあります。東京や他の地域では感染拡大が叫ばれていますが、これ以上拡大しない事を祈るばかりです。さてそんな中、6月3日に名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団の第7回定期演奏会が愛知県芸術文化センターで行われました。一昨年立ち上がった本学教員が中心となったオーケストラですが、この演奏会に弦管打コースの学生と大学院生が参加しました。また8月9日にもしらかわホールにて第8回定期演奏会がありますが、それにも学生が参加する予定です。そしていよいよ後期には多くの演奏会が予定されておりますので、是非とも足を運んで頂ければ幸いです。

弦管打コース 依田嘉明

■ ウインドアカデミーコース

今年度3年目を迎えた本コースは本年度新たに音楽総合コースの学生を含めた18名の学生を迎えることができました。3学年合わせると50名近くの人数になり吹奏楽



の一般的な大編成合奏の体系を取れるようになりました。コースの授業は音楽表現実技として学ぶ「吹奏楽指導法」「指揮法」「管楽器リペア」「楽器奏法」という4つの柱を軸として学んでいきます。その中でも「吹奏楽指導法」は3学年同時に開講され吹奏楽の合奏を通しての指導や運営に関わる内容を学んでいきます。

例年年度末に定期演奏会を開催していますが、今年度は初の試みとして「サマーコンサート」と題して2021年8月21日(土)のオープンキャンパスに合わせて演奏会を企画しました。演奏会では吹奏楽指導者を目指す学生が指揮を振り演奏会に向けて指導をしていきます。その他の学生もそれぞれの係りに分かれ楽譜の準備やエキストラの手配を行ったり、チラシを作成しSNS等を利用して広報活動を行います。コロナ禍のため十分なお客さんをお呼びして開催することはできませんが、配信を行うなどして少しでも多くの皆さんに本コースの活動を知っていただけるように工夫しました。

後期からもどのような活動が出来るのか、学生には与えられた環境の中で今しか出来ないことを見つけスキルアップで出来るような活動を続けて欲しいと願います。



ウインドアカデミーコース 遠藤宏幸

■ ポップス・ロック&パフォーマンスコース

ポップスロック&パフォーマンスコース音楽表現実技I、II、III、IVではギターの先生4名、ベースの先生2名、ピアノの先生2名、ドラムの先生3名、ボーカルの先生9名、サクソフ・トロンボーンの先生と万全の体制でどんなジャンルにも柔軟に対応できる先生方で、生徒さんたちと課題曲の相談や演奏についての基礎に基づいての練習の仕方、曲の意味や歌い方、楽器もボーカルも特に歌うということを楽しみながら学んでいます。

音楽理論についてはイントロ、曲中でのアドリブ、エンディング等、曲の意味を大事にしていろいろなパターンを考えながら習得しています。個人レッスンは対面なのでその場その場での質問やアイデアで個々に気に入ったものになっています。以上、音楽表現実技I、II、III、IVで習得した成果は試験のためだけでは





なく、ポップスロック&パフォーマンスコースの目玉でもあるセッションⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳにも大いに役立っています。セッションクラスは6クラスあり、林先生ジャズ、山下先生ポップス、ジャズ、ラテン、石原先生ジャズ、ポップス、荒川先生ラテン、ジャズ、栗木先生ロック、ポップス、ヒップホップ、渡邊がファンク、ジャズ、ポップス、ブルースとなっていますが、どの先生も選曲の段階で柔軟な対応をしてくれています。自分の選んだ好きなクラスで先輩後輩問わず、目一杯日頃の成果をバンド形態で発表しています。



このイベント名はNUAステーションといい、3号館大ホールで6クラスとも、ここぞとばかりライブ演奏を楽しみます。

セッションクラスは前期後期でクラス変更もできます。発表も前期後期で1回ずつあります。それからもう1つ、前期後期1回ずつ有志ライブも始まりました。これは授業外で活躍しているバンドや学内即席バンド、卒業生も1部参加する等演奏はもちろん音響、照明も含め勉強会となっています。

コロナ禍で会場は大アンサンブル室ということもあり、いまのところ配信ライブになっていますが、これも盛り上がること間違いなしです。NUAステーションも有志ライブ(ポップロック)もかつていいバンドがたくさん出ます。

ポップス・ロック&パフォーマンスコース 渡邊則夫

■ミュージカルコース

2021年度より新たなカリキュラムが始まり、歌唱やダンス等の個人的な技術の向上を目指すとともに、それらの技術を統合した舞台での表現力を養う「舞台パフォーマンス」、またみんなで一つの作品を作り上げる「ステージクリエーション」といった授業も開始され、お互い刺激を受けながら、且つ伸び伸びしたと学習が進んでおります。新型コロナウイルスの影響もあり、ミュージカルというジャンルの核でもある集団での活動は未だ、かなりの範囲で制約されておりますが、巷での商業ミュージカル公演も再開し始めた事も、学生達にも明るい希望が見え、活気が増えています。



去る8月1日、刈谷市総合文化センター アイリス 大ホールにて行われた刈谷音楽協会主催「第16回刈谷音楽祭・映画になったミュージカルの名曲」にミュージカルコースの3・4年生が出演いたしました。本学非常勤講師の谷田育代先生が中心となって行われたこのコンサートは、私も演出・ナビゲート及びソリストとして関わり、本学エンターテイメントコースの全面的なご協力もいただき、また卒業生の菊池京子さん、中村真由さんもソリストとして出演する等、“名芸POWER”が発揮された公演となりました。学生たちもウェストサイド物語の「I Feel Pretty」「America」、マ

イ・フェア・レディの「I Could Have Danced All Night」、そして美女と野獣の「Be Our Guest」の4曲を担当し、生き生きとしたパフォーマンスを披露しました。12月4日、5日には3号館ホールにてミュージカル公演を開催いたします。後期からはその公演に向けての本格的な稽古も始まります。お時間がございましたらぜひお越しいただき、学生達の学習の成果をご覧いただければ幸いです。



ミュージカルコース 准教授 塚本伸彦

■ダンスパフォーマンスコース

ダンスパフォーマンスコースは、1年生9名を迎え、3年目をスタートしました。

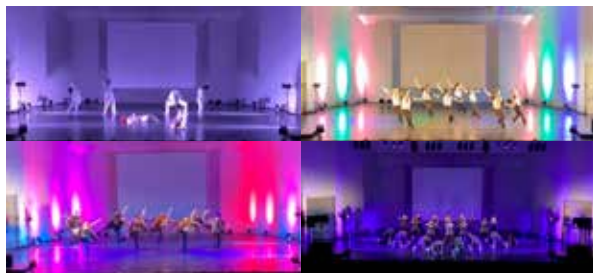
感染症対策でマスク着用でのダンスも、約1年続き慣れてきましたが、やはり夏場にはかなりのキツさを感じながら、バレエ、ジャズ、タップ、ヒップホップ、コンテンポラリーを軸として、様々なジャンルのダンスを意欲的に学んでおります。



そんな日々の中、緊急事態宣言から蔓延防止措置へ移行したタイミングの6月30日には、演奏課、エンタメさんに音響等ご協力頂き、「Lunch Time TERA Concert vol.2」『mini DANCE live』を開催致しました。こちらは、振付、リハーサル全てを、2年、3年の学生主体で進めた為、通常の授業では見られない表情での個性的なパフォーマンスとなり、大いに盛り上がりを見せていました。また次回も計画していきたいと思っております。

7月24日のオープンキャンパスでは、3号館ホールにて高校生に向けてのパフォーマンスを行いました。学生達は、前期の発表の場として、約30分間、1年生は入学して初めてのステージでしたが、堂々としたパフォーマンスとなりました。

日々の学びの成果を発表し、その経験を更なる成長へ繋げていくべく、意識を高く切磋琢磨しながら進んでいけるコースを目指していきたいと思っております。



ダンスパフォーマンスコース 古賀明美

■ 声優アクティングコース

声優アクティングコースは、今年度で4年目を迎え、4学年すべてが揃いました。生徒達は110名ほどに増え、とても活気があり、勢いのあるコースとなっています。

今年度もコロナ禍の中、授業が始まりましたが、昨年とは違い、声優アクティングコースの授業は全て、対面で行われました。もちろんマスクを着用したりと、感染対策をしながらの授業とはなりましたが、昨年より通常授業に近い形で行う事ができました。その中で、当コースの特別客員教授である、声優の郷田ほづみ先生と、島本須美先生(ナウシカ役声優)の特別授業も、前期のうちに行う事ができました。両名とも著名な声優という事で、授業を受ける生徒達は、普段の授業よりも緊張した面持ちで臨んでいましたが、生徒達にとって大変刺激となり、良いアドバイスを頂けた、充実した授業となったようです。

さらに声優アクティングコースでは、昨年に引き続き、名古屋造形大学のアニメーションコースとコラボし、昨年以上の本数である8本のアニメーションを、共同で作り上げる事が決まりました。今まさに、キャストイングオーディションの真っ最中です。昨年以上のクオリティーの作品が出来上がる事を、心より楽しみにしています。

そして、今年の声優アクティングコースで特筆すべき事は、初の卒業公演が控えているという事です。本番は11月14日なので、すでに稽古は始まっており、試行錯誤の毎日をご過ごしています。

公演内容としては、まず第1部は、2年前に西キャンパスの生徒が作ったアニメーションで、今の4年生達が声優として参加した作品があるのですが、そのアニメーションの生アフレコを舞台上で行いつつ、生身の俳優としてもアニメと同じ役を演じるという、新しい形の2.5次元舞台(マンガやアニメなど2次元の作品を生身の俳優が演じる舞台)を創り上げます。第2部では、2~4年生までの3年間、生徒達が学んできた殺陣の授業の集大成として、ストーリー性のある殺陣の舞台を披露します。今回の卒業公演は、生徒達が4年間学んできた成果がいかに発揮される舞台となりますので、ぜひたくさんの方に観に来て頂ければと思います。

声優アクティングコースではまた、アイドルユニット[iCANDY]や2次元ボーイズユニット[echoo]なども、今は外でライブに出られない分、学内でのオリエンテーションやオープンキャンパスでライブ披露などをして、コースを盛り上げてくれています。

これからも声優アクティングコースでは、生徒達の活躍の場を増やし、さらに充実した活気のあるコースにしていきたいと思っています。



声優アクティングコース 平光琢也

■ サウンドメディア・コンポジションコース

本コースの学生は、音楽制作・録音・音響を学びながら、新しい時代の音楽とテクノロジーと芸術の関わりについて考え、作品制作に取り組んでいます。音楽制作分野では、前期にデザイン領域メディアデザインコースと共同で「1MinProject」という1分で起承転結する音と映像の作品制作プロジェクトを行っています。完成した作品はWebページで公開する予定です。また、今年度は声優アクティングコースが完成年度を迎え、1期生が卒業公演を行います。その舞台の音楽を本コースの学生が担当いたします。夏休み中から後期のはじめにかけて制作してまいります。

録音・音響分野では、6月3日と8月9日に、本学オーケストラの名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団のコンサートのライブ配信を行いました。コロナ禍の中、インターネットを用いてコンサートを音楽的な音と映像でリスナーに届けることを目指し、本コース学生有志が、配信チームを結成し取り組みました。詳細は、本コースWebページをご覧ください。<http://soundmedia.jp/>

本コースでは来る2022年2月12日(土)、本コース学生が現代におけるアートのあらゆる可能性を探求し、音楽作品を制作しながら、映像や照明の演出表現を加え、アートと音楽の有機的結合をめざすコンサート「カレイドスコープ」を本学2号館大アンサンブル室で行います。今年度も昨年度に引き続きYouTubeでライブ配信も行う予定です。本コースの近況等は随時Webページに掲載してまいります。ぜひご覧ください。これからも引き続きご支援のほどよろしくお願いたします。



サウンドメディア・コンポジションコース 原田裕貴

■ ミュージックエンターテインメントディレクションコース

2021年4月。エンターテインメントディレクションコースはコース名を新たに「ミュージックエンターテインメントディレクションコース(以下エンタメコース)」とし、新入生35名(音楽総合コース履修者含む)の1年生を迎え、エンタメコース全学年136名でスタートいたしました。未だ収まらないコロナ禍の中ではありますが、コロナウィルス感染予防対策を講じたうえで、実技を伴う授業は少人数制で対面授業形態を取ることとなり、オンライン授業が主で

あった昨年度と比べて、学生たちの表情も少し明るくなったと感じました。

さて、新年度始めは4月15日(木)に行ったエンタメコース全学年でのオリエンテーションで



Aチーム刈谷音楽祭仕込み

した。ここでは、専門科目の中でも根幹となる科目の授業内容の説明と、その授業の一環として行う、音楽領域の他コースの公演担当の割り振りを行いました。現場経験を重視する当コースでは、他コースが開催する公演のスタッフを担当しています。日頃、授業では学べない先輩たちの動きやコミュニケーション力、その他、様々なTipsなどを習得出来る場としてもこのような体験を重視しています。

この「他コースの公演」は、毎年後期を中心に開催されます。今年度の予定は、以下のようなタイトなスケジュールになっています。この中から学生たちは2つ以上の公演を担当しなければいけません。

- ・ 8月 7日(土) ポップス・ロックパフォーマンスコース
「Nステ(NUAステーション)夏公演」
- ・ 11月 7日(日) エンタメコース3年「修了公演」
- ・ 11月14日(日) 声優アクティングコース「卒業公演」
- ・ 12月 5日(日) ミュージカルコース「卒業公演」
- ・ 12月12日(日) エンタメ「卒業公演」
- ・ 12月26日(日) ダンスパフォーマンスコース「修了公演」
- ・ 1月13日(日) ポップス・ロックパフォーマンスコース
「Nステ(NUAステーション)冬公演」
- ・ 2月12日(土) サウンドメディア・コンポジションコース
「カレイドスコープ」
- ・ 2月21日(月) 声優アクティングコース「2年修了公演」
- ・ 2月27日(日) 声楽コース「オペラ公演(卒業公演)」
- ・ 3月 6日(日) ポップス・ロックパフォーマンスコース
「卒業公演」
- ・ 3月27日(日) エンタメコース企画
「ザ・ベストテンコンサート」



1年音響試演会

また、これ以外にオープンキャンパスなどの音楽領域での学内行事や、単発的な他コースの公演。さらには外部からの依頼を受けた公演のスタッフも担います。8月1日(日)に開催された刈谷音楽協会主催「第16回刈谷音楽祭 映画になったミュージカルの名曲」では音響、照明、舞台を担当させていただきました。終演後、主催者から「音響、照明で素晴らしい演出をしてもらい、多くの観客の皆さまから、例年と違いステージが素晴らしかったとの好評をいただいています。」とのお言葉をいただき、担当した学生たちも心地よい疲れと清々しい気持ちで会館を後にしていました。この後も外部からの公演サポート依頼がいくつかありますが、外

部公演を担当するのは学年に関係なく、複数の教員が選出した「Aチーム」と呼ばれるチームが担当します。このような公演では専門的技術はもとより、コミュニケーション力、チームワーク力をはじめトータル的に高い技量が必要とされます。Aチームは固定メンバーではありません。エンタメコースの学生全員にAチームに入れるチャンスがあります。今後のAチームで外部公演の担当が担えるよう、エンタメ学生全員が頑張ってくれることを願っています。

7月30日(金)。新1年生は音響の授業で試演会を実施しました。いくつかのチームに分かれ演目を決め、その音響担当を担い披露するというものです。1年生たちはまだ知識が浅いがゆえに、かなりの緊張感で臨んでいましたが、それを見ている側の方が手に汗を握る思いでした。



Aチーム刈谷音楽祭リハ

これから後期に向けて様々な公演の準備が動き出します。これから怒涛の日々が続くと思いますが、エンタメコースの学生はそんな忙しさをパワーの源として、お客様に感動していただき、楽しんで頂けるステージを創るべく毎日元気に精進しています。



ベストテンコンサート制作[合せ

ミュージックエンターテインメントディレクションコース 金子靖

■ エンタテインメントディレクション&アートマネジメントコース / アートマネジメント選択

アートマネジメントコースは、文化施設を主なフィールドとして、文化政策や企画制作、施設運営の分野で活躍できる人材、つまり「プロデューサー」、「ディレクター」となる人材の育成を目指し、理論と実践のバランスをとりながら教育活動を行っています。大きな特徴は、数多くの「現場」に恵まれ、実践的に学ぶ環境が整っていることです。

今年度前期は、コロナ禍での教育活動が2年目に入り、不自由な学びの中にも何かしら見出していこうという流れを少しずつ感じられるような4ヶ月間でした。昨年度からのオンライン授業で得た経験は、教員側は対面授業への授業改善へと生かされ、学生側は自らの学修管理へと発展しています。先が見えないという状況への対応力も、きっとアートマネジメントに求められる能力だと信じ、現在の困難を力に変えていけるように学生と教員が一緒に頑張っている様子をご紹介します。

尚、アートマネジメントコースは、今年4月に開設された舞台芸術領域の舞台プロデュースコースへと組み込まれていくため、2021年度は1年生の活動は、舞台芸術領域のページに記載いたしました。

・4年生

4年間の集大成としての卒業制作は、今年は縁あって千種文化小劇場とのコラボレーションが実現するかもしれません。コラボレーションするということは、1つの事業で2つの組織が共にメリットを得ていくということ。どのような

内容を誰に対して実施するのか、ということに常に立ち戻り、尚且つ、それを実現させるための資金繰りをどうしていくのかも常に計算しながら、準備を進めてい



千種文化小劇場の下見の様子

ます。ということで、昨年度の先輩に見習って、クラウドファンディングにも挑戦しています。

卒業論文も同時進行しています。自分の気になることをしっかりと掘り下げていながら、テーマを決め、序論の執筆まで辿り着くことを目標に前期の卒論ゼミを重ねてきました。夏休み中に調査し、後期の執筆に繋がります。

・3年生

3年生も4年生の卒業制作に刺激を受け、千種文化小劇場での事業に挑戦することとなりました。昨年度の「音楽の森」では、ワークショップを大学近隣の子どもたちに向けて企画制作しましたが、今回は劇場でのコンサートの企画制作なので、規模もターゲットも異なります。チケットを自ら売るということも、初めての挑戦です。領域展開科目である「劇場と舞台」という愛知県芸術劇場との連携講座での学びが、すぐに役立つ機会となりそうです。

座学は、事業評価のための社会調査の手法を、今年も学んでいます。今年度は、気になっているテーマを選択して調査を実施するというので、各自でテーマを選びました。テーマは、音楽フェス、大学生にとってのSNS、アニメ等のキャラクター、名芸大での学内公演など様々。夏休み中にこれらの調査結果をまとめます。

・2年生

1年生の時の座学は文化政策基礎でした。この知識が下地となって、徐々に実践的な学問としてのアートマネジメントに進み始めました。非営利組織運営が基本のアートマネジメントですが、経営していくということは営利も非営利も共通する部分があります。あなただったらどんな会社を立ち上げるのか、といった自分の夢と社会のニーズを接合する学びを重ねています。また、今年度も「音楽の森」を2年生が担当し、ワークショップの企画制作を始めています。今年は、会場を名古屋芸術大学アースクエアに移すこともあり、考えなくてはいけないことが増え、その規模も大きくなります。本番は12月5日(日)です。たくさんの子どもたちを楽しんでいてもらいたいと、10名の2年生が頑



(愛知県芸術劇場提供)



(愛知県芸術劇場提供)

愛知県芸術劇場との連携講座「劇場と舞台」の様子

張ります。

エンタテインメントディレクション&アートマネジメントコース/
アートマネジメント選択 梶田美香

■ 音楽ケアデザインコース

本コースでは、1年次から学外での活動を組み入れて授業を展開しています。また、各施設での音楽療法実践は、



カリキュラムの要のひとつです。昨年度に引き続き今年度も対面での音楽療法を実施することができず、難しい状況をどう切り開くか、思索の日々が続いています。

そのような中、少し明るい兆しも見え始め、しっかりとした対策をとった上での対面での参加型音楽の会を一年生の授業の一環として行うことができました。北名古屋市地域包括センターとの協働で行う、認知症予防の会「温故知新」です。歌唱活動はNGということで、歌は前もって収録し、それをながしながら一緒に即興演奏をしたり手話をしたりする活動に取り組みました。

また、3、4年生の施設実習では、子ども、成人、高齢者施設での音楽療法の実践に取り組んでいますが、どの現場も対面での実施は引き続き見送られました。しかしながら、昨年度からコロナ禍における音楽療法について様々な試行錯誤を繰り返してきたことで、学生たちが確実に成長していることを垣間見られる場面が多く見られました。昨年度は必要に迫られたZoom等の遠隔コミュニケーションツールの使用に振り回されたり、コミュニケーションにおける制限に悩まされたりしましたが、今年度はその特色をうまくとらえ、この制限の



中でどのように相手とつながるのがよいのか、学生自らが主体的に実践を組み立てる姿があり、大変頼もしく感じました。どのような状況にあっても、今あるリソースをうまく活かせば、音楽を通して人々の健康に貢献できるのだということを、学生と共にしみじみと感じております。

また、4年生は就職活動にも精力的にとりくんでおり、多くの学生が常勤音楽療法士としての内定をいただいています。今後の活躍が大変楽しみです。Facebook公式ページも随時更新しておりますので、ご覧いただけると大変うれしく存じます。<http://www.facebook.com/meigei.music.therapy.caredesign>

また、4年生は就職活動にも精力的にとりくんでおり、多くの学生が常勤音楽療法士としての内定をいただいています。今後の活躍が大変楽しみです。Facebook公式ページも随時更新しておりますので、ご覧いただけると大変うれしく存じます。<http://www.facebook.com/meigei.music.therapy.caredesign>

音楽ケアデザインコース 伊藤孝子

芸術学部芸術学科舞台芸術領域

舞台芸術領域は、2021年4月に開設されました。舞台芸術作品を制作する人材を育成することを目的として、舞台プロデュースコース、演出空間コース(音響・照明)、舞台美術コースの3コースを包含しています。

現代では舞台芸術作品といっても、作品を展開する場所は、劇場、野外、オンラインと様々です。また、舞台芸術作品を提供する対象者は、舞台芸術を愛する愛好家、地域の活性化に活かしていきたい街の担い手、教育や福祉、医療に活かしていきたい舞台芸術以外の専門家と多様です。そういったことを踏まえ、全てのコースにおいて、専門技術と専門知識をしっかりと身に付けるとともに、芸術的側面と社会的側面の両面から舞台芸術作品制作にアプローチする力が身につくようにカリキュラムが設計されています。“何を” “誰に” “いつ” “どこで” “いくらで” “何のために”といった企画趣旨を理解し、多様な職業能力の人材が集まる現場で適切にコミュニケーションを取り、社会に作品を送り出していく力が必要だと舞台芸術領域では考えているのです。

そのために、1年生は“舞台芸術ファンデーション”として、コースに分かれずに、全コースの導入部分を学修し、2年生のコース選択に向けた経験と知識を積み上げています。4月に40人の1年生を迎えて過ごした4ヶ月の前期授業は手探りしながらの日々でしたが、教員一同、学生たちの生き生きとした表情に支えられています。

後期も手探りが続きますが、教員一同、全力で新領域の運営に力を注いで参りますので、どうぞ今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

*尚、舞台芸術領域の舞台プロデュースコースは、音楽領域アートマネジメントコースから接続されていくため、アートマネジメントコースのカリキュラムに基づいて設計されています。

主任 梶田美香

・舞台芸術演習 I -1 ~ 4

舞台芸術領域のコア科目です。企画制作・舞台美術・音響・照明のそれぞれの導入を学んでいます。



企画制作の授業

音響の授業



照明の授業



舞台美術の授業

・プロジェクトワーク 1

舞台芸術の作品制作は、たくさんの種類のプロフェッショナルが同じ現場で異なる仕事を同時進行することになります。共に考え、議論していく過程を、授業の中で学んでいきます。



・デッサン



空間認識が不可欠。特別な“卓上装置”を使って全員がデッサンに挑戦しています。

・作品鑑賞

浅井信好専任講師の主催する「月灯りの移動劇場」による“Peeping Garden”が、西キャンパスのクローバー畑で開催され、その様子を、授業の一環として観劇しました。



芸術学部芸術学科美術領域

コロナウイルスの影響により、途中日程変更などはありましたが、美術領域では多くの実技授業が対面で行われるようになり、学生たちもより制作に身が入った様子です。

■ 日本画コース

日本画コースでは4月3日～15日に東京新宿区 佐藤美術館で学部、大学院選抜作品による 第2回「迷うクジラ」展を開催しました。関東方面で大規模に開催される今展は、コース学生たちにとってとても大切な展覧会です。予定していたギャラリートークや公開講評会は社会状況を考え残念ながら中止としましたが、評論家やコレクターなど多くの美術関係者に見てもらった機会となったこの展示は様々なメディアでも取り上げられ、学生たちにとって大きな刺激となりました。

また卒業生と教員、大学院生による企画展「空想動物園」も美濃和紙の里会館で開催されこちらも美術誌や新聞、TVなどで大きく取り上げられました。



佐藤美術館 迷うくじら—名古屋芸術大学日本画展—



美濃和紙の里会館 空想動物園

自身の使用する道具や材料を知る機会として毎年恒例となっている「画材説明」。今期は絵筆製造の老舗不朽堂さんによる筆の製作実演を行い、不朽堂による筆づくりレクチャーしました。制作活動を助けてくれる画材の知識を付けることで道具のありがたさを再認識することができるこの機会に参加学生たちはいつも何気なく使っている筆の仕組みを改めて体感し、興味深く耳を傾けていました。

不定期で行われる実技講座も日本画コースでは実施し



不朽堂による筆づくりレクチャー

ています。興味のある学生はそれぞれ事前に申し込み、当日の講義を受けます。今年度前期は日本画の古典的な絵具の一つである「黄土」の特質と使用法、にじみ止めを施す澁水による画面への影響と使用法、中大作に使用する仮額製作法の3講座を行いました。テーマを一つに絞り行われる講座はどれも深い理解力と各自の志向を判断する力が身につきます。



澁水実験

額作り説明

■ 洋画コース

奈良美智氏 学内制作、特別レクチャー

アーティスト奈良美智氏が、海外で発表予定の作品制作を名古屋芸術大学の学内で行いました。洋画・現代アートコースの青木一将先生が技術者として参加し、大型作品や立体作品の制作のサポートを行い、期間中、奈良さんには学生に向けて特別レクチャーもいただきました。新型コロナウイルスの影響で、学生が制作のサポートに参加できず残念でしたが、奈良さんの学生時代の作品や近年の活動として旅を通じたプロジェクトなど貴重なお話を伺いすることができました。今回のレクチャーは、多くの学生が聴講できるように、オンライン配信を行いました。



KAYOKOYUKI と名古屋芸術大学の共同企画展「デルタ」名古屋芸術大学現代アートコースと KAYOKOYUKI の共同企画展「デルタ」を開催しました。現代アートコースの教員であるアーティスト7名と学生・卒業生から選抜した8名によるグループ展。緊急事態宣言によって何度かの延長を経て、6月末に会期を変更して開催しました。メディアにも大きく取り上げられ、多くの来場者にお越しいただきました。この展覧会に向けて、1年間の時間をかけて学生たちと作品制作、プレゼンテーション



撮影：木奥恵三

ンなど準備をしてきました。学びの場としての大学とマーケットと直結するコマーシャルギャラリーとの共同企画での展覧会は、若い世代のアーティストの貴重な経験の場となり、同時に名古屋芸術大学の教員たちの多様な表現を紹介する機会となりました。

特別客員教授 加藤泉氏レクチャー

絵画、彫刻、インスタレーションなど、さまざまなメディアで作品を発表するアーティスト加藤泉氏のレクチャーを行いました。これまで国内外で発表してきた絵画や立体作品に加え、近年手掛けているパブリックアートのプロジェクトなどをご紹介いただきました。また、自らレーベルを立ち上げて自身もドラマーとして参加しているバンドについてなど、幅広い活動についてお話いただきました。レクチャーの終了後は、学生のスタジオを周り、作品について学生とディスカッションを行うなど、有意義な授業になりました。



■ コミュニケーションアートコース

【湯原温泉アートプロジェクト】

コミュニケーションアートコースでは、岡山県の温泉地、湯原温泉でのアートプロジェクトに学生が参加しました。13名の学生とOBがこの地域に生息するオオサンショウウオをテーマに、旅館や飲食店など16箇所にアート作品を設置し、訪れた観光客にアートめぐりをしてもらう企画で、学生が3月末に作品を設置し、4月から展示が始まりました。現在も展示中です。



【湯原温泉アートプロジェクト】 湯原温泉での搬入

【庄内緑地アートプロジェクト】

名古屋市庄内緑地公園の5月のイベント「よっといで。バラとハナショウブの庄内緑地 ～初夏の華まつり～」を、庄内緑地グリーンプラザと連携してイベントチラシの作成、園内の魅力を詰め込んだイラストマップ制作、庄内緑地のキャラクターを作り、イベント期間中はそのキャラクターたちのスタンプを園内を散策できるスタンプラリーの実施もしました。



【庄内緑地アートプロジェクト】 スタンプボックス設置

■ 工芸コース

工芸コースでは6月に「ガラス工房オープンスタジオ」7月に「【工芸リレー】 CONNEXT2021 陶・ガラス教育機関講評交流展」を開催しました。中部地方の大学において、ガラスを学べるのは本学が唯一であり、大きな魅力の一つです。6月毎水曜日ランチタイムに、教職員や学生のみなさんにデモンストレーションをお見せし、延100名弱の参加者とともに活気ある時間となりました。



ガラス工房オープンスタジオ

また外部連携として多治見工業高校専攻科と富山ガラス造形研究所との交流展を、アート & デザインセンター West にて開催しました。井上雅之特別客員教授にご参加頂いた学生と教員との対話は、7時間にも及び大変白熱したものとなりました。またこの展覧会は、本年度から始動したデザイン領域との工芸分野の領域横断連携プログラムの一環として【工芸リレー】と称し、陶・ガラスに続いてメタル&ジュエリー、テキスタイルの展覧会がリレー開催されました。

主任 長谷川喜久



【工芸リレー】 CONNEXT2021陶・ガラス教育機関講評交流展

芸術学部芸術学科デザイン領域

昨年から引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対策を行いつつ、今年度は、入学式も規模を縮小し開催し、4月1日から一部の授業をオンラインの形式で、実技は基本的に対面の形式で開始されました。昨年度からのノウハウの蓄積からコロナ禍を逆に貴重な機会と捉え、新しい価値観の創出を目指すことができるよう試行錯誤しながら制作に取り組みました。以下各コースの活動報告としてまとめました。

■ ファンデーション

本年度は新型コロナウイルス感染症対策を行なったうえでの実技授業が再開され、昨年度には実施できなかった工房や加工機材を利用したの前期課題プログラムを再開することが叶いました。それに伴い石膏や金属といった素材を体験することもできました。それでも昨年度に続くファーストイヤーセミナーの中止やグループ課題実施の困難さなどもあり、これまで通りとはいきませんでした。対面実技授業をきっかけとした新入生どうしの繋がりもでき、なんとか大学生活をスタートさせることができました。教員も昨年の経験と反省を活かし、200人規模の対面実技授業をなんとか行うことができましたが、それも学生たちの協力があってこそのものでした。慣れない大学生活のスタートに加え、終わりの見えない新型コロナウイルス感染症拡大後の社会状況に苦労した学生も少なくなかったのも事実です。しかし、どのような環境であっても自らの制作にひたむきに向き合う姿勢を見せてくれた学生たちが授業を支えてくれたように感じます。デザインとは現在を読み解き、次の時代へ向けて新たな価値を投げかける活動です。時代が動くときには新しい価値観が必要となってきます。まさに次の時代を拓いていく世代である学生たちと、新しい価値観を携えたデザインを探っていきたいと思います。

■ ビジュアルデザインコース

2021年の前期は、コロナ対策をしながらも、実技は例年通り対面で行うことができました。授業外でも、段階的に教室での利用時間を増やしました。例年どうりといかないまでも、教室に活気が戻ってきたように思います。各学年の代表的な授業の様子を報告します。

◎デザイン実技Ⅲ-1では、3年生25人が「今後の社会から必要とされる商品やサービスは何か？」をテーマに新しい発想でブランドを企画・制作する「ブランディング」の授業を行いました。

まず、実在の企業がどのようなブランディング活動を行っているかを、個人で研究して発表を行いました。

その後、4つのグループに分かれて、リサーチ、分析を経てディスカッションを重ねて仮想のブランドを企画し、コンセプトからCI、サービス、プロダクト、パッケージ、広告、プロモーションツール、展示計画と一貫したイメージで個性的なデザインにまとめ上げました。

この後もブラッシュアップを続け、10月にX棟のXギャラリーでグループワークの成果を発表する予定です。



◎デザイン実技Ⅱ-2では、2年生26名がイラストレーターの基礎的な操作と、タイポグラフィの基礎（カリグラフィ・文字組）について学びました。カリグラフィではRoman Capitalを平筆で書き起こし、筆順によって生まれる文字の形状や、文字間のスペースによる言葉の印象の変化などを学びました。また、手書きからデータ化を行い、デジタルファブリケーション工房のレーザーカットを経て凸版を制作し印刷しました。アナログとデジタルを行き来しながら、独特なロゴタイプが完成しました。また、専門性の高い文字組みも、今年度より2年生から取り組むようになりました。文字の特徴や大きさの感覚を実感するため、手作業での文字組みからデジタル化を行いました。





◎デザイン実技Ⅳでは、4年生24名が、卒業制作のテーマを決める課題に取り組みました。

学びの集大成となる卒業制作のテーマ決めは就職活動とも並行しており、「これまで」と「これから」が交錯する中で、自らの方向性を見極める大切な制作期間です。それぞれ研究や試作を重ね方向性を見つけていきました。



◎7月24日(土)には、コロナ禍でしばらく行われていなかったオープンキャンパスのワークショップを行いました。ヴィジュアルデザインの基礎となる幾何構成を、図形のスタンプを使い、Tシャツを制作することで学んでもらいました。予定の参加人数を超える応募があり、参加者はそれぞれの視点を持って熱心に制作に取り組んでいました。



■ イラストレーションコース

ここ数年、イラストレーションコースのカリキュラムの刷新を進めてきたが、2021年度に至って、ある程度それらが定着してきたように思う。しかし、毎年状況は異なり、常に変化も要求されるため、今後も改善に取り組みたい。

6月

サブカルチャー批評家、物語評論家のさやわか氏を招い

て特別講義を実施した。

実践的な水準と学術的な水準双方で指導いただく貴重な契機となった。前期は第一回目の授業として、話題を学生の興味に引きつけつつ、一般に平易に思われている内容を平易にわかりやすく語りながら、極めて射程の深い充実した内容で講義いただいた。後期に続編を実施していただく予定。



4年生

『PLAYGROUND』展／5月27日(木)～6月1日(火) A&Dセンター

3年次に取り組んだ「遊び」をテーマにした作品による展示を行った。卒業制作を見据え、表現方法や研究テーマを探る重要な機会として設定している。全体的に準備不足が否めず、欠点の目立つ展示となったが、卒業制作に対する意識を高め、それぞれの弱点を見定める良い機会となった。

『実技Ⅳ報告会』

29人の学生に対し4名の教員による講評会は、厳しい意見も飛び交いながら6時間に及んだが、非常に充実したものとなった。コース関係者の見学は自由としていたが、2、3年生の参加率の高さや、先輩、他コースの学生参加もあるなど、講評会自体が盛り上がったことは、内容以上に大きな成果として考えている。

3年生

3年次以降、研究テーマや独自の表現方法を確立することを念頭にそれぞれ課題に取り組むため、教員と個別に対応する機会が増える。内容や表現技術に深みが増す一方で、発想が内向しやすく、プレゼンテーションやディスカッションを苦手とする学生が多いのも例年の傾向である。そうしたことを克服するために、教員との個別対応を公開型で授業を展開した。全員の前での教員とのディスカッションは、緊張感も伴う難しいものであるが、回を重ねるごとに成果も現れてきた。他学生の発表に積極的に発言できる学生が増えるなど、授業が活性化されている。

2年生

例年同様、基礎的な鍛錬を重視する授業を中心に取り組んだ。在籍数35名というこれまでにない学生数に、各担当教員も授業方法に苦慮している。基礎鍛錬の授業は同列で進行できるため、比較的効率よく展開できたが、今後は、個別の対応や授業そのものの活性化など、新しい方法論を模索する必要があるようだ。

■ 先端メディア表現コース

これまでの「メディアデザインコース」は、今年度4月から「先端メディア表現コース」として新しく生まれ変わりました。これまで培ってきたメディアデザインコースを引き継ぎつつ、今後変化し続ける社会の変化に向けた新しい未来

志向への取り組みです。

映像、デジタルファブリケーション、コンピューター表現など先進的で未来のものづくりを実験できる環境を整えて行く予定です。

若い世代が柔軟な発想で対応していく能力が求められている時代となり、これから「メディア」に期待されることを学生と共に見極め、実践していきたいと考えております。

また「デジタルファブリケーション工房」が同時に開設され、3Dプリンター、レーザー加工機、デジタル刺繍ミシンなど学生の制作に役立つ環境が整いつつあります。

対面型のオープンキャンパスでは、このデジタルファブリケーション工房を使ったワークショップが行われ、レーザー加工機を使ったオリジナルのアクリルキーホルダー作りを体験してもらいました。

3年生はこの工房を使ったデジタルファブリケーション



課題にも取り組みました。「サンプリングプロダクト」と題して無印良品の商品にオリジナルパーツを付け加え、新たな価値に変換させることを目標に制作しました。

1minProject(4~9月)

今年度も引き続き、3年生を中心に、東キャンパスのサウンドメディア・コンポジションコースとの共同で「1minProject」を開始しました。サウンドメディア・コンポジションコースからは1分の楽曲を、メディアデザインコースからは1分の映像素材を互いに交換し、ネット上でやりとりしながら映像+音楽作品を完成させる共同制作も実現しました。

大垣共立銀行 テラッセ納屋橋支店 映像コンテンツ制作(4~10月)

今年度も引き続き産学共同プロジェクトとしてアニメーション、3DCG、実写映像まで様々なデジタルサイネージのための映像コンテンツを10月の完成に向けて制作しています。

後期にも、数多くの産官学共同事業を予定しています。また特別客員教授としてメディアアーティストの藤幡正樹氏を迎え、講演会とワークショップを通して「先端メディア表現コース」の存在を外部へ発信していこうと考えております。

■ メディアコミュニケーションデザインコース

コロナ禍での対面授業は2年目になりましたが、毎年のルーティンをすすめています。

メディアコミュニケーションデザインコースでは2年次にアートと紙媒体を中心とした課題を行います。最初の課題はグループワークで、環境をテーマにしたアート

インスタレーションでスタートしました。並行して版画3種(今年はリトグラフ制作がないため)。木版は北斎の作品から2つ以上のイメージを引用し組み合わせ、浮世絵の技法である水性木版で表現します。北斎漫画、富嶽百景、滝廻りなど様々な作品から学生は大胆に組み合わせていきます。銅版は物語のワンシーンをエッチングとメゾチントで制作。童話からヘルマン・ヘッセや村上春樹まで学生の興味の広さを感じます。シルクスクリーンは<メッセージをデザインする>Tシャツにプリント。<写真を読み替える>課題では、新聞の写真から独自の視点でフォトブックをつくります。MMDと合同の授業ではストップモーション・アニメーションとパッケージデザイン。今年のパッケージデザインは地域のお土産を新しい視点で提案。学生目線の作品はコストパフォーマンス的にはやや問題点をのこしますが、すぐにも発売したいようなアイデアもあります。前期最後にはアートブックの課題で、自分の好きな分野をリサーチして独自の方法で本にまとめます。2年生前期はまずは発想を形にすることからはじめます。

3年前期はMCDで最もハードワークなタームです。2年後期の祖父江慎先生課題のブックデザインを経て本の発展形としてのオリジナルブックと写真集の制作。そして映像、ウェブデザインがスタートします。MCDでは3年になる前の春休みに10×10というリサーチの宿題があります。10のテーマについて自分の考えるトップ10をリサーチします。このリサーチブック(自分を知らぬための本)は、3年前期の課題であるオリジナルブックや写真集、アニメーションなどに活用しオリジナル表現へと展開していきます。ウェブ制作では自分のHPの制作がはじまります。3年次のパッケージデザインはプロモーションも提案します。また今年で4年目となる豊橋自然史博物館との産学連携やOKB大垣共立銀行のデジタルサイネージもあり、学生それぞれが、スケジュールコントロールを意識して課題をすすめていきます。7月31日~8月3日までXギャラリーで<2021 Work in Progress 前期レビュー展>として講評と展示をおこないました。

この時期をこえると、自分の制作について社会との連携や関わり方を考え、同時にグループワークだけでなく個人が頑張る達成感を得ることで自信となり、コミュニケーション力や共感力も高まっていきます。





豊橋駅構内トリックアート
(豊橋市自然史博物館、特別企画展
「地球は昆虫であふれている」)



大垣共立銀行プレゼン

■ ライフスタイルデザインコース

いわゆる「新しい生活様式」が求められ、新たなライフスタイルをどのようにつくっていくべきか模索が続いています。そうした私たちの「生活」の変動期において、生活へのつぶさな観察に基づいた環境形成のあり方を探求するライフスタイルデザインコースにとってはその教育・研究の意義を再確認するタイミングでもありました。

3年生のフィールド・サーベイの授業では、大学キャンパスから3km、30km、300km、そして3mの範囲をリサーチし、デザイン提案を行う授業が行われました。3kmは市町といった自治体/地域コミュニティの範囲、30kmは東海県といったエリア、300kmは国、そして3kmは個人・私自身といった具合になります。それぞれの距離感でリサーチを重ねると、エリアの定め方で見えてくる課題や可能性が異なることと同時に、例えば個人の課題や可能性が国単位の課題や可能性にも繋がっていることへの気づきがありました。このことは「どの距離感で対象を把握するのか」「個々人と社会はどう繋がっているのか」といった観点がデザインリサーチにとり重要であることを改めて考えさせられる機会となりました。コロナウイルス感染症による社会変動もまた同じように多距離の関係性のうち捉え考えることが必要とされているのでしょう。この課題成果は東キャンパスに新設されたArt&Design Center Eastで成果展示が行われました。



Atlas - 3km, 3m 授業成果展示

今季は感染症対策を行いながらの実技授業対面実施が軌道に乗ってきたこともあり、課題成果の展示発表をカリキュラムに戻すことができました。上記課題に加え、3年生では映像エスノグラフィーの成果展示を、4年生は卒業制作前期発表の展示機会も設けられました。こうした展示を通じて客観的にプレゼンテーションし多くの人からフィードバックを得ることのできる授業内容を取り戻すことで嬉しく思います。

同様に、学外との産学連携事業も再開することができました。岐阜県池田町、OKB総合研究所とともに、レンタサイクルを通じた地域活性やマイクロツーリズムの可能性を模索する産官学連携事業をインダストリアル&セラミックデザインコースと共に始めました。新しい時代にふさわしい観光や地域活性のあり方を模索していきます。また今夏からは岐阜県飛騨古川に拠点を構えるファブラボ「株式会社 飛騨の森でクマは踊る」と連携したプログラムを開始します。このプログラムにおいては、森林問題と地域コミュニティ、そしてデジタルファブリケーションとの関係のうちに、改めてモノづくりを媒介とした自然と暮らしの関係に一步踏み込んで学生たちと考える機会をつくります。

後期もライフスタイルデザインコースでは、変化に呼応しながら、積極的な研究教育活動に取り組んでいきます。

■ テキスタイルデザインコース

○ 工芸分野の領域横断による連携

今年度から工芸分野の美術領域工芸コース(陶芸・ガラス)、デザイン領域メタル&ジュエリーコース、テキスタイルデザインコースは、領域横断による連携を始めます。授業やプロジェクトを通じて学生の交流を促し、素材と対話しながら思考する教育から、ものづくりの魅力を伝え、美術領域とデザイン領域を繋ぎます。

今年度は下記の3プロジェクトを行います。

【工芸リレー】

アート&デザインセンターで、工芸分野の展示会を連続開催。
CONNEXT2021 陶・ガラス教育機関講評交流展 7/16~21
素材展(メタル&ジュエリー)+特別客員教授藤田政利展 7/23~28
素材展 テキスタイルデザインコース前期制作展 7/30~8/4

【工芸から グリーンシティプロジェクト】

大学外来者宿舎グリーンシティの住環境の改善を目的に、美術とデザインの学生がアイデアを出し、制作、提案を行います。

10/5~8 グリーンシティ

【工芸EXPOプロジェクト】

経済産業省主催、伝統的工芸品月間国民会議全国大会の大学コラボ展の制作と展示を行います。美術領域工芸コースは三洲鬼瓦工芸品、メタル&ジュエリーコースは尾張七宝、テキスタイルデザインコースは有松鳴海絞りと連携。

11/26~29 愛知県国際展示場 Aichi Sky Expo

○ 羊の毛刈りを行い、羊毛から布を作りました。

4月テキスタイルデザインコースの授業は、羊の毛刈りからはじまります。今年度はチエビオット種のみのもるくんが、

東キャンパスのクローバー畑にきました。毛刈り～洗毛～カーディング～スピニング～織りの作業を行い、学生は、羊毛が布になる一連の工程を体験しました。



毛刈り



洗毛



カーディング



スピニング



織り

○有松絞り手ぬぐいブランドプロジェクト

去年に引き続き今年もコロナ禍で、6月第一土、日開催の有松絞りまつりは中止になりました。しかし、まつりはないものの、お店は開くということだったので、去年度連携授業を行った(株)suzusanと(株)張正の店先で、学生がデザイン制作した、絞り手ぬぐいブランドの販売を行いました。

今年は3年生が「染いよしの」、「ピコ」、4年生が「けふけふ」[ShiboLi]と全部で4ブランドが店を開きました。有松は例年の賑わいはないものの、多くの絞りファンが訪れ、学生は自分の手ぬぐいをお客さんにアピールしていました。今年は学生企画で、マスクやポーチなどの手ぬぐい以外のプロダクトを販売したところ、大変講評でした。



張正で藍色手ぬぐいを販売



有松手ぬぐいブランド販売

○中部染色展

第55回中部染色展に卒業生3名が出品し、正木里歩さん(2020年度卒業)がグランプリである中部染色作家協会賞、道下凧沙さん(2020年度卒業)が名古屋市市長賞、山下眞美さん(2016年度卒業/染色工房技術員)が愛知教育委員賞を受賞しました。展示会は7月13日～18日、愛知芸術文化センター8階ギャラリーで行われました。



正木里歩さん

道下凧沙さん

○工芸リレー 素材展 テキスタイルデザインコース前期制作展
アート&デザインセンターでの前期制作展は、テキスタイルデザインコースの学生作品120点余りを展示しました。テキスタイルとの出会いをフレッシュに表現する2年生、長い制作時間を掛けて密度の高い作品を制作する3年生、自由な感覚の4年生、思考と作業を丁寧に重ねる大学院生、全43名の半年間の成果を公開する機会となりました。



3年生友禅染め

■メタル&ジュエリーデザインコース

美術デザイン工芸領域・横断連携

今年度から美術領域工芸コース(陶芸・ガラス)とデザイン領域メタル&ジュエリーデザインコース、テキスタイルデザインコースとの工芸分野領域横断プログラムが始まりました。3コース共通で3つのプログラムを進め、学生はそれぞれに思考や技術を共有しながら制作や発表を行なっています。

【工芸リレー】前期成果物展を3コースでリレー展示しました(A Dセンターwestにて)。

【工芸から グリーンシティプロジェクト】大学のゲスト宿舎「グリーンシティ」改善企画の展示を行います。(10/5～7 グリーンシティにて)

【工芸 EXPO プロジェクト】伝統的工芸品月間国民会議全国大会(経産省等主催)大学コラボ展へ参加します。今年度は愛知県開催で「EXPO IN AICHI」と呼ばれます。「三洲鬼瓦工芸品:陶芸」「尾張七宝:ガラス+メタル&ジュエリー」「有松鳴海絞り:テキスタイル」の3コラボです。(11/26～29 愛知県国際展示場にて)

特別客員授業

今年度、多摩美大客員教授で鉄造形作家の藤田政利氏を特別客員教授として迎え、コース全学生を対象に鉄造形ワークショップを行いました。(6月11・12日)技術員加藤さんの準備で屋外制作、コロナ禍でも伸び伸び身体を使い藤田先生の指導を受けました。与えられたテーマは「浮くカタチ」鉄の持つ重さや硬さを工夫しながら1人1点～3点制作しました。

工芸リレー・素材展

7月23日(金)～28日(水)ADセンターWestにて前期成果物展「素材展」を開催しました。特別客員授業ワークショップ作品を展示、併せて特別客員教授藤田政利

氏作品展「風と水の物語」を開催しました。展覧会初日には藤田先生のギャラリートークと学生作品に対する講評会を行いました。藤田先生のギャラリートークでは学生時代の作品から現在の作品を前に制作について話され、講評では学生に丁寧に示唆に富む言葉をかけられました。



藤田政利特別客員教授のギャラリートークと講評@ A Dセンター West
産学連携・尾張七宝プロジェクト

あま市七宝焼アートヴィレッジとの産学連携は今年、施設内に本学の制作場所が設けられました。大学院生2名、学部生1名が毎週七宝職人加藤実氏から指導を受けています。施設内で学ぶ学生の姿に、職人さんたちからも活気が出たと喜ばれています。



富永侑里有線七宝模写作品
指導：加藤実氏@あま市七宝焼アートヴィレッジ

第38回 日本アートメダル展コンペティション部門

(2021年7月2日(金)から8日(木)まで東京都美術館にて展覧会開催)に学生12名が出品しました。その中で4年生の岡島 真怜くんが新人賞に選ばれました。他の11名の出品者も全員入選しました。



岡島 真怜 (4年生)作品名: 抑制

入選 3年生 稲垣 水穂、奥岡 夢乃、川中 冴恵、仲 悠里、樋口 悠、山下 彩渚

4年生 霜山 優希、鈴村 依里、田村 麻実、濱上 純華、深谷 竜馬

貴金属装身具制作技能士検定

この国家検定制度3級は学生受験が可能、過去に学生(現大学院1年富永侑里さん等)が合格しています。7月13日に非常勤講師の飯田祐子先生(1級保持者)による特別授業が行われました。希望者は今後の自主学習と後期の受験前対策で12月の3級取得に向かいます。

メダルプロジェクト (ミニメダル)

2年~4年生の有志によりミニメダル(二本の指でつまんで持てるほどの小さなメダル、画像参照)を制作しました。ミニメダルは川村理事長を通じて学院のお客様に手渡されます。学院の宣伝に一役買えそうです。



ミニメダルの第1期納品分
学生の制作した葉が付きます

学外授業

7月30日、豊川にある新東Vセラミックス(株)を3年生8

名が学外授業で見学しました。新東Vセラミックス(株)は casting 設備で国内トップシェアの新東工業グループの一員で、3DCADプリンターや casting 技術を使った超精密なものから巨大なものまで様々なセラミック製品の企画開発/製造を行っています。後期の3年生授業ではジュエリー商品その他の企画開発につなげていきます。



学外授業後の記念撮影
新東Vセラミックス(株)
社屋前にて

■ インダストリアル&セラミック、カーデザインコース

本年度前期は2件の受託研究を実施しました。また通年でも1件の研究を受託しています。これらの受託研究は学生の授業に組み込み、全員で新製品のデザインの提案を行っています。インダストリアル&セラミックデザインコース、カーデザインコース(ID・CD)両コースの学生は卒業後大半が大手企業のデザイナーとして製品開発に携わります。これら受託研究はプロのデザイナーとしてのはじめての一步でもあり、大変貴重な体験をすることができています。

■ 『ワーキングスーツ』

このプロジェクトは地元のリサイクル及び環境、インフラ企業である三和興産株式会社の依頼により、『三和興産ワーキングスーツのデザイン開発プロジェクト』として受託し、実技授業内で開発することになりました。三和興産は産業廃棄物のリサイクル活用を積極的に研究しており、今回のワーキングスーツの開発においても環境に配慮した製品を目指しています。本学においても環境をテーマにしたデザイン開発は地球温暖化対策に貢献し、大変意義深いことと考え、プロジェクトを受託しました。

プロジェクトには本学ID・CDコースの4年生、IDコース3年生、そして大学院生の計30名の学生が参加、2021年4月からの実技授業の枠でデザイン案を作成しました。計8回の授業でデザイン完成というタイトスケジュールでしたが、本学教員をはじめ、三和興産、およびその協力企業である未来縫製のスタッフの皆さんからアドバイスをいただきながらデザインレベルを高め、6月24日にプレゼンテーションを行いました。学生達は個人やチームに分かれて、スライドや実物の模型を使いながら作品をアピール、4~5組発表したところで質疑応答の後、三和興産の田中一秀代表取締役と未来縫製の福田稷代表取締役に寸評をいただく、という流れで進みました。プロダクト製品とファッションの2つの要素をデザインしなければならず、両コースとして初めての分野の受託研究で、困難なテーマでしたが学生たちは予想以上に素晴らしいデザイン提案をすることができ、三和興産からたいへん高い評価をいただくことができました。

このプロジェクトでは審査の結果、以下3名の作品を最優秀賞と優秀賞として選び製品化の検討を進めます。

- 最優秀賞 陳雪晴 大学院デザイン研究科1年
尾州織物とのコラボより完成度と将来性を提案
- 優秀賞 SOH YUN PING
インダストリアル&セラミックデザインコース4年

社名の「和」の字からの着想と所在地である一宮市の地域活性化の提案

- 優秀賞 辻村大地 大学院デザイン研究科1年
ガンダム世代をターゲットとした元気の出るデザイン



SOH 君の作品

陳さんの作品



辻村さんの作品

ワーキングスーツ表彰式

■「文具デザイン」

このプロジェクトは、愛知県文具協会からの受託研究で、デザイン領域の学生が受講する「デザイン実技Ⅳ」の実技でID・CD両コース4年生が取り組みました。このプロジェクトはすでに10年に及びイベントとなっており、過去に名古屋芸大ヴィジュアルデザインコースからのアイデアで製品化された『おててポン』はコロナで改めて注目されヒットしています。今年の参加企業は、ホワイトボード・黒板・チョークなどの製造を行う株式会社 馬印、スタンプ・ネーム印でおなじみのシヤチハタ株式会社、デスクマットやコロナ対策のパーティションなど樹脂製品の製造を行う森松産業株式会社の3社。各社がそれぞれテーマを設定し学生はグループでこのテーマに取り組みました。優秀な作品は製品化も行われる夢のあるプロジェクトです。

馬印のテーマ「コロナ後のカキ・コミュニケーション」では製品の機能、性能、効能をポイントとして既存の黒板やホワイトボードをアナログ的に活用するような製品提案。シヤチハタは「もともとの価値を拡張した文房具」、本来の文房具の機能に別の関連する機能を付け加えより便利に使えるデザインを考えるように課題。森松産業「自分の仕事環境を作る フリーアドレス快適化グッズ」。

授業は参加学生を3チームに編成し、各メーカーで実際に開発を担当するスタッフと一緒にプロのデザイナーと同じ現場を体験するプロセスで製品提案を考えました。最終発表は7月28日にシヤチハタ本社で開催され、各社の社長や重役が参加する中、全員が発表を行いました。発表内容も年々レベルアップしており、今年作品はCADやCGを駆使した製品レベルに近い作品が目立ちました。

審査の結果、以下の作品が優秀作品として表彰されました。



最優秀賞 古川達也 カーデザインコース
「折れないチョークホルダー」(馬印)



馬印賞 小椋巧海
インダストリアル &
セラミックデザインコース
「スライドホワイトボード」



森松産業賞 玉置晨 カーデザインコース
「オフィス内におけるフリーアドレス用
ファイルマット Osi-Filemat」

シヤチハタ賞 佐藤祐貴子
インダストリアル & セラミックデザインコース
「いつでもそばにペンとメモ」



■ スペースデザインコース

スペースデザインコースでは、家具など工房を使っでの実制作や、具体的な条件のもとで設計課題などに取り組みました。

2年生は、建築雑誌などに掲載されている写真や図面



名作住宅の模型

を読み解き、名作と言われる住宅模型製作や建築物の図面や家具の原寸図面の製図の基礎、工房で杉とダンボールの素材が与えられての家具制作の基礎となるスツールの制作などを行いました。



椅子をじっくり観察し製図 杉とダンボールの異素材をツールに

3年生は、設計課題として学内の施主を設定し、アトリエ付き住宅をヒアリングを繰り返しながら、それぞれが個性的な設計を行いました。今年は産学協同のプロジェクトが3つ同時進行で行われ打ち合わせや、プレゼンテーションを繰り返し、前期中の目標地点まで、それぞれの努力によりなんとかこぎつけました。何度も練習を重ね自信たっぷりに行われたプレゼンテーションに成長を感じました。



庭の素材から商品化案 新素材を活かした屋外家具の提案



新車販売のためのショールーム展示計画

またSDGsをイメージしたアップサイクルの課題にも取り組みました。



ペットボトルをテーマに アップサイクル ギャラリーで施主にアトリエ付き住宅をプレゼン

4年生のプレ卒課題は、現在の世の中で起こっている様々な問題をそれぞれが自分のこととして実感を持ってストーリーを繰り返し、モノとしての提案に落とし込んでいきます。



スペースデザインコースでは、前期の授業の終盤にコースの活動を内外に知ってもらう為、また、それぞれの制作のフィードバックができるよう学内のギャラリーでコース展示を行っています。この状況の中でもギャラリーの空間を作品で埋め尽くす、学生それぞれのパワーに後期からの期待も膨らみます。

■ 文芸・ライティングコース

文芸・ライティングコースでは、4月30日に刈谷市美術館で学外授業として「ミロコマチコ展」の見学を行い、絵本における言葉とビジュアルのかかわりについて学びました。

昨年4月のステイホーム期間中に2、3、4年生が取り組んだ課題(写真にまつわるエッセイや小説)を学生自身が編集して冊子『響文』にまとめ、前期のオープンキャンパスに参加した高校生に紹介しました。

同じく昨年度から進めている「メイゲイ・ブックツリー」プロジェクトでは、各々の学生が選んだ「種本」(自分を育てた本)とそのレビュー文をコースのHPで公開しています。(https://meigeibooktree.jp)また、6月18日～23日

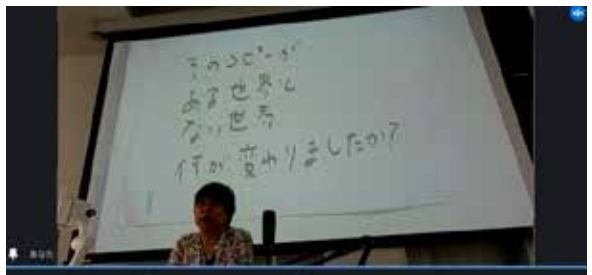
に西キャンパスA&Dセンターで「メイゲイ・ブックツリー展」を開催し、8月1日～31日にはジュンク堂書店名古屋栄店との産学提携事業としてツリーとレビュー文の展示と「種本」の販売を行いました。今年度後期には、西キャンパス図書館で展示を行う予定です。



4月から7月にかけて、演出家の深澤伸友氏(PAP・でらしね代表)に月一回の特別講義を行って頂き、脚本執筆の方法や舞台演出の工夫について学びました。現在、学生の有志が深澤氏演出の舞台(コピ原案『フリゴ』)の学内上演に向けて準備を進めています。5月27日には山本みのり氏(民族芸能まんまる企画主宰)による日本古来の民族芸能についてのレクチャーと獅子舞の実演をして頂きました。



また、6月26日にB大講義室とオンライン同時配信にて、特別客員教授の谷山雅計氏にキャッチコピーについての講義(全4回の1回目)と実作の指導を行って頂き、受講生はみな熱心に課題に取り組んでいました。



毎年行なっている詩画集『新博物誌』の制作(フランスの作家ルナールの『博物誌』を参考に、身近な動物や植物を詩的散文で表現する)も進めています。今年度は美術領域(日本画コース・洋画コース・コミュニケーションアートコース)の学生7名とのコラボレーションで、11月の学内展示および豊橋総合動植物園公園でのワークショップを企画しています。

先の見えないコロナ禍が続いていますが、学生は互いに切磋琢磨し、授業で執筆した作品のみならず授業外に自主的に書き進めた小説や戯曲を積極的に賞に応募しています。また、助手企画として定期的に行なっている「読書会」では、様々な現代作家の作品を精読し、活発な意見交換を行っています。日々文章力や編集力を磨いて学生記者として活躍する2、3年生も増えています。各々の経験を良い形で就職に生かしてもらえるようサポートしていきます。

芸術学部芸術学科芸術教養領域

今年度も保護者の皆さまのご支援により、本領域も恙なく運営されております。改めて感謝申し上げます。

ここからは芸術教養領域の今年度前半の教育活動を記します。誌面が限られているため記述しきれないこともあります。詳細は本学と領域のWEBサイト (<https://www.nua-la.jp/>) でご覧くだされば幸いです。

■ 長期化するコロナ禍と学びの意義

唐突なところからお話を始めます。アフリカで誕生した人間は有史以前から移動し続け、ユーラシア大陸、アメリカ大陸、オーストラリア大陸、太平洋諸島など世界中に拡散しました。さらにエンジンや航空機の登場により、人と物が大量かつ短時間で世界中を移動するようになりました。そのことで新型コロナウイルスSARS-CoV-2 のような、人や物に付着する病原体のパンデミックが容易に起きるようになりました。コロナ禍により幸か不幸か、人間も社会も変化を迫られています。

本領域では芸術をふくむ幅広い教養を身につけることで、パンデミックのリスクを常に抱え、かつIoT (Internet of Things) やAI (Artificial Intelligence) などが飛躍的に発達する「第4次産業革命」ともいわれる社会、そして、その後も変化し続けるであろう社会に、学生たちが柔軟に対応し、生き抜いていけるようになって欲しいと希求しています。

■ 入学前教育、入学式、オリエンテーション

昨年度の後半に受験し、入学手続きをした人々には、1月から3月にかけて、毎月1回、オンラインで入学前教育を行いました。内容は、オンデマンド動画を視聴したうえで、簡単なレポートを書くものでした。その時は、面接試験や、予約制の対面型オープンキャンパスでお話した人しか顔が浮かびませんでした。しかし今、この時のレポートをもう一度見てみると、入学後に対面授業などで知るようになった学生たちの個性が発揮された興味深い内容だと改めて思いました。

昨年度の入学式は残念ながら中止となりましたが、今



入学前教育の動画のひとつ

茂登山清文先生とビジュアルデザインコースの卒業生年度は短時間で開催されました。芸術教養領域の学生も緊張した面持ちで静謐な式に出席していました。この日は比較的好天で強い寒気もなく、会場となった西キャンパスの体育館もそれほど冷え込んでいませんでした。感

染対策のために保護者の方々が入場できなかったのも、手塩にかけて育ててこられた親御さんたちはさぞかし味気ないことではでしょう。しかし式典のWEB配信もあり、遠方のご親族にもご覧頂けたのではないのでしょうか。

新入生のオリエンテーションは入学式の後に数日かけて行われました。領域の教員との顔合わせと、各自の自己紹介は4月5日に行われました。既に友達同士になっている学生たちもおり、どこで知り合ったのだろうと驚きました。新入生は感染対策で広めにとった教室の前の方に出て、きちんと自己紹介をしました。

一方、在学生の昨年度のオリエンテーションと履修登録は3月末でした。今回は対面形式で、久しぶりに会う学生たちの顔を見て安心し、また嬉しくなりました。

■ 2・3年生の前期授業の概略

授業は4月12日から本格的に始まりました。昨年度と異なり、多くの授業が対面となりました。その中には、連休明けに愛知県で出された緊急事態宣言が解除されるまでオンラインに移行したものもありました。宣言発出直後は1週間、大学の授業が全面休講となりました。宣言期間中、芸術教養領域は実技や少人数の演習授業が多いため、週に1、2回は大学に来る学生が大多数でしたが、すべてオンラインで受講した学生もいました。

芸術教養の授業は1年次に必修科目が多く配置されており、学年が進行するほど必修科目が減ります。その分、学生は自由に科目を選択したり、空いた時間をインターンシップや卒業研究に充当したりできます。また芸術教養ではスライドを用いた口頭発表や、文章やグラフなどの図によるレポートなどを課す授業が多く、社会に出る際の訓練ともなっています。例えば、上級生は就職活動に必要なエントリーシート執筆や面接、会社での報告書や企画書などの作成や説明に役立てています。

2年生は9月のレビュー展に向け、1年次の学びを振り返り、芸術教養領域について再考するパネルを制作しました。また、プロジェクト型の授業が始まり、ミュージアムの提案を行いました。「英語リテラシー1」、「日本語リテラシー2」と「情報リテラシー1」では、言葉と情報について深く学んでいます。1年次後期からのゲスト招聘授業も続いており、3年生とともに受講しています。

3年生は卒業研究に向けて、セミナー（ゼミナール）が始まりました。テーマを探すためにポートフォリオ作成や個別面談、研究に関する書籍選定などが行われました。進路を考えた上でインターンシップにエントリーした学生も少なくありません。

2年生と3年生の多くは、選択科目となっている「コミュニティ論」、「マーケティング」、「ビジュアルプログラミング」などを履修しました。また、4年生とともに「写真演習」や「芸術の記号論」などの授業も受けました。



写真演習の授業：展覧会を撮影する課題を出す藤下麻香先生と熱心に取り組む学生たち

■ 芸術教養レビュー選抜展

本領域でも西キャンパスを見習い、レビューの選抜展を始めました。今年度の展示期間は5



芸術教養レビュー選抜展の搬入：遅くまで搬入作業をする2・3・4年生

月21日から6月5日でした。昨年度の1月に西キャンパスのギャラリーで展示した、現在の3・4年生の作品のうち、特に優れたもの7人分が選ばれました。2年生が1年次に制作したビジュアルボックスのうち、9人分が選ばれ、展示されました。場所は東キャンパスに昨秋にできた Art & Design Center East でした。この展覧会では、2年生の鮫島朱さんのアイデアで、教員のコメントをそれぞれの作品につけることとなりました。

■ 在学生と春休みの読書課題

本領域では、1年次末から3年次末の春と夏の長期休暇中に書籍を読み、休暇明けにその内容を簡単に発表する課題も出しています。文章を読み、意味をとらえていく読解力は、AIには備えられないと言われ、AIが発達していく社会で、人間にしかできない重要なものだと考えられています。また、まとまった量の文章を読む力も若いうちに身につける必要があります。以上の理由により、本領域では読書課題を設定しています。

昨年度末に苦労し読んだ書籍の内容を4月と5月の授業時間内に発表してもらいました。新2年生は教員側が指定した書籍の中から選び、新3・4年生は自分で卒論やセミナーに関することを中心に自分で選択しました。教員側は手分けしてそれらの本を読み、学生の発表にコメントをすることになっています。

学生が選ぶ本は重なることが減多にありませんが、現在の4年生が2年次に選んだ『ケーキの切れない非行少年』を自身の課題図書とした学生が2人おり、驚かされました。同じ書籍を読んでも、着目して発表するポイントが異なります。それが学生の個性であると改めて思われました。こうした課題は教員にとってかなりの負担ですが、学生の学びを通じて勉強させてもらう楽しさもあり、大変ありがたく思っています。

■ 1年生と新カリキュラム



レビュー選抜展の搬入：上級生の搬入を手伝う1年生たち

本学では今年度の入学から新しいカリキュラムとなっています。本領域では、カリキュラムの基本的な構成は大きく変わっていません。ただし、かなり異なるのが、「レビュー」を1年次から導

入したことです。レビュー (Review) は字義のとおり、振り返りをするということです。2年次と3年次のカリキュラムにあるレビューは、その直前の学びを振り返ることがメインテーマとなっています。1年次のレビューでは大学入学前の自分自身を振り返ります。これは高大接続ともなっています。

今回、入学前からさまざまな経験をしてきた1年生が、教員側が予想していた以上に素晴らしいパネルを作りました。2年生のレビューとともに、9月に本学ギャラリーで展覧会を行う予定です。

1年生のレビューでは、上級生のレビュー選抜展の手伝いや回想法展の見学を通じ、展示プランを自分たちで考えるグループワークもしています。展示のプランニングや実際の作業を通じ、主体的に動ける人になってもらう狙いがあります。今年度の1年生は高校までの部活動で活躍した人や、自主性の高い人が多く、非常に優秀だと感じています。

■ 学生の課外活動

今年度も学生が授業内外で大活躍しています。例えば、上記の芸術教養レビュー選抜展で提案をしてくれた鮫島朱さんは立川美術館で、展示品の入れ替え、収蔵品などの資料管理、展覧会の企画運営等に幅広く携わっており、5月に開催された『立川流』展では、ポスターのデザインもしました。9月の1・2年生のレビュー展でもポスターデザインを担当してくれています。



2年生の鮫島さんの作成したポスター

同じく2年生の加藤沙希さんは作家として、6月に三重県亀山市で開かれた、8人のグループ展『Mil展 - Meeting in Living -』に出展しました。展覧会のDMも加藤さんがデザインしました。学内での活動でも積極的にかかわっています。



2年生の加藤さんの作成したDM



3年生の田坂さんらが企画した
展覧会のポスター

3年の田坂美夢さんは、他大学の学生とも連携した『5感の装い』展を5月に開催しました。アップサイクルの考え方をベースに作られた衣装の展覧会です。聴覚・触覚・味覚・嗅覚の4つのテーマでつくられた衣装と、来場者がギャラリーを歩くことで視覚を補い、五感を感じる展示となっていました。

他にもさまざまなところで活躍する学生が沢山います。

■ 新しいスタッフ



2年生のビジュアルボックス解体ショーで挨拶する助手の鈴木さん
—昨年度から助手として活躍してくれている中森信福

さんに加え、今年度から鈴木まおさんも学生のサポートや領域の運営などに携わってくれています。事務担当の服部嘉奈子さんとともに、手分けして、領域の運営、学生のケアなど、さまざまな場面で活躍してくださっています。学生たちも日々の困っていること、教員には話せない悩みなどを相談する相手としても、とても懐いていようです。

■ 夏休みと後期に向けて

この原稿を執筆している7月下旬、新型コロナウイルスの新規感染者数が数理生物学の予測通り、急激に増えつつあります。本学の学生や教職員の多くはワクチンを接種していますが、健康上の理由などで接種できない人も学内外にいます。ワクチンが大多数に行きわたり、ウイルスが弱毒化すれば、旧来型のインフルエンザウイルスのように見做せる日が来るかもしれません。しかし、それにどのくらいの期間がかかるか予想が付きません。

その日が来るまでも、その日が来た後も、感染症や天災などのリスクがゼロになるわけではありません。そのため、今後も科学的そして社会的に妥当な行動、生活のあり方を考え続けなければならないでしょう。学生には適切な思考と行動ができるようになり健康に人生を歩んでほしいと願っています。そのためには本学でさまざまなことを学び、考える機会をもっと提供したいと思っています。

(芸術教養領域主任・茶谷薫)

新教育学部・子ども学科の紹介

人間発達学部・子ども発達学科は、来年2022年4月の入学生から、教育学部・子ども学科と名称を変え、4年間の新しい学びを展開いたします。ここで、新学部・学科の概要をご紹介します。

学びの仕組みとしては、1年次の「子どもファンデーション」で乳児期から青年期までの子ども全体に関する幅広い知識と基礎的な技能を学び、なりたい自分の基礎を培います。

そして、2年生からは、7つのコースに分かれ、専門性を深めるとともに、将来めざす職業イメージをより具体的にします。

■ 小学校教育コース

本コースでは、実践力のある小学校教育論を養成していきます。

芸術大学の中にある教育学部だからこそこの学びを通して、時代や社会をとらえる「感性」を養います。さらに、新しい発想や仕組みを生み出す「創造力」、そして人や社会をつなぐ「共感する力」を学生自ら育み、より良い「未来の創り手」として育っていくことをねらいとしています。

■ 子ども英語コース

昨年度から、小学校では教科の1つとして「外国語(英語)」が新たに導入されました。そのため、これからの小学校教育現場では、言語活動の指導を行うための英語力を

備えた教師が求められ、その要望に応えられる人材を育成する「子ども英語コース」を設定しました。

本コースは、小学校英語に特化した指導法を身につけることを目的としています。さらに、その小学校全体の英語教育を推進していくための、コーディネートする資質を育成することをねらいとしています。

■ 子どもICTコース

本コースでは、ICTを活用し次世代の子どもたちの教育をリードできる人材の育成を目指します。

Society 5.0の実現に向け、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境を実現する「GIGAスクール構想」がスタートし、2020年度からは小学校でプログラミング教育が必修化されました。教育のICT化が急速に進むなかで、ICTに関する専門的な知識やスキルを持ち、小学校現場において情報活用能力の育成やICTを活用した学習指導を展開できる教員の養成が急務となっています。本コースでは、こうした状況に対応し得る「学校ICTの専門家」として活躍できる人材を育成します。

■ 子ども創作・表現コース

本コースでは、芸術科目の指導を通じ、子どもたちの豊かな感性と創造性を育む教員を養成します。歌や楽器演奏

などの音楽分野と、絵や立体・工作、鑑賞などの美術・図画工作分野を中心に、それらが持つ教育的な意義や指導法について学ぶほか、幼稚園や保育所から小学校への連続性も考慮しながら、附属園など、教育・保育の現場で実践を重ねていきます。例えば、音楽分野では、附属クリエ幼稚園や森のくまっこども園をはじめ卒業生が活躍する教育現場に行き、音楽におけるプログラミング教育を模索しながら実践を重ねていきます。美術分野では、多種多様な材料や用具を扱ったり、表現方法を工夫して制作体験を積み重ねたりして、指導者として必要な知識・技能の習得や向上を図っていきます。

■ 幼児教育・保育コース

本コースでは、子ども達一人ひとりの個性と成長に寄り添った教育・保育を行う幼稚園教諭・保育士を養成します。そこで、子どもの発達や生活・文化、子どもが安全で健康に過ごすための方法、子どもの“生活や遊び、適切な環境と援助、人間関係や家庭の役割”への理解を深めます。

また、実習や授業、ゼミ、ボランティア活動などで、附属園や地域の園の子ども達と交流することによって、幼稚園教諭・保育士として大切な「感性」「創造力」、「共感力」をはじめとする資質と実践力を養います。

■ 子ども支援コース

本コースでは、児童福祉の観点を中心に、0歳から18歳

までの児童福祉に関する課題、子どもの発達、障がい児支援などを専門的に学びます。

近年、保育や教育の現場には、児童虐待、子どもの貧困、いじめ、居場所の問題、発達障がいや少し気になる子など、対応すべき課題がたくさんあります。このような状況をふまえ、子どもの個性を尊重し成長を促すための支援、児童虐待や子どもの貧困などに問題意識を向け、子どもの福祉や発達支援の専門施設に足を運び、実践力を養います。そして、子どもたちの育ちをサポートするための専門性を身につけた人材の育成を目指します。

■ 子ども健康・スポーツコース

体を動かす運動遊びは、子どもたちの基礎的な体力や動きの発達の向上はもちろんのこと、円滑な人間関係を築くためのコミュニケーション能力などのスキルを育むなど、心身の発達に様々な効果があります。

本コースでは、主に子どもの心身の発達や健康に関する基礎的理論にもとづき、特に運動・スポーツ場面における指導の方法や効果等について学びます。この学びから、どこでも楽しく安全に体を動かせるような工夫ができた、動き方のコツなどの運動指導に関するアドバイスをしたりしながら、子どもたちの心身の健康と健やかな成長をサポートできる幼稚園教諭や保育士の育成を目指します。

学務部報告

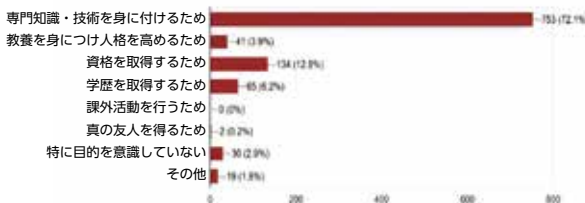
今回は、学務部報告といたしまして、令和2年度学生満足度調査の結果についてご報告をいたします。

学生満足度調査は毎年実施しておりますが、令和2年度から従来の学生ポータル経由のアンケートシステムから Google Forms を利用する方式に改め実施しました。学生はオンライン授業で日常的に Google Classroom、Google Forms を使用していることもあり、回答率が前年度の 28.4% を大きく上回り 51.7% となりました。アンケート実施期間は令和3年1月15日（金）～2月3日（水）、回答件数は 1044 件（在学生数 2017 名 回答率 51.7%）でした。

おりしも首都圏1都3県に続いて、令和3年1月14日（木）から愛知県においても緊急事態宣言が発出された中で学生の満足度調査であり、回答内容も新型コロナウイルスの影響を受けていることが読み取れます。以下に代表的な設問・回答をご紹介します。

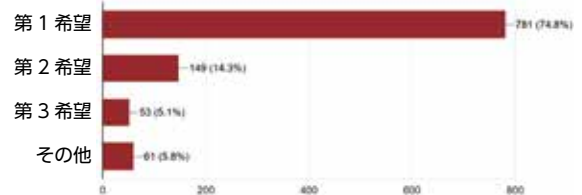
入学の目的を教えてください

1,044 の回答（以下のグラフ同じ）



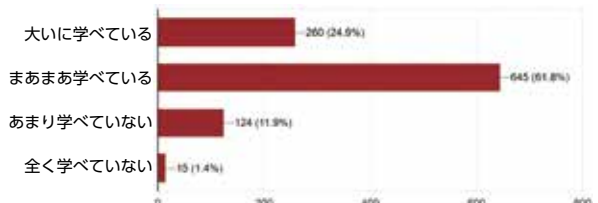
入学目的は専門知識・技術を身に付けるため（72.1%）、資格を取得するため（12.8%）となり、芸術系、教育系の特色が出た結果となっています。

本学は第何希望ですか



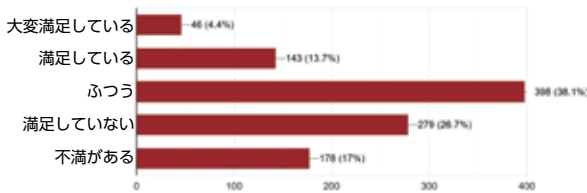
受験時の志望順位については、第1志望が74.8%と多数を占めていますが、第3志望以下の方も10%以上ありますので、教育内容の更なる充実、施設・設備の更新等で「名芸に入学して良かった。」と言ってもらえるようにすることが我々のミッションであると思っています。

自己の目的に照らして有用な知識や技能を学べていると思いますか



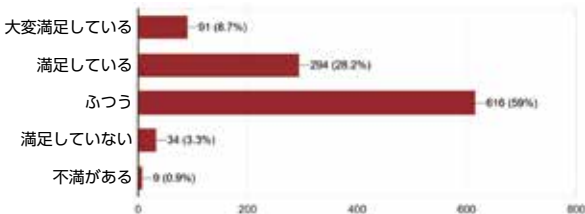
有用な知識や技能を学んでいるかとの設問に関しては、「大いに学べている」「まあまあ学べている」で85%以上を占めていることから、概ね学生のニーズに合致した教育が行われていると考えられます。しかし「あまり学べていない」「全く学べていない」と回答した学生も13%以上あることから、次回の学生満足度調査では、その理由を記述する設問を設けて学生のニーズを明確にしたいと考えています。

本学のネット環境について満足していますか

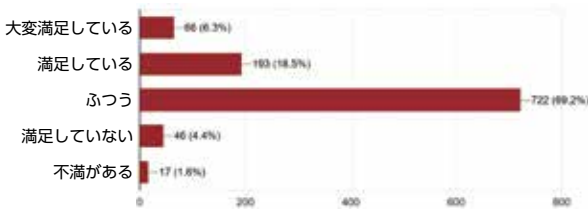


ネット環境については、主としてWiFi環境を指しますが、オンライン授業の数が急増し、回線が圧迫され回線速度が落ちる、動画がスムーズに再生できない等の問題があったため、「満足していない」「不満がある」で33%以上となりました。本学ではこの結果を受け、ネットワーク環境の見直しを行い、基幹スイッチ、ファイアウォール、ネットワークケーブルの更新、回線の増強等を行い、現在では快適なネットワーク環境が実現されています。

保健室や健康診断などの健康面の支援体制に満足していますか

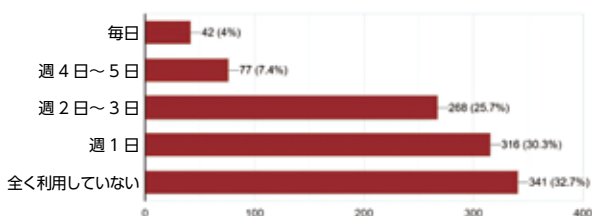


学生相談室など精神面の支援体制に満足していますか

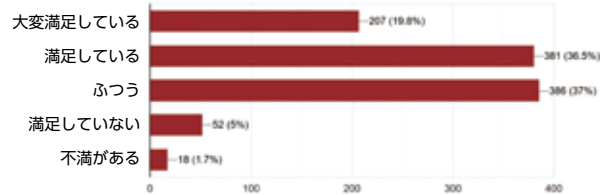


保健室、学生相談室による支援については、概ね良好な結果となりました。これはコロナによるメンタル面の不調に対応するため、人員の増強を行った効果が表れたと考えており、継続して学生の体と心の健康をサポートして参ります。

食堂や売店をその程度利用していますか



学食のメニューや量に満足していますか



学生食堂については「週1日の利用」「まったく利用していない」が62%以上あり、どうしても密になりがちな食堂の利用を敬遠していると思われます。このような状況に対応して、東西キャンパスの食堂のすべての座席にパーティションを設置、天井に「紫外線空気殺菌機」を設置して飛沫感染対策を行いました。また新メニューの開発、食器類の更新等、快適な食堂利用を推進いたします。

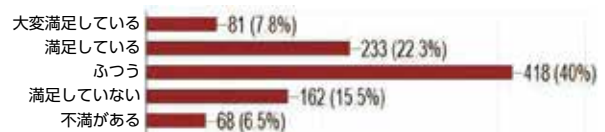


パーティションで仕切られた学生食堂 (写真は東キャンパス)



天井に設置された「紫外線空気殺菌機」

web授業について



Web授業（オンライン授業）については、「大変満足している」「満足している」「ふつう」で70%を超えており、一定の質の授業が展開されていると考えておりますが、「不満がある」「やや不満がある」と回答した学生も20%以上あることから、オンライン授業の質の向上のため、FD活動の充実等の取り組みを実施いたします。

今回は学生満足度調査の概要をご紹介いたしました。今後も学生満足度調査を通じて、教育の質の保証、学生生活の充実を図ります。

最後に、後援会の皆様からのご支援に対して心から感謝を申し上げます。今後も皆様のご意見をいただきながら、学務部の運営に努めてまいります。ご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

(学務部長 山田芳樹)

2021 年度学生数

2021 年 8 月 1 日現在 総学生数 2,262 人

学部	学科	1 年			2 年			3 年			4 年			合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
芸術学部	音楽領域	67	111	178	86	131	217	60	97	157	42	85	127	679
	舞台芸術領域	12	28	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
	美術領域	32	63	95	30	49	79	23	62	85	21	55	76	335
	デザイン領域	77	142	219	86	126	212	57	128	185	70	120	190	806
	芸術教養領域	5	10	15	8	21	29	11	22	33	3	9	12	89
	芸術学部小計	193	354	547	210	327	537	151	309	460	136	269	405	1949
音楽学部	演奏学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	音楽文化創造学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	音楽学部小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2
美術学部	美術学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5	5
デザイン学部	デザイン学科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	4	7	8
人間発達学部	子ども発達学科	10	37	47	11	34	45	21	46	67	18	44	62	221
学部生合計		203	391	594	221	361	582	172	356	528	161	320	481	2185

研究科	1 年			2 年			合計
	男	女	計	男	女	計	
音楽研究科	3	4	7	1	9	10	17
美術研究科	4	12	16	1	1	2	18
デザイン研究科	6	15	21	5	12	17	38
人間発達学研究科	1	2	3	0	1	1	4
大学院生合計	14	33	47	7	23	30	77

大学へのお問い合わせ先一覧

お電話の受付時間 平日 9:00 ~ 17:30 (長期休業期間を除く)

お問い合わせ内容	担当部署名	電話番号
入試・進学に関すること オープンキャンパス・キャンパス見学等に関すること 留学・国際交流に関すること	広報部	0568-24-0318
授業や履修、単位等に関すること 学生生活、奨学金に関すること	学務部教務チーム	東キャンパス 0568-24-0321 西キャンパス 0568-24-4174
各種実習(教育実習・保育所実習など)に関すること	学務部学生支援チーム(教職担当)	東キャンパス 0568-24-3010 西キャンパス 0568-24-0329
就職やインターンシップに関すること	学務部学生支援チーム(就職担当)	東キャンパス 0568-24-3962 西キャンパス 0568-24-0329
学納金に関すること	業務部財務・経理チーム	東キャンパス 0568-24-0316 西キャンパス 0568-48-0201
証明書や学割の発行等に関すること	学務部教務チーム・学生支援チーム	東キャンパス 0568-24-0321 西キャンパス 0568-24-4174
本学主催の演奏会、公演等に関すること	業務部総務チーム(演奏担当)	0568-21-5141
本学主催の作品展、展覧会等に関すること	アート&デザインセンター	0568-24-2897
学生の採用、求人に関すること インターンシップに関すること	学務部学生支援チーム(就職担当)	東キャンパス 0568-24-3962 西キャンパス 0568-24-0329
図書館の利用や貸出・返却に関すること	図書館	東キャンパス 0568-26-3121 西キャンパス 0568-26-1281
科目等履修生に関すること	学務部教務チーム	東キャンパス 0568-24-0321 西キャンパス 0568-24-4174
教員免許状更新講習に関すること	学務部学生支援チーム(教職担当)	東キャンパス 0568-24-3010 西キャンパス 0568-24-0329
生涯学習センター		0568-24-0359
大学HPや大学広報に関すること	広報部	0568-24-0318
後援会に関すること	名古屋芸術大学後援会事務局	0568-26-3355
名古屋芸術大学(代表)への問い合わせ	代表	東キャンパス 0568-24-0315 西キャンパス 0568-24-0325

2021年度 年間行事予定表【音楽領域 / 舞台芸術領域 / 芸術教養領域】

前期行事予定			後期行事予定		
月	日	曜日	月	日	曜日
4月	1	木	10月	16	土
	3	土		18	月
	12	月		21	木
5月	17	土		23	土
	29	木		30	土
	30	金	11月	2	火
6月	1	土		3	水
	3	月		20	土
	4	火		22	月
7月	5	水		23	火
	8	土		27	土
	12	水	12月	11	土
8月	12	水		13	月
	12	土		18	土
9月	22	木		29	水
	23	金	1月	1	土
10月	24	土		10	月
	9	月		18	火
	10	火		21	金
	11	水		22	土
	12	木	2月	2	水
11月	21	土		3	木
	26	木		5	土
	30	月		7	月
	31	火		11	金
	1	水		16	水
12月	2	木		23	水
	3	金	3月	2	水
	7	月		3	木
	9	水		7	月
	18	金		9	水
1月	21	土		18	金
	22	日		21	月
	2	月		23	水
	3	火		26	土
	7	土			
2月	10	月			
	18	火			
	21	金			
	22	土			
	2	月			
3月	3	火			
	7	土			
	11	水			
	16	水			
	23	水			
4月	24	土			
	2	月			
	3	火			
	7	土			
	9	月			
5月	10	火			
	11	水			
	12	木			
	1	金			
	2	土			
6月	3	日			
	7	木			
	9	土			
	10	日			
	11	月			
7月	12	火			
	13	水			
	14	木			
	15	金			
	16	土			
8月	17	日			
	18	月			
	19	火			
	20	水			
	21	木			
9月	22	金			
	23	土			
	24	日			
	25	月			
	26	火			
10月	27	水			
	28	木			
	29	金			
	30	土			
	31	日			

※上記の日程は期中に変更する可能性があります。

2021年度 年間行事予定表【芸術学部美術領域/デザイン領域】

月	日	曜日	前期行事予定	月	日	曜日	後期行事予定	
4月	1	木	入学式	10月	14	木	防災訓練(西)	
	3	土	健康診断		16	土	オープンキャンパス	
	12	月	前期授業開始日		23	土	学部入試(総合型選抜1期)	
	17	土	オープンキャンパス		30	土	芸大祭(10/30~11/2)	
	29	木	休校 昭和の日	11月	2	火	芸大祭片付け	
	30	金	臨時休校日		3	水	授業日 文化の日	
5月	1	土	休校 開学記念日		20	土	学部入試[学校推薦型選抜(一般、指定校)] [特別選抜1期(社会人、海外帰国生徒、 外国人留学生、3年次編入学)]	
	3	月	休校 憲法記念日		22	月	授業日 学院創立記念日	
	4	火	休校 みどりの日		23	火	授業日 勤労感謝の日	
	5	水	休校 こどもの日	27	土	オープンキャンパス		
	8	土	オープンキャンパス	12月	11	土	オープンキャンパス	
	12	水	一斉休講期間(5/12~5/18)		18	土	学部入試(総合型選抜2期)	
6月	12	土	オープンキャンパス		29	水	冬期一斉休業期間(12/29~1/3)	
	7月	22	木	オープンキャンパス 授業日 海の日	1月	1	土	元旦
		23	金	授業日 スポーツの日		10	月	休校 成人の日
		24	土	オープンキャンパス		21	金	レポート提出期限、試験期間(1/21・22・24)
22	土	オープンキャンパス	22	土		オープンキャンパス		
8月	9	月	試験期間(8/9~8/11) レポート提出期限 オープンキャンパス 山の日	2月	2	水	学部入試[一般選抜一般入試1期] [特別選抜1期(社会人、海外帰国生徒、 外国人留学生、3年次編入学)]	
	10	火	オープンキャンパス		3	木	後期試験成績発表	
	11	水	オープンキャンパス		5	土	学部入試[総合型選抜3期] [特別選抜(エキスパート)] 大学院入試1期[美術研究科、デザイン研究科]	
	21	土	オープンキャンパス		7	月	レポート提出期限、追再試験(2/7~2/9)	
	26	木	前期試験成績発表		11	金	休校 建国記念の日	
	30	月	追再試験、レポート提出期限	16	水	追再試験合否発表		
	31	火	追再試験	23	水	休校 天皇誕生日		
	9月	1	水	追再試験	3月	2	水	卒業判定会議
		2	木	研究生考査(9月入学)		3	木	学部入試[一般選抜一般入試2期]
8		水	追再試験合否発表	7		月	研究生考査(4月入学)	
11		土	オープンキャンパス	9		水	進級判定会議	
15		水	オリエンテーション予定、前期卒業判定会議	18		金	卒業式	
16		木	オリエンテーション予定	21		月	春分の日	
20		月	後期授業開始 授業日 敬老の日	23		水	学部入試[総合型選抜4期] [特別選抜(3年次編入学3期)] 大学院入試2期[美術研究科、デザイン研究科]	
23		木	授業日 秋分の日	24		木	オリエンテーション予定(3/24~3/26)	
				26	土	オープンキャンパス		

※上記の日程は期中に変更する可能性があります。

2021年度 年間行事予定表【人間発達学部】

前期行事予定				後期行事予定				
月	日	曜日	行事	月	日	曜日	行事	
4月	1	木	入学式	10月	16	土	オープンキャンパス	
	3	土	健康診断		18	月	学部入試(10/18~10/22 総合型選抜1期 オンラインイブニング入試)	
	12	月	前期授業開始日		21	木	防災訓練(東)	
	17	土	オープンキャンパス		23	土	学部入試(総合型選抜1期)	
	29	木	休校 昭和の日		30	土	芸大祭(10/30~11/2)	
	30	金	臨時休校日	11月	2	火	芸大祭片付け	
5月	1	土	休校 開学記念日		3	水	授業日 文化の日	
	3	月	休校 憲法記念日		20	土	学部入試[学校推薦型選抜(一般、指定校)] [特別選抜1期(社会人、海外帰国生徒、 外国人留学生、3年次編入学)]	
	4	火	休校 みどりの日		22	月	授業日 学院創立記念日	
	5	水	休校 こどもの日		23	火	授業日 勤労感謝の日	
	8	土	オープンキャンパス	27	土	オープンキャンパス		
	12	水	一斉休講期間(5/12~5/18)	12月	11	土	オープンキャンパス	
6月	12	土	オープンキャンパス		13	月	学部入試[12/13~12/17 総合型選抜2期 オンラインイブニング入試]	
	7月	22	木		オープンキャンパス 授業日 海の日	18	土	学部入試(総合型選抜2期) 大学院入試[人間発達学研究科0期]
		23	金		授業日 スポーツの日	29	水	冬期一斉休業期間(12/29~1/3)
24	土	オープンキャンパス	1月	1	土	元旦		
8月	9	月		試験期間(8/9~8/11) レポート提出期限 オープンキャンパス 山の日	10	月	休校 成人の日	
	10	火		オープンキャンパス	21	金	レポート提出期限、試験期間(1/21・22・24)	
	11	水		オープンキャンパス	22	土	オープンキャンパス	
	21	土	オープンキャンパス	2月	2	水	学部入試[一般選抜一般入試1期] [特別選抜1期(社会人、海外帰国生徒、 外国人留学生、3年次編入学)]	
	26	木	前期試験成績発表		3	木	後期試験成績発表	
	30	月	追再試験、レポート提出期限		5	土	学部入試[総合型選抜3期] [特別選抜(エキスパート)] 大学院入試[人間発達学研究科1期]	
	31	火	追再試験		7	月	レポート提出期限、追再試験(2/7~2/9)	
9月	1	水	追再試験		11	金	休校 建国記念の日	
	2	木	研究生考査(9月入学)	16	水	追再試験合否発表		
	8	水	追再試験合否発表	23	水	休校 天皇誕生日		
	11	土	オープンキャンパス	3月	2	水	卒業判定会議	
	15	水	オリエンテーション予定、前期卒業判定会議		3	木	学部入試[一般選抜一般入試2期]	
	16	木	オリエンテーション予定		7	月	研究生考査(4月入学)	
	20	月	後期授業開始 授業日 敬老の日		9	水	進級判定会議	
23	木	授業日 秋分の日	18		金	卒業式		
			21		月	春分の日		
			23	水	学部入試[総合型選抜4期] [特別選抜(3年次編入学3期)] 大学院入試[人間発達学研究科2期]			
			24	木	オリエンテーション予定(3/24~3/26)			
			26	土	オープンキャンパス			

※上記の日程は期中に変更する可能性があります。

CONCERT GUIDE

2021 年度 名古屋芸術大学 演奏会案内

2021

October

■音楽同窓会第40回新人演奏会

2021年10月7日(木) 18:30 開演
電気文化会館ザ・コンサートホール

■電子オルガン定期演奏会

2021年10月22日(金) 18:30 開演
名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール

November

■第44回定期演奏会

2021年11月11日(木) 18:30 開演
三井住友海上しらかわホール

■声優コース卒業公演

2021年11月14日(日)
名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール

■室内楽の夕べ

2021年11月26日(金) 18:30 開演
名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール

December

■ウィンドオーケストラ第40回定期演奏会

2021年12月2日(木) 19:00 開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

■ミュージカルコース卒業公演

2021年12月5日(日)
名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール

■音楽の森

2021年12月5日(日) 15:00 開演(予定)
名古屋芸術大学アートスクエア

■ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース
卒業公演

2021年12月12日(日)
名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール

2022

January

■ウィンドシンフォニー第1回定期演奏会

2022年1月7日(金) 18:30 開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

■学生オーケストラ with 名芸フィル特別演奏会

2022年1月27日(木) 18:30 開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

■第20回歌曲の夕べ

2022年1月29日(土) 15:00 開演
名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール

February

■カレイドスコープ2022

2022年2月12日(土) 16:00 開演
名古屋芸術大学東キャンパス2号館大アンサンブル室

■大学院特別演奏会

2022年2月15日(火) 18:30 開演
名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール

■オペラ公演

2022年2月27日(日) 14:00 開演
名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール

March

■ピアノのしらべ 第26回春のコンサート

2022年3月1日(火) 18:30 開演
名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール

■第24回大学院修了演奏会

2022年3月2日(水) 17:00 開演
名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール

■ポップス・ロック&パフォーマンスコース卒業演奏会

2022年3月6日(日) 15:00 開演
名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール

■第49回卒業演奏会

2022年3月11日(金) 18:30 開演
三井住友海上しらかわホール

お問合せ

名古屋芸術大学演奏課

〒481-8503 愛知県北名古屋市観之庄古井 281

☎0568-24-5141

※今後の状況により、変更になる場合がございますので、事前にご確認ください。

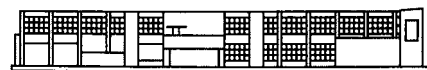
2021年度 Art & Design Center West スケジュール表

日程	BE	be	studio	lounge
4/1 ~ 14	デザイン領域レビュー選抜展			
5/28 ~ 6/2	『PLAYGROUND』 イラストレーションコース4年生展			
6/4 ~ 6/9	アークリ4年生展		南谷 由香里 展	
6/11 ~ 6/16	交差展			
6/18 ~ 6/23	近藤憲男 油彩画「雪国、ふるさと展」	ボクニッキ・レイヤー		メイゲイ・ブックツリー
6/25 ~ 6/30	プレソツ展			
7/2 ~ 7/7	スペースデザインコース展			
7/9 ~ 7/14	ORCA	大学院コミュニケーション デザイン&アート演習展		ORCA
7/16 ~ 7/21	【工芸リレー】 CONNEXT 2021 陶・ガラス教育機関講評交流展			
7/23 ~ 7/28	【工芸リレー】 素材展(メタル&ジュエリー)+特別客員教授藤田政利展			
7/30 ~ 8/4	【工芸リレー】 素材展 テキスタイルデザインコース前期制作展			
9/24 ~ 9/29	書道アート展9(仮称)	第4回 芸術教養レビュー		
10/1 ~ 10/6	助手展			
10/8 ~ 10/13	アークリ博覧会			
10/15 ~ 10/20	日本画3年コース展		ファッショントゾウケイ	
10/25 ~ 11/16	【AD センター企画展】The Practice of Everyday Practice 日常の実践の練習			
11/19 ~ 11/24	同時代表現展・スタジオ展(仮)			
11/26 ~ 12/1	MCD Department 2021(メディアコミュニケーションデザインコース展)			
12/3 ~ 12/8	メディアデザインコース展			
12/10 ~ 12/15	From Denmark 2021展	2021年度 後期交換留学生展		
12/17 ~ 12/22	洋画コース2・3年生選抜展(仮)			
2022				
1/7 ~ 1/12	(仮)工芸展(陶芸・ガラス)			
1/14 ~ 1/19	第4回 芸術教養レビュー3(仮称)			

2021年度 Art & Design Center East スケジュール表

日程	gallery
4/1 ~ 12	Art&Design Center EASTとTERAのなりたち
4/15 ~ 27	北名古屋市回想法センター作品展 みんながつくったもの。
5/21 ~ 6/2	芸術教養レビュー第3回展選抜展
6/9 ~ 6/23	アラムナイコレクション展3
6/25 ~ 6/30	私の7日間戦争
7/2 ~ 7/7	センテンス・シックス・センス
7/9 ~ 7/17	アラムナイコレクション展4
7/21 ~ 7/23 ~ 7/28 ~ 8/2	Atlas - 3 km, 3 m
9/24 ~ 9/29	第4回 芸術教養レビュー
10/1 ~ 10/6	助手展
10/8 ~ 10/10	PLAY! PARK がやってきた!
10/12 ~ 10/20	ヴィジュアルリテラシー “foundation 1~みつける・うけとる” (仮)
10/25 ~ 11/16	【AD センター企画展】The Practice of Everyday Practice 日常の実践の練習
11/19 ~ 11/24	NAC作品制作活動支援プログラム 新アラムナイコレクション展
11/26 ~ 12/15	新・博物誌展
12/17 ~ 12/22	ORCA
2022	
1/7 ~ 1/12	舞台芸術展
1/14 ~ 1/26	第2回 芸術教養領域 卒業研究展

Art & Design Center



名古屋芸術大学アート&デザインセンター 〒481-8535 北名古屋市徳重西沼65番地 tel.0568-24-0325 tel/fax.0568-24-2897

WEST CAMPUS クラブ・同好会紹介《西キャンパス》23

1 テニス部

テニス部は楽しみながらテニスを上達させるという目標を掲げる部活です！
夏には水遊び、冬にはスキー合宿などのイベントがあります！テニスに興味がある人は是非来てください！



2 GONCE スキー部

毎週月・金曜日に体育館で活動しています！
普段はバレーやバドミントンなど、色んなスポーツをします！冬はもちろんスキーをします！気軽に遊びに来て下さい。



3 着付け部

みんなでまったりしながら着付けを練習しています。大須で着物めぐりをしたり、夏休みは明治村へ一緒にお出かけしましょう！



4 バドミントン部

バドミントン部は初心者、経験者関係なく誰でも楽しくバドミントンができる部活です！
先輩や色々なコースの人たちと交流が出来る、制作の話など幅が広がると思います！気軽に体験しに来てください！



5 サッカー部

こんにちは！みなさんサッカーは好きですか？いや、そんなことはどうでもいい。サッカー好きでも嫌いでも、上手でも下手でもそんなの関係ない。楽しむ気持ちさえあれば、君の大学生活は輝ける！サッカー部で待ってるよ！



6 動画漫画研究部

動画漫画研究部では年2回のコミケと芸大祭で本やアニメーションを作成します！自分の漫画やイラストを出したい、アニメーションをやってみたい！方は是非漫研へ！



7 自由音楽部

自由音楽部です！
みんなでハッピーになりましょう！！



8 軽音部

学校で友達とバンドを組んでライブをする！
そんな誰もが一度は想像した青春をこの部活で実現出来ます！初心者 経験者 男女ジャンル関係なく楽しくやっています！是非遊びに来てね！一緒に楽しもう！！



9 陶芸部

活動のメインは、夏の合宿と芸祭への出店です。好きな時間に来て、好きなものを作ることができる楽しいクラブです。



10 版画部

版画部に入ることによって、授業時間外にも版画工房を使用できるようになります。また、版画の展覧会「K109 展」への参加権が得られます。年間費（共有の溶剤費）は1,000円。とってもお得です！



11 バスケットボール部

毎週の火曜日と木曜日に体育館を使い活動をしています！
バスケットボール初心者も経験者の方も大歓迎！興味がある方は是非一度遊びに来て、みんなで楽しくまったりバスケットボールをしましょう！



12 演劇部

芸大祭での公演を中心に時には楽しく、時にはマジメに活動しています。初心者大歓迎！自分の殻を破りたい人、誰かに発信したい人、表現の場が欲しい人、様々な目標を胸に、個性豊かなメンバーが揃っている劇団「超熱アトミックス」さあ君も仲間に入らないか？



13 フォークギター部

主にアコースティックギターでの弾き語りライブやセッションをやっています。オールジャンル OK、初心者大歓迎です。



14 ストリートダンス部

ダンスが好きな人なら初心者、経験者問わず大歓迎！新入生歓迎会や芸祭ではステージ発表もあります！GWや夏休みなどの長期休暇は BBQ などのイベントも！楽しいので是非来てください！



15 Sweet Candy Boys & Girls

主にアウトドアな活動をしています！
コテージを借りて山奥へ遊びに行ったり登ったり、夜は綺麗な星を眺めたり！
ただただ遠出して、楽しみたいサークルです！



16 書道アート

名古屋芸術大学書道アート部はアートの視点から切り込んだ書の表現を追求しています。また、「書道」と「アート」の垣根、領域を越えた全方位的な活動をしています。指導：横山豊蘭



17 ワンダーフォーゲル部

ワンゲルは月に1~2回活動しています。主に山を登ることを活動にしており、去年度は養老の滝や猿投山、登山の他には紅葉狩りにも行きました。参加も自由なので他のサークルと掛け持ちすることもできます！今年度はキャンプやバーベキューなど、登山以外での活動も行っていくと考えているので気になる方は是非！



18 サバイバルゲーム愛好会

私たちサバイバルゲーム愛好会は2か月に1度サバゲーフィールドへ行き、定例会に参加し、ルール、マナーを学び、正しい知識で楽しさを伝えていくサークルです。



19 テーブルゲーム部

様々なジャンルのテーブルゲームで遊ぶ事で知識を養ったり、その経験を活かしてオリジナルのゲームを作ったりします。ぜひ、遊びに来てください。下記のホームページから活動の記録が見れます。
<https://tablegame-nua.jimdofree.com/>



20 レゴ部

LEGOは、発想力や創造力はもちろん、問題解決力や3次元的思考力が身につきます。芸術大学で学ぶ専門分野にも応用が効きます。LEGOブロックでいろんなものを作りませんか？各種コンテストにも挑戦します！



21 サイクリング部

月に1、2回サイクリングやポタリングなどを行っています。どなたでも歓迎です！
スポーツ自転車に興味がある方は是非！楽しいサイクリングライフを過ごしましょう～



22 NUAアクアリウム部

魚や両生類、水草や観葉植物などの飼育・育成・採取を行います。生き物が大好きな人、インテリアとしての植物に興味がある人、それ以外の人も大歓迎！！一緒に新しい趣味をはじめましょう！！



23 芸大祭実行委員会

「私たちが芸大祭を作ってみよう！名芸最大のイベントである芸大祭の企画や運営が私たちの役割です。他にも旅行や楽しいイベントもたくさんあります！色んな人と関わり合って、今年最高の1年にしましょう！！」



EAST CAMPUS

クラブ・同好会紹介《東キャンパス》17

① Jampa Swing Orchestra

ビッグバンドジャズサークルのジャンパです！学外の演奏会や新歓・芸祭などでの演奏を中心に活動しています。ただいま部員大募集中です！ジャズを知らなくても、楽器初心者でも大歓迎！楽しく演奏したい人、ぜひ見学からでもお待ちしております！



② フットサル部

男女問わず仲良く活動しています！！初心者もいてみんなでワイワイ活動できるサークルです！先輩とも仲良くなれて、西キャンパスと合同で活動したりするのでどんどん友達が増えます！楽しくフットサルしましょう！



③ ミュージックボランティア

子供から高齢者まで、色々な人に音楽を届けているサークルです！依頼された施設でボランティアや演奏会をしています。ただの演奏会ではなく、みんなで一つの音楽を作ろう！という感じで一緒に歌ったりしてます♪演奏や人と接するのが好きな人ぜひ来て下さい！



④ B・B・Z

初心者も経験者も楽しく活動しているバスケットボールサークルです。合宿でバスケットをするだけでなく、海へ行き、海鮮を食べるなどみんなで楽しい時間を共有しています。経験者、未経験者、男女問わず誰でもぜひ一度来てください。



⑤ ルーディメンツクラブ

ルーディメンツクラブは、打楽器ドラムの基礎であるルーディメンツを日々研究し、自らの技術向上に努めて活動しています。上半期は芸祭のメインステージにて打楽器アンサンブルを発表するべく練習しており、下半期は合宿などもあり講師 部員共々仲睦まじく活動しております。



⑥ 和太鼓部「笑和」

こんにちは！私たちは現在、部員13名で学年、学部関係なく仲良く活動をしています！練習の成果を発表する場は多くあります。主に参加させて頂いているのは、幼稚園や小学校の夏祭り、学校内のイベントです。興味がありましたら、気軽に見学に来てください。



⑦ ダンスサークル

ダンスサークルは芸大祭など学校行事での発表や外部でのイベント出演などを目標にして先輩、後輩全員で楽しくダンスを踊っています。初心者、経験者関係なくダンスがやりたいと思っている方はぜひダンスサークルにきてください。



⑧ リズム体操部

私たちは子ども向けの体操を始め、Gボールやラートといった道具を使った演技を学内外の様々な機会に発表しています。また、体操教室を開いたり子どもたちと関わる機会もあります。人間発達学部の学生が多いですが、どの学部の方でも大歓迎です！ぜひ一度見学に来てみてください！



⑨ 中音部

私達中音部は、全学年仲が良く、全員学校でのライブなどに楽しく練習しています。他にも初心者上級者問わず仲を深めるため様々なイベントがあります！興味のある方やバンドを組んで見たい方は一度でもいいので顔を出してください！



⑩ EXIA'S

一度来たらずらハマってしまうバレーボールサークルです。学年や男女問わず仲良く楽しく活動しています。外部の方とも交流があるため、幅広く関わりがもてます。未経験者・経験者・男女問わず大歓迎です！！



⑪ 録音部

録音部は録音をする部活です。アーティストを呼んでのレコーディングやフィールドレコーディング、アフレコ、音響を兼任のライブレコーディングまで幅広く活動します。内容に反してゆるい部活なので興味のある方は是非！



⑫ tiny*palette

tiny*palette はハンドメイド作品を作っているサークルです。プラ板、レジン、ハーバリウムなどを使って作品制作をしています。初心者、経験者間、男子、女子問わず部員を大募集です。毎週楽しく活動しています。ぜひ体験に来てください！



⑬ 名古屋芸術大学吹奏楽クラブ

音楽を専攻している学生はもちろん、美術や、人間発達などの幅広い学部から集まって吹奏楽を楽しんでいます！中高から続けてきた方、未経験者も大歓迎です！楽器、音楽一緒に楽しませるか？是非一緒に吹奏楽を楽しみましょう！



⑭ ゴスペル部

ゴスペルサークルでは、ゴスペルならではの歌い方や英語の発音、時代背景等々を学び、芸大祭のステージに出演する等の活動を行っています。東キャンパスの学生も西キャンパスの学生も一緒に活動しています。歌う事が好きな方など大歓迎です！



⑮ 名古屋芸術大学ローターアクトクラブ

社会で活躍している方々と交流し、共にボランティアをしています。昨年度は上海で小児がんの子供達のために活動しました。ボランティアに興味がある人、就職を有利に進めたい人、さまざまな場所で、自由にチャレンジしたい人はぜひ入部してください！！InstagramID : nua.rac



⑯ NUA 音楽事務所

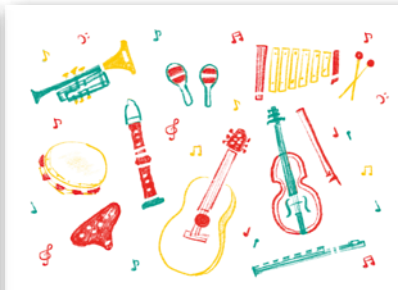
NUA 音楽事務所に所属しているタレントをプロデュースするサークルです。



○所属タレント・iVY・iCANDY

⑰ 芸大祭実行委員会

笑いあり・涙あり・感動あり。大学を学生が好きにしていい3日間！みんなの力で思い切り楽しいイベントを創りましょう！他にも親睦会や合宿。楽しいイベントを企画していますので、学部を超えた仲間づくりをしたい方も、ぜひ私たちと一緒に大学生活を思いっきり楽しみましょう！入会希望の方は、とりあえず教務学生課の奥村まで！！



TOPICS



人間発達学部 子ども発達学科

2022年4月 教育学部子ども学科 始動！

人間発達学部子ども発達学科は2022年4月より、「教育学部子ども学科」に生まれ変わります。これまでの学びの内容に加え、今教育現場が求めている知識や技術を取り入れて進化・細分化することで、更なる「現場力」のある教育スタッフを育成して参ります。

1年次はこれまで同様、子どもファンデーションというカリキュラムを通じて子どもたちに関する総合的な学びを展開しますが、2年次からは7つのコースを設定することで、保育士資格、幼稚園や小学校の教員免許取得はもちろん、英語力やICT力、更にはさまざまな形で子どもたちを支援する制度などの専門性を身につけることができるようなコース編成が変わります。新教育学部は、時代に即応した実践力ある教育人材を輩出し続けるべくこれからも変わり続けて参ります。



当地区では「初」名古屋芸術大学から「認定絵本土」が誕生！

「認定絵本土」という資格をご存知でしょうか？この認定絵本土は指定された多くの講義・講座を受講することにより、絵本の読み聞かせや絵本の取扱いのプロとして活躍できるという資格です。

本学では、2020年度よりこの地区で初めて「認定絵本土養成講座」を開設し受講者への指導を行ってききましたが、このたび本学から31名もの認定絵本土が誕生しました。（在学生14名、卒業生17名）。もちろん、この地区では初めての認定絵本土の誕生です。

7月15日（木）に東キャンパスにて認定絵本土認定証伝達式が行われ、出席者一人ひとりに認定証が授与されました。「素直にうれしい。」「これからが実践の連続です。」出席者が発したコメントには、自分への期待や使命感が込められていたように感じられました。

芸術学部 音楽領域

2022年4月 音楽領域「プロフェッショナルアーティストコース」開設

音楽領域に14番目のコースとして新たに「プロフェッショナルアーティストコース」（通称：PAコース）が開設されます。このコースは声楽、鍵盤楽器（ピアノ、電子オルガン）、弦楽器、管楽器、打楽器の専攻実技の教授に特化し、将来演奏家をを目指す学生を対象に、演奏技術はもちろん、国内外のコンクールやステージの場への積極的な参加を意識し、世界で活躍できる演奏家の育成を目指します。

これまでの演奏系コースと比べて倍になる個人レッスンの実施や国際舞台で活躍するためには必要不可欠な語学スキルの習得、更には演奏家としてのセルフプロデュース力など、まさに国際舞台での活躍のために自ら身につけるべき習得内容がすべて揃ったコースがいよいよ始動します！



芸術学部 デザイン領域

デザイン領域 ALPs(超域創造プログラム)での取り組み 小幡緑地公園(名古屋市守山区)内に「オバッタベッタ」オープン

名古屋市守山区の小幡緑地公園に愛知県の主催による民間活力導入施設「オバッタベッタ」がオープンしました。このオープンには本学が掲げるさまざまな分野とアートやデザインとが連携する超域創造プログラム(ALPs)の取り組みとして実践されたものであり、2021年4月20日オープンを迎えました。前日の4月19日にはプレオープニングセレモニーが開催され、本学学生による吹奏楽演奏がセレモニーに華を添えるなか、竹本義明学長、大村秀章愛知県知事をはじめとする主催・協力が携われた方々による挨拶の後、マスコミ関係者も含めた施設内覧が実施されました。地域住民の新たな憩いの場として新たな今後の発展が楽しみな施設です。皆さんも機会があれば是非お出かけください。



芸術学部 舞台芸術領域

舞台芸術領域開設記念事業 月灯りの移動劇場(Peeping Garden) を学内開催!

今年4月にスタートしました芸術学部芸術学科 舞台芸術領域の開設記念事業として、8月21日に東キャンパス体育館内にて「月灯りの移動劇場(Peeping Garden)」を開催しました。ウイズコロナの時代の新たな舞台鑑賞形式として国内外メディアでも取り上げられ注目されつつあるこの移動劇場(Peeping Garden)とは、2つの穴が開いている木製扉(30枚)に囲まれた円形の舞台であり、観客が2つの穴を通じて木製扉で囲まれた中にある舞台上で演ずる演者を覗き見することで、よりリアルに細部に渡る研ぎ澄まされたパフォーマンスに接することができるという新しい感覚・感動を与える舞台です。社会的な距離を保ちながら演劇を鑑賞するためのソリューションを提供したと言われるこの舞台形式。機会があれば是非一度体験してみてください。



芸術学部 芸術教養領域

芸術教養領域主催作品展「みんながつくったもの」開催!



芸術教養領域2年次生には必須科目として、地域社会が抱える課題を発見し解決する方法を提案する「プロジェクト2」という授業を開講しています。令和2年度は北名古屋市内にある「回想法センター」をフィールドに課題発見とその解決を試み、その過程で学生たちが「地域回想法」をテーマに「地域・人・とき」を結びつけるプロジェクトを考えました。回想法センターに設けられた回想法スクールに通うお年寄りたちが作成した作品は学生たちの関心を惹き、何歳になっても創作意欲をもって活動するみんな(お年寄りたち)の作品を展示しようということとなりました。

学生の関心が地域のお年寄りを結び付け、お年寄りの創作成果の場を設けるに至ったこの企画。見事に地域の皆さんに心温まる場所を設けることができましたようです。

芸術学部 美術領域

ららぽーと名古屋みなとアクルスにて美術領域学生による作品展示開催

名古屋市港区の「ららぽーと名古屋みなとアクルス」では父の日イベント『THANKS FATHER'S DAY』が催され、「父の日」前日の6月19日(土)には『おとうさんへのプレゼントを学生アーティストと作ろう!』と題して、本学美術領域アートクリエイターコースの学生が、お父さま達のオリジナリティあふれるプレゼント作りのお手伝いをしました。また、6月12日(土)～20(日)の間、同1階センターコートに作品を展示させていただき、訪れた多くの方に作品をご覧いただきました。制作スタート時は若干緊張気味の本学学生たちでしたが、参加された保護者の皆さまに暖かく迎え入れていただき、次第に子どもたちの気持ちや意欲に寄り添うようなアドバイスができるようになっていきました。「普段は独り作品と向かい合う毎日で今回のような体験は初めてでしたがとても新鮮で楽しかったです。お父さん本人がやってみたくて、失敗してもいいからやってみよう、と声を掛けていました」と笑顔で振り返っていました。



学部共通

外国人留学生向け「マンスリーミーティング」スタート!

名古屋芸術大学には、多くの外国人留学生の皆さんが学んでいます。昨年度来、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、通学機会が格段に減少してしまい、ただでさえ異国の地での生活に不安が多いにも関わらず、友達や大学関係者に対面で話す機会も奪われたため、相当な孤独感に苛まれた人もいたようです。このため名古屋芸術大学では、留学生たちの孤独な環境を少しでも解消しようと今年度から「マンスリーミーティング」を開始し、様々な情報共有はもとより友達作りの場としてじっくりと話せる時間を設定しました。担当者の努力もあり、参加率も高く

好評を得ています。留学生の皆さんをしっかりサポートしようと必死にがんばっているスタッフの今後の活躍にこれまで以上に期待していきたく思います。

監事講評

名古屋芸術大学後援会
監事 菊井 政右衛門

新型コロナウイルスと人権

全国で新型コロナウイルスの感染者やその家族、医療従事者や関係者への誹謗中傷や差別が相次いでいます。萩生田文部科学大臣は全国の児童・生徒、教職員、保護者・地域の人々に向けて、「新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けて」と題するメッセージを発表しています。過去にはハンセン病やエイズ感染者に対する酷い差別と人権侵害がありました。未知の病気に対する不安や恐れが差別意識を生み、ネットを媒介に瞬時に拡散します。卑劣な匿名の言葉の暴力は凶器と化し、時として大切な人命まで奪いかねません。

しかし陽性反応を示したからといって、ただちに「新型コロナウイルス感染者」とは断定できません。なぜならPCR検査は普通のカゼやインフルエンザウイルスにも反応するからです。抗原検査はもっと精度が劣ります。従ってマスクや自治体が発表する「感染者」のうち真性の新型コロナ感染者は一体何割なのか、全く不明です。

ちなみに本学で最初のPCR検査陽性反応者が出たのは昨年8月のことでした。学生本人は無症状で、ほどなく退院しています。濃厚接触者とされた学友たちも全員が陰性でした。また国の方針で入院後の死亡者を全て「新型コロナ感染死」にカウントしていますが（その多くは高齢者）、死因の特定に関する厳密な医学的検証もほとんどの場合行われておらず、非科学的で信憑性を欠いたずさんな統計データと言わねばなりません。

この1年、人類は地球規模でのパンデミックとの文字通りの死闘を制し、ウイルスの正体を解明し、叡智を結集してワクチン開発にも成功しました。ウイルスも変異しながら悪あがきを繰り返していますが、勝負はついた

も同然です。

ワクチン接種で先行したイギリスで、接種直後に感染状況が劇的に改善した経験から類推するならば、今後日本でワクチン接種が一段と進展した場合、国内での感染拡大はかなりの確率で制御できる可能性があります。不安を煽りまくるマスコミの雑音を排除し、この間の科学的データと統計資料を客観的かつ総合的に評価するならば、所謂「第5波」は既にピークアウトしたものと読み取れます。もう少しの辛抱です。

名古屋芸術大学の新型コロナウイルス感染症に対する基本的スタンスは、2020年8月12日付「新型コロナウイルス感染者の発生について（第一報）」に示された通りです（名古屋芸術大学ホームページ『新型コロナウイルス感染症への本学の対応について』参照）。

そこには感染学生・教職員とその家族も含めた人権尊重、個人情報保護、キャンパスの安全管理、感染防止対策の指導と意識の周知徹底等に関して明確に述べられています。今一度再確認してください。

SDGs（持続可能な開発目標）が国境を越えた合言葉になっています。持続可能な社会の創造は、世界全体が向き合わなければならない喫緊の課題です。さまざまな価値観等の違いを乗り越え、差別やイジメのない、人権が尊重される明るい社会を実現するには、名古屋芸術大学の学生・教職員・保護者と地域の全ての関係者の人権感覚と問題解決能力を育成する努力が必要不可欠です。

マスク報道に振り回されることなく、常に冷静に、科学的かつ客観的な正しい知見に基づいた言動を心がけたいものです。（2021年8月15日改稿）

パートナーシップ包括連携協定を締結へ

8月7日(土)、名古屋芸術大学地域交流LABO会議室において、名古屋芸術大学後援会臨時理事会が開催されました。

会議では株式会社クLEARレ（以下、クLEARレという。）の後援会賛助会員への加入と、パートナーシップ協定（包括連携協定）の締結について協議が行われ、合意が成立しました。

クLEARレは名古屋芸術大学の経営母体である、学校法人名古屋自由学院のグループ企業（直営）です。

クLEARレは芸大東キャンパスに本社を置き、演奏家派遣や大学の施設貸出、各種教室の運営、学生下宿（アパート・マンション）の紹介や保険代理店、卒業式袴レンタル事業など、学院設置校に在籍する学生・生徒・園児のためのより良い教育研究の環境づくりを支援する幅広い業務を行っています。

後援会はクLEARレに対し、2020年度より事務局業務を委託しており、ともに学生と大学教育支援の目的で一致し、協力関係を深めてきました。

今回のクLEARレの賛助会員加入と、パートナーシップ協定（包括連携協定）の締結を契機に、双方の協力関係がさらに強化され、今後想定されるさまざまな事業計画の展開により、われわれが目ざす「学生満足度No.1」、「全国芸大（美大・音大）のトップ校」に君臨する名古屋芸術大学を実現していく、最強の後援会づくりへのさらなる躍進が期待されます。

【企業概要】

株式会社クLEARレ 平成17年(2005年)5月24日設立
資本金1,000万円 株主学校法人名古屋自由学院(100%)
代表取締役 濱田誠(学校法人名古屋自由学院経営本部長兼務)
〒481-0006 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地

名古屋芸術大学東キャンパス12号館6階
TEL 0568-26-3355
FAX 0568-26-2101
E-mail :create@nua.ac.jp

(2021年8月8日)

名古屋芸術大学後援会会則

- 第1条 本会は名古屋芸術大学後援会(以下「本会」という)と称し、事務局は名古屋芸術大学内に置く。
- 第2条 本会は名古屋芸術大学の教育方針に基づき、大学諸活動の後援を目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- (1) 学生の課外活動への援助と学生の福利厚生に関する援助。
 - (2) 大学の正常な運営への寄与と、保護者の希望を大学に反映させる活動。
 - (3) その他本会の目的達成に必要と認める事業。
- 第4条 本会は名古屋芸術大学学生(大学院生を含む)の保護者または、これに代わる者及び理事会が認めた本学卒業生の保護者、並びに本会の趣旨に賛同する企業または事業主等(以下、「賛助会員」という。)をもって組織する。
- 第5条 本会に役員及び理事をおく。
- 1 役員は、次の各号に掲げる者とする。
 - (1) 会長1名
 - (2) 副会長4名
 - (3) 監事1名
 - (4) 会計監査2名
 - (5) 書記1名
 - (6) 会計1名
 - 2 本会に理事若干名を置く。
- 第6条 本会の役員及び理事の選出は次の方法による。
- (1) 役員は総会において会員の中から選出する。
 - (2) 書記、会計は役員の中から会長が委嘱する。
 - (3) 役員の任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。
- 2 理事の選出は、理事会において会員の中から選出する。
 - (1) 理事の任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。
- 第7条 本会役員の仕事は次のとおりとする。
- (1) 会長は会務を統括し、副会長は会長を補佐し、会長が事故ある時はその代理をする。
 - (2) 監事は会務を監査する。
 - (3) 書記、会計は会長に委嘱された会務を行う。
- 第8条 本会の会議は総会、理事会とし、議長はその都度選出する。

- 第9条 定期総会は原則として年1回、会長が召集する。必要と認めた場合は臨時総会を開くことができる。
- 第10条 総会は次の事項を審議・決定する。
- (1) 事業の実施、収支決算及び予算に関する事。
 - (2) 会則の改定、会の解散に関する事。
 - (3) 役員を選出、その他役員が必要と認めた事項。
- 第11条 総会は出席会員で成立し、議事は出席会員及び出席者に委任した過半数をもって議決する。
- 第12条 理事会は出席役員・理事で成立し、会長が召集、議事は出席役員・理事の過半数で議決する。理事会は総会への提案と決定事項の実施、運営にあたる。
- 第13条 本会にその目的を達成するために次の委員会をおく。また、必要に応じて理事会の承認を得て新たに委員会を設置することができる。
- (1) 総務委員会
 - (2) 事業委員会
 - (3) 広報委員会
- 第14条 委員会に委員長1名、副委員長2名以内および委員若干名をおく。委員長は副会長が兼務し、副委員長及び委員は理事のうちから理事会の同意を得て会長が指名する。
- 第15条 本会に顧問をおくことができる。顧問は理事会の承認により、会長が委嘱し、会長の要請により各会議に参加し意見を述べる。
- 第16条 本会の経費は、会費及び寄付金をもってこれにあてる。会費は入学時16,000円、2年次以降大学院生までは年額10,000円とする。賛助会員の会費は別途定める。
- 第17条 本会の会計年度は、4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第18条 本会則の運営に必要な事項は、理事会の議を経て会長が定める。
- 附則
- 1 本会則は昭和62年6月22日から実施する。
 - 2 本会則は昭和63年6月12日一部改正し実施する。
 - 3 本改正会則は平成10年5月31日から実施する。
 - 4 本改正会則は平成25年5月19日から実施する。
 - 5 本改正会則は平成26年5月18日から実施する。
 - 6 本改正会則は令和2年7月5日から実施する。

後援会表彰規程(抜粋)

- (目的)
- 第2条 この規程は、後援会表彰を公正かつ円滑に行うとともに、後援会員(顧問含む)、学生、教職員の功績をたたえることで、後援会活動に対する意欲向上、士気の高揚および後援会事業の改革・発展を促すことを目的とする。
- (選考基準)
- 第4条 後援会員、学生または教職員の個人あるいはグループが次の各号の一つに該当するときは、これを表彰する。
- (1) 後援会活動に誠実で、特に他の会員の模範となるとき
 - (2) 永年にわたり後援会活動への貢献が顕著なとき
 - (3) 学業成績が著しく優れ、または各種コンテストで上位入賞したとき
 - (4) 国家的・社会的功績があり、後援会および大学の名誉となるような行為があったとき
 - (5) その他前各号に準ずる行為または功績があり表彰すべきであると認められた場合(以下省略)
- 附則: この規程は令和2年7月5日から実施する。

後援会旅費規程(抜粋)

- (目的)
- 第1条 本規程は、名古屋芸術大学後援会の役員、理事および会員の用務出張に要する旅費に関する事項を定める。
- (旅費の種類)
- 第2条 旅費の種類は、鉄道賃、車賃、船賃、航空賃、日当および宿泊料とする。
- (旅費の経路と計算)
- 第3条 旅費は自宅または名古屋芸術大学を基点とし、一般的な最短経路によって計算する。ただし、用務の都合または天災その他やむを得ない理由で経路を經由し難い場合には、現に経過した路線によって計算する。(以下省略)
- 附則
- この規程は、令和2年7月5日から施行する。

名古屋芸術大学後援会 顧問の委嘱に関する内規

- 1 名古屋芸術大学後援会の顧問は、原則として、理事会の承認に基づき会長、副会長経験者の中から会長が委嘱する。
- 2 顧問の任期は、会長経験者は15年、副会長経験者は10年とする。
- 3 この内規に基づき処理できない場合は、会長の判断により執行し理事会の承認を得るものとする。

附則: この内規は平成17年4月1日から適用する。

附則: 本改正内規は令和2年7月5日から適用する。

名古屋芸術大学後援会 弔慰に関する内規

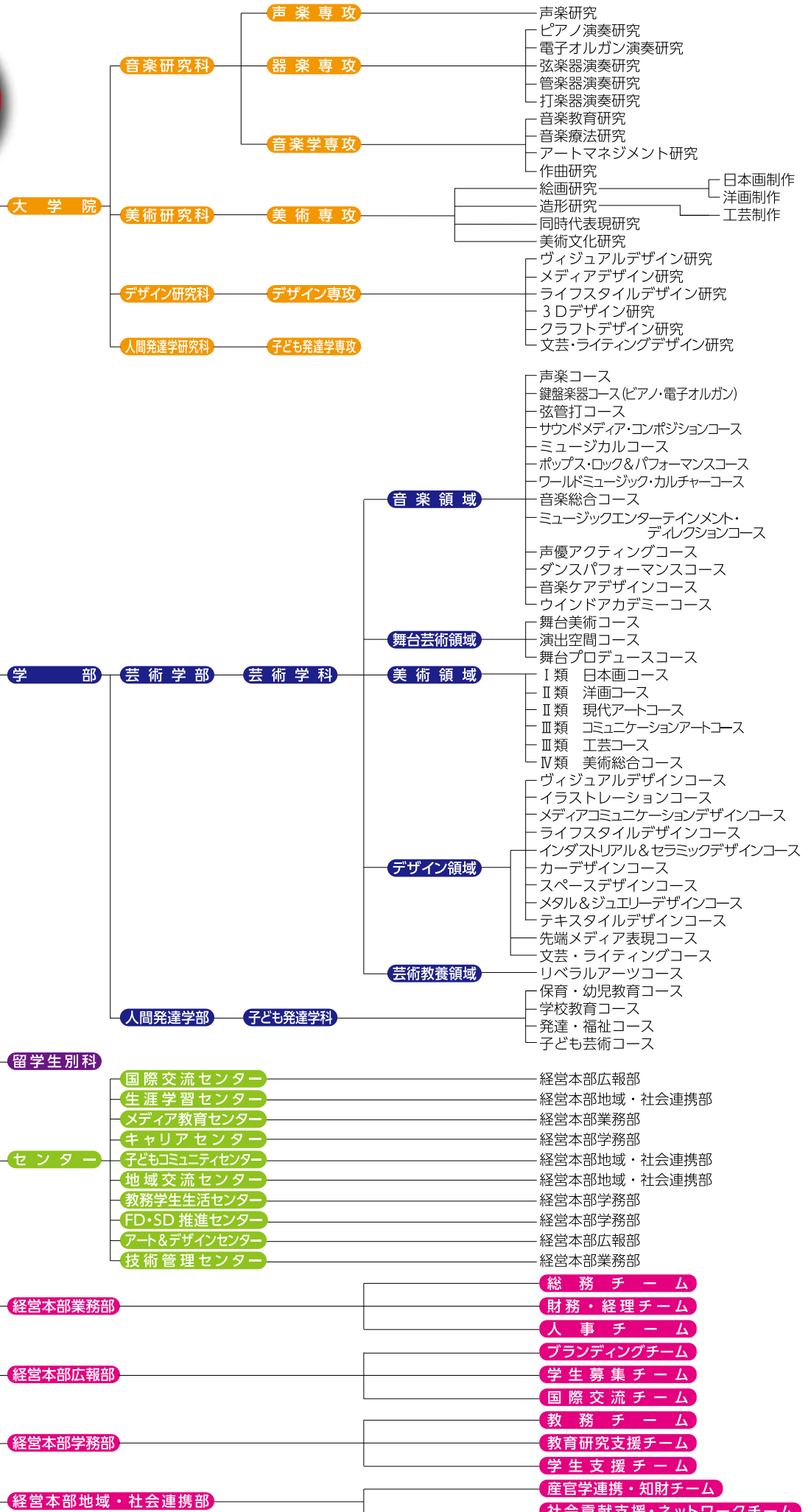
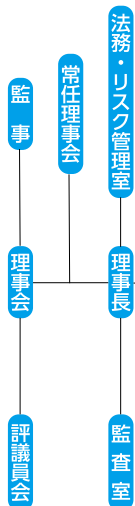
- 1 学生が死亡したときは、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金10,000円を給付する。
- 2 保護者(父・母)が死亡したときは、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金10,000円を給付する。
- 3 役員および理事の2親等血族および1親等の姻族が死亡した場合は、弔慰金として10,000円を給付する。
- 4 弔慰金の給付については、事由の発生から1年以内に後援会事務局に申請されたものに限る。
- 5 この内規により処理できない場合は、会長の判断により執行し理事会に事後報告する。

附則1. この内規は慣例的に実施していたものを平成15年4月1日付けで明文化する。

附則2. (略) 附則3. この改正内規は、令和2年7月5日より施行する。

大学運営の
組織図
2021年度

名古屋芸術大学



「せせらぎ合唱団」団員募集

この「せせらぎ合唱団」は、名古屋芸術大学後援会の有志により「みんなで歌を歌って楽しもう」と2年前から活動している合唱サークルです。美術部の絵画サークル「壁の華」より数年後に始まりました。今では、両方の会員になって活動している方もいます。

「せせらぎ」とは、小川の流れや音です。合唱は一人の声は小さく弱いのですが、仲間の声を聞き、合わせると素晴らしいハーモニーが出来ます。心が楽しく、気持ちが浮き立ってきます。皆様も聞き覚えのある「見上げてごらん夜の星を」(歌・坂本九)を江端先生の編曲で15名位の団員で歌っています。発声練習をして「夏の思い出」や「夏は来ぬ」を二部合唱で歌ったりしています。月1回の練習で日程がとれない時もありますが、仲間の声に助けられて皆で頑張っています。

去年は名芸祭にも参加しました。声を出すことで、健康と楽しさを実感できるこのサークルへ、是非とも加わってください。お待ちしております。

今年は、新型コロナウィルスの感染の影響で練習が再開できませんが、みなさんと一緒に楽しく練習できることを願っています。



【練習日】

毎月第3土曜日の午後1時から2時30分までの1時間30分

【場所】

東キャンパス4号館の3階のオペラ教室か部屋の都合で3号館の多目的教室になることがあります。

【指導者】

本校の卒業生である山田正文先生と江端智哉先生により、発声の仕方から各パートの音取りを懇切丁寧に教えて戴いています。

問い合わせ先

会長 平井 友明
電話番号 090-4182-1873
e-mail ji2fpj@hotmail.com
副会長 近藤 結花
電話番号 080-5113-7950
e-mail jhonsunu-puti38@au.com

絵画グループ 壁の華 会員募集

この「壁の華」は、名古屋芸術大学後援会の有志によって活動を続けている絵画グループであります。毎月一回大学の施設をお借りして大学の先生により丁寧な指導をして頂いております。油彩、水彩、日本画を中心に、昨年からは水墨画についても教えて頂けます。そして、制作された作品を名古屋市民ギャラリーに展示して、皆様に鑑賞して頂いております。今年で第27回目の展覧会を、開催しております。

この他にスケッチ会、鑑賞会等もあります。最近、若い会員の方に入会していただき、益々賑やかなグループとなりました。是非、後援会の皆様も「壁の華」の会に入会して頂き、絵画の制作をお楽しみ下さい。



【活動状況】

- 1、月例会 (月額会費：1,000円)
日時：毎月第3日曜日午後2時～4時
場所：名芸大西キャンパス 講義室
- 2、グループ展 (27回継続中)
日時：毎年5月上旬 (一週間展示)
場所：名古屋市民ギャラリー 7F
- 3、スケッチ会 11月を予定
- 4、日展、二科展、国画展の鑑賞会

問い合わせ先

会長 宇佐見 誠也
〒489-0874 瀬戸市幡野町508
電話 0561-21-4567 携帯 090-7305-8205
運営委員長 森部 みや子
〒492-8075 稲沢市下津町西下町58
電話 0587-32-2814 携帯 090-1825-1671

- 発行日 令和3年(2021年)9月30日
- 発行人 矢野 章子
- 編集 名古屋芸術大学後援会広報委員会
(江上友加里、柳沼章子、橋本博文、渡邊綱夫)
- 発行所 名古屋芸術大学後援会
〒481-0006
愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地
名古屋芸術大学(東キャンパス)12号館6階
tel: 0568-26-3355 fax: 0568-26-2101
e-mail: kouenkai@nua.ac.jp
- 印刷所 有限会社 住吉孔版社
(無断転載禁止)

本誌掲載の記事(表紙、本文、図表、写真、イラスト等)を本会及び著作権者の承諾なしに無断で転載(翻訳、複写、データベースへの入力、インターネットでの掲載等)することを禁じます。



NAGOYA UNIVERSITY
OF THE ARTS

★ Challenge to the future
BORDERLESS

名古屋芸術大学後援会会報

名古屋芸術大学後援会事務局

〒481-0006

愛知県北名古屋市熊之庄古井 281 番地

TEL.0568-26-3355

FAX.0568-26-2101

E-mail:kouenkai@nua.ac.jp

【編集後記】

「名古屋芸術大学後援会報」第71号をお届けいたします。昨年度、大幅なりリニューアルを果たした誌面を引き継ぎ、今号も盛りだくさんのコンテンツを詰め込んで、皆様楽しんで頂ける会報を目指しました。

未だに、新型コロナウイルス感染症の影響は広く、深く、大きく、世界中に影を落としています。それでも、このような困難な状況下で精一杯頑張り続ける、若い力の輝きの一端をご紹介いたしました。そして、コロナ禍の今こそ求められる「ゲイジユツの力」があると信じております。

後援会といたしましても、本誌でもご報告させていただいた緊急学生支援活動を始め、全力で皆様をサポートしてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

名古屋芸術大学後援会副会長（広報委員長） 江上 友加里